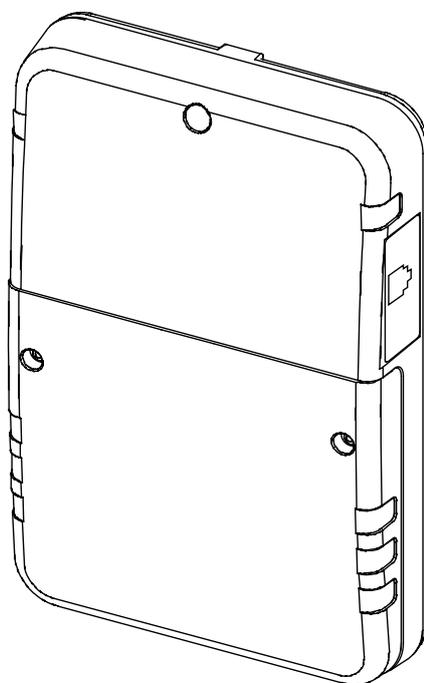


TPV-WL1A

パワーコンディショナ用 コミュニケーションユニット

取扱説明書

このたびは、コミュニケーションユニットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書では、コミュニケーションユニットの機能および使い方について解説します。
ご使用になるときは、本書をよくお読みいただき正しくお取扱ください。
また、いつでも利用できるように大切に保管してください。



安全上のご注意

●安全に使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、パワーコンディショナ用コミュニケーションユニット(以下本製品):TPV-WL1A を安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。
必ず守ってください。

表示と記号は次の通りです。



正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重症や死亡に至る恐れがあります。



正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

●図記号の説明

	●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	●一般 特定しない一般的な禁止の通告
	●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	●一般 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

警告

発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けしないでください。
万一の場合、発火・爆発の恐れがあります。



本製品をぬれた手で触れないでください。
万一の場合、感電による傷害や機器故障の恐れがあります。



本製品を分解・改造しないでください。
万一の場合、感電による傷害や火災が起こる恐れがあります。



カバーを開けたり、内部を手で触れないでください。
万一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。
取付工事、修理、増設、移動、再設置などはお買い上げの販売店、
または専門業者に依頼してください。

**注意**

・ケースの清掃には、有機溶剤(シンナー、ベンジン等)、
強アルカリ性物質、および強酸性物質を使用しないでください。
稀に、ケースの変色や機器が故障する恐れがあります。



安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

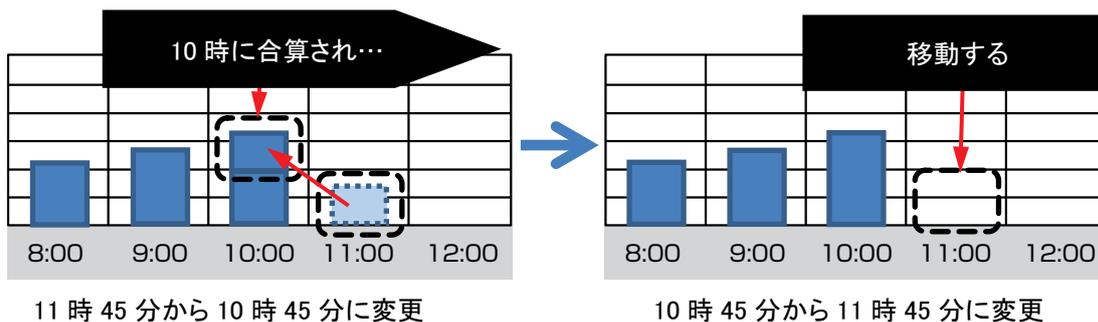
1. 廃棄については、専門業者に依頼してください。
2. 本製品に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、分電盤の PV 分岐ブレーカ(太陽光発電ブレーカ)をOFFにしてください。
3. 本製品に覆いをかけるなど、通風を妨げるようなことはしないでください。
4. 押入や階段下など、通風を妨げるような場所には設置しないでください。
5. 本製品に水などがかからないように注意してください。

使用上の注意

1. 本製品は静電気によって故障、破損することがあります。
本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
2. 設定用LANコネクタにパワーコンディショナ通信ケーブルを接続しないでください。
3. 実績データに影響を及ぼす可能性がありますので、日付/時刻は正しく設定してください。
日付/時刻の設定を1ヶ月以上変更した場合、実績データが失われることがあります。
1ヶ月以内であっても実績データが移動することがあります。
「5.2.日付/時刻設定 ■日付/時刻変更による実績データへの影響」⇒(78 ページ)
以下は00分をまたいだ場合の例です。
00分をまたいで日付/時刻を戻すと、実績データが移動します。

例)[実績データが移動する場合]

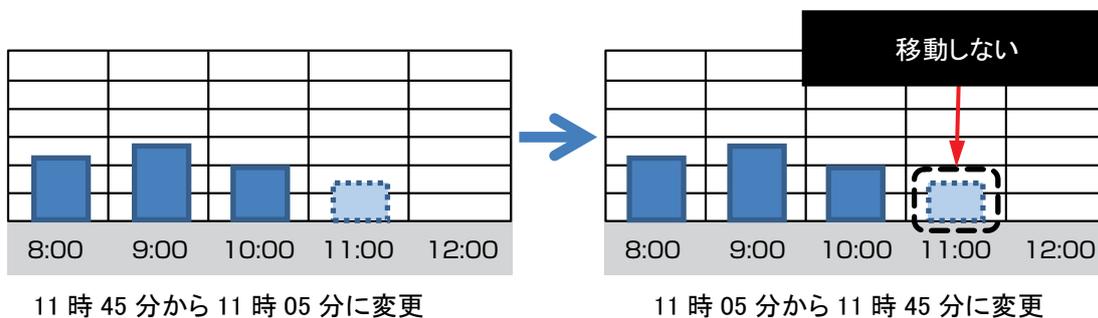
間違えて11時台の実績データが10時台の実績データに合算され11時台のデータが移動します。
移動したデータは合算されるため復元することができません。



例)[実績データが移動しない場合]

間違えて11時45分から11時05分に変更し、再度11時45分に戻した場合

11時台の実績データは12:00に確定するため00分をまたがない変更であれば実績データは移動しません。



4. 本製品は、次の利用可能な形式以外ではご利用になれません。

	表記	パワーコンディショナ(利用可能な形式)
屋外	TPV-**M	TPV-44M、TPV-55M
	TPV-**M-J4	TPV-44M-J4、TPV-55M-J4
屋内	TPV-PCS0**0B	TPV-PCS0300B、TPV-PCS0400B、TPV-PCS0550B

5. 本製品を次のような場所には設置しないでください。

- a) 温度変化が激しいところ
- b) 潮風にさらされるところ
- c) 揮発性、可燃性、腐食性およびその他有毒ガスのあるところ
- d) 直射日光の当たるところ
- e) 使用温度範囲(−10～+40℃)以外のところ
- f) 標高 2000m以上の場所
- g) 塵埃(粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等)の多いところ
- h) 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品の傍、電話機・FAX・コンピュータ・コンピュータ周辺機器・テレビ・電子レンジ・IH 製品の近く

6. 保管する場合は、温度: −10～+50℃、湿度: 25～85%RH で保管してください。

7. 製品は、鉄板や鉄筋の近くを避けて、できるだけ見通しのよい場所に設置してください。

8. 本製品から電波干渉の事例が発生した場合は、分電盤の PV 分岐ブレーカをOFFにし、お買い上げの販売店に連絡してください。

9. 本製品の電源が、4 時間以上 OFF になった場合、時刻データが消えデータが保存できなくなります。時刻を設定してください。

10. 本製品とパワーコンディショナ表示ユニット(TPV-CM001A-CM、TPV-CM002*-CM)は同時にご利用いただけません。

11. 再生可能エネルギーの固定買取制度の全量買取方式には対応しておりません。

機器使用上の留意事項

1. 本製品は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。目安としてご利用ください。
2. 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提にしています。日本国外での使用はできません。
3. 本製品の日時は 2037 年まで設定できます。本製品の日時において、2038 年以降は正常に使用することはできません。
4. 日照の変化などで発電電力が変化している最中には、消費電力の値が実際の値よりも大きく(あるいは小さく)表示される事があります。
これは、発電電力と売買電力のデータ収集タイミングの差により生じるものであり、製品の異常ではありません。
また、ナビ画面で表示される数値は、小数点第二位の値を四捨五入した値です。そのため、小数点以下の値は、誤差が発生する場合があります。
5. 表示のデザインは、表示モニターやブラウザのバージョンによって異なります。
以下に、ドロップダウンリスト(選択欄)の表示例を示します。

・コンピュータの一例



・REGZA タブレットの一例



・REGZA テレビの一例



お手入れのしかた

●清掃のしかた

次の要領で清掃してください。

・清掃時は、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

乾拭きする際は、無理な力で汚れを落とさないでください。傷が付く恐れがあります。

・本体にゴム、ビニール製品、テープなどを長時間密着させておくと、汚れが付く恐れがあります。

汚れが付着している場合は、清掃時に取り除いてください。

商標について

コミュニケーションユニット、REGZA は、株式会社東芝の登録商標または商標です。

本書に記載されている商品名および会社名は、各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

・Windows、Internet Explorer、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

・「WPS」は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

・「らくらく無線スタート」は、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

・「AOSS」は、株式会社バッファローの商標です。

電波干渉についての注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書巻末に記載のお問い合わせ先にご相談ください。

・製品の表記の説明



- ① 「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
- ② 「DS/OF」 : DS-SS 方式および OFDM 方式の変調方式が可能であることを表す。
- ③ 「4」 : 想定される干渉距離が 40m 以下を表す。
- ④ 「」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

・電波干渉注意書きステッカー

ARIB 標準規格 ARIB STD-T66 に規定された電波干渉に関する注意書きを記載しています。記載内容をご確認ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書巻末に記載のお問い合わせ先にご相談ください。

無線 LAN のセキュリティについての注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

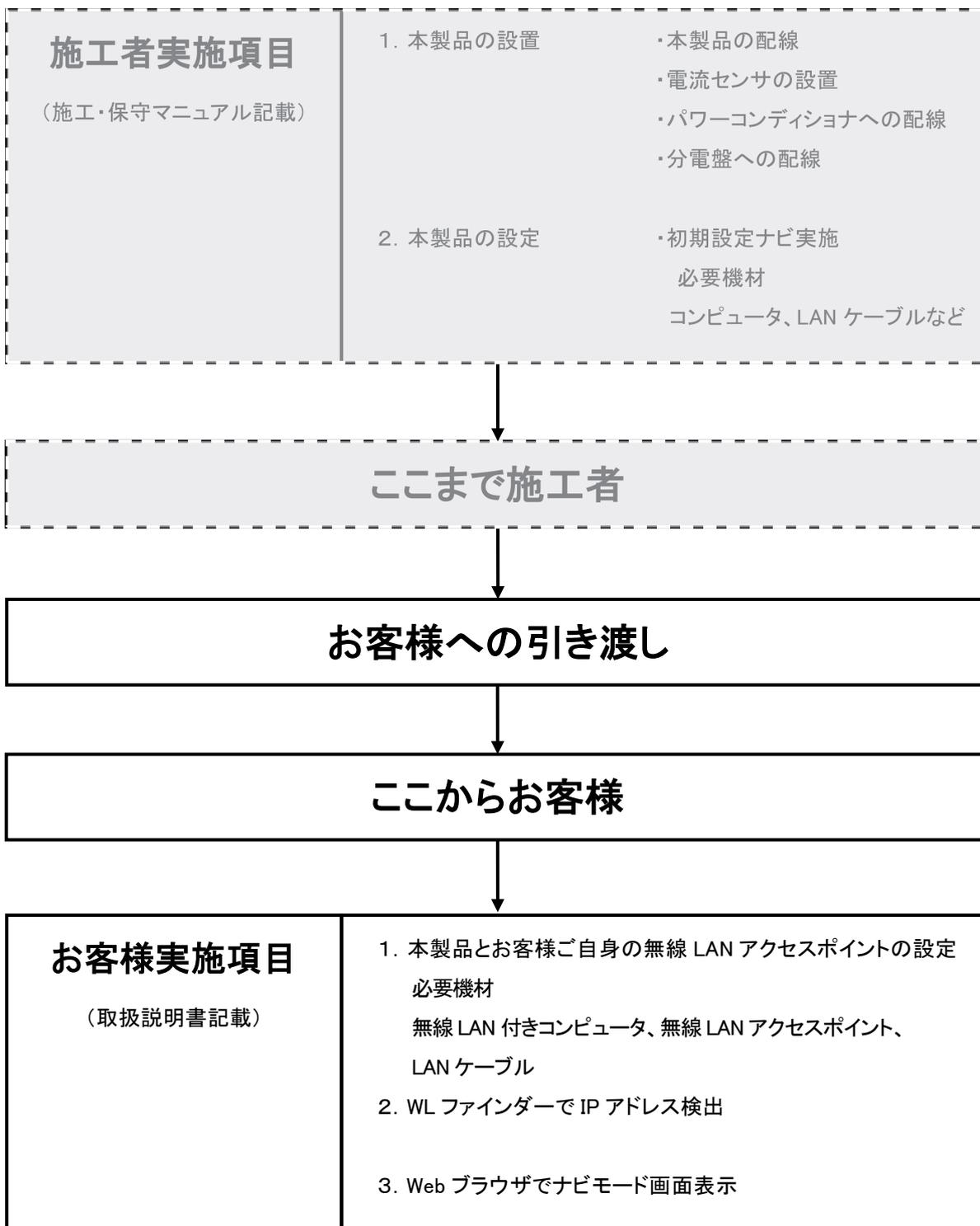
- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

本製品の施工とお客様ご自身による設定概要

「施工者実施項目」完了後、施工者からお客様へ引き渡す段階で、本製品の機能を使うことはできません。本製品の機能を使用するには、「お客様実施項目」を行っていただく必要があります。



本製品と無線 LAN アクセスポイントの設定については、取扱説明書の「2.2.本製品と表示モニタの接続」を参照ください。

本製品と無線 LAN アクセスポイントの設定フロー

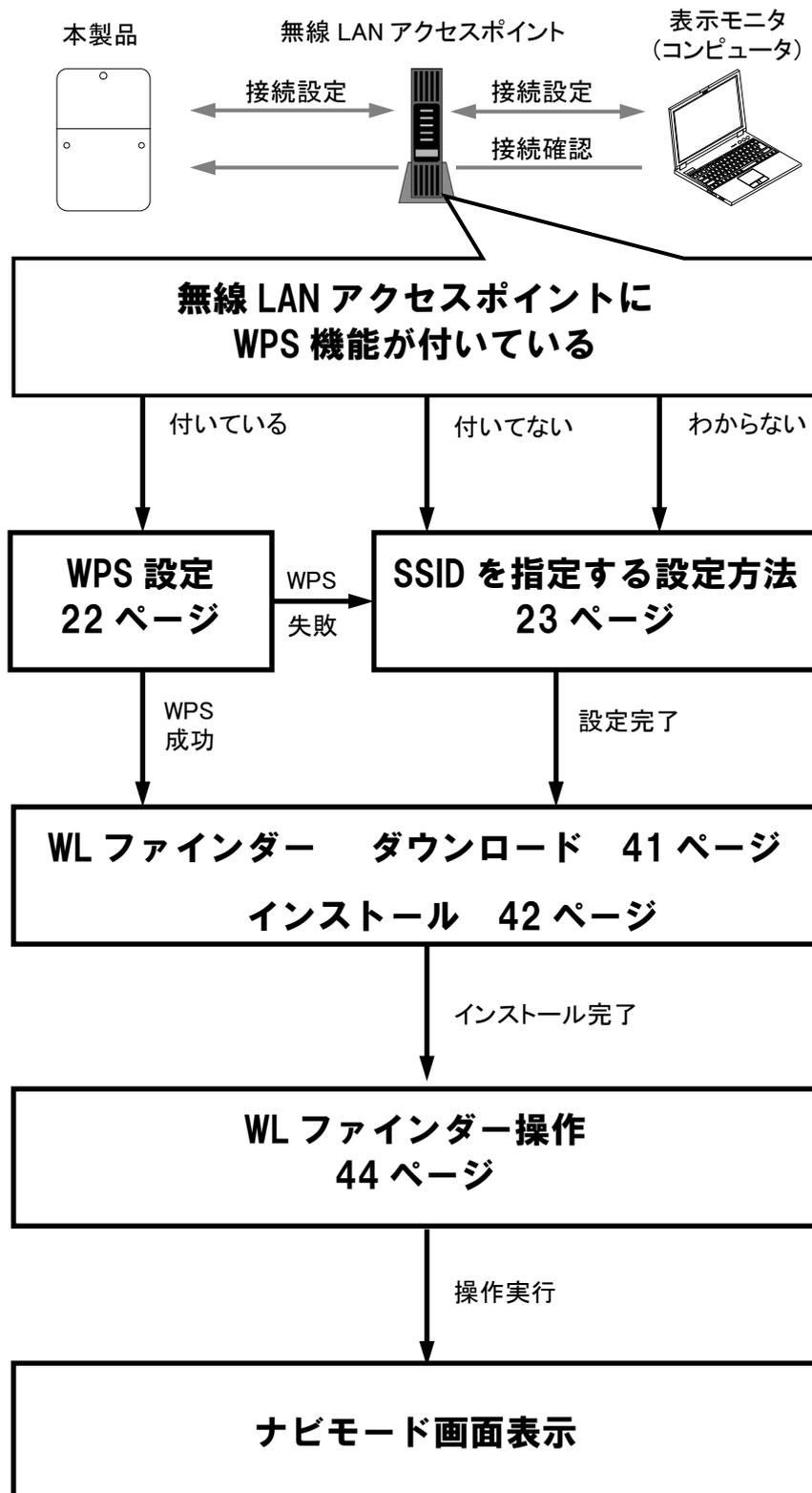
本製品と無線 LAN アクセスポイントの設定はお客様ご自身で行っていただく必要があります。

ご使用中の無線 LAN アクセスポイントの WPS 機能 * 有無で設定方法が異なります。

* WPS 機能とは Wi-Fi Protected Setup (以下 WPS) 機能のことです。

本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続設定を行い、コンピュータで接続確認を行います。

表示モニタ(コンピュータ)は、ご使用の無線 LAN アクセスポイントに接続されていることが前提です。



はじめに

安全上のご注意 2
 安全上の要点 4
 使用上の注意 5
 機器使用上の留意事項 7
 お手入れのしかた 8
 商標について 8
 電波干渉についての注意 9
 無線 LAN セキュリティについての注意 10
 本製品の施工とお客様ご自身による設定概要 11
 本製品と無線アクセスポイントの設定フロー 12

もくじ

1. 本製品について

1.1. 主な特長 15
 1.2. 太陽光発電システムについて 16
 1.3. 本製品と付属品 17
 1.4. 各部の名称と機能 19

2. 設置の仕方

2.1. 本製品の設置 21
 2.2. 本製品と表示モニタの接続 21
 2.3. WL ファインダー 41

3. 本製品でできること

3.1. 主な機能 47
 3.2. 各操作画面 48
 3.3. 表示モニタ別の画面操作について 49
 3.4. 表示画面の見方 52

4. 表示機能

4.1. メイン画面 54
 4.2. ナビモード 55
 4.3. エネルギーレポート 24 時間 56
 4.4. エネルギーレポート 2 週間 57
 4.5. 実績 59
 4.6. 情報 63
 4.7. 節電目標達成状況 64
 4.8. 時間帯別消費電力比率 66
 4.9. 発電量過去比較 67
 4.10. 総積算電力量 68
 4.11. 電圧上昇抑制履歴 70
 4.12. 異常履歴 72
 4.13. イベント画面 74

5.各種機能設定

5.1.各種機能の説明	75
5.2.日付／時刻設定	76
5.3.メイン画面設定	80
5.4.イベント設定	82
5.5.電力グラフスケール設定	83
5.6.節電目標値設定	85
5.7.単位換算値設定	87
5.8.電気料金時間帯設定	88
5.9.抑制表示設定	89
5.10.設定初期化	91

6.高機能設定

6.1.高機能設定の説明	92
6.2.無線 LAN 設定	93
6.3.システム情報	99
6.4.ソフトウェア更新(表示モニタがコンピュータの場合)	100

7.おかしいなと思ったら (トラブルシューティング)

7.1.エラー表示	103
7.2.こんなときは・・・	107
7.3.無線 LAN 通信トラブル対応	110
7.4.時計異常	114

仕様一覧

コミュニケーションユニット	115
---------------	-----

1.本製品について

本製品は、太陽光発電システムの状態を確認するための機器です。
各電力情報の収集、計測を行い、表示モニターへの結果の表示や一定期間の実績の保存、またそれらの情報を元に省エネのお手伝いをします。

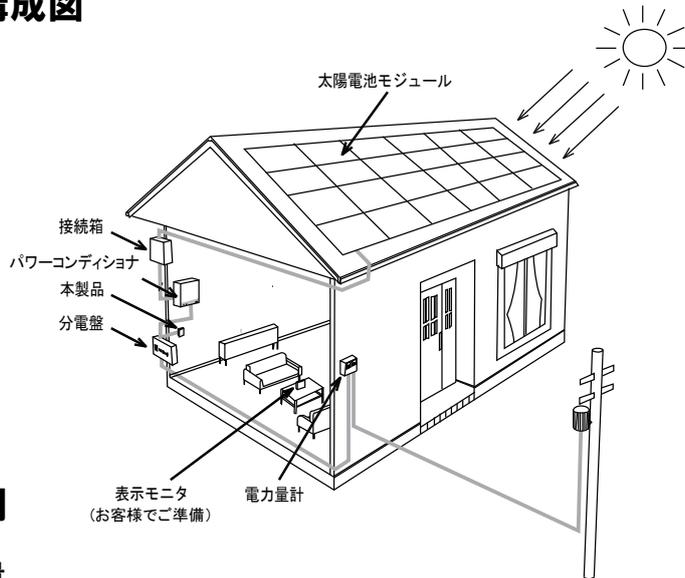
1.1.主な特長

- ご家庭内の無線ネットワーク環境に接続された、お手持ちの表示モニター（コンピュータ、スマートフォン、タブレット、テレビといった様々なネットワーク対応機器）の Web ブラウザ機能で簡単に照会可能
- 家庭内の電力をリアルタイムに表示
- 無線通信対応で設置場所の自由度 UP
- メイン画面（ナビモード）の表示タイプが変更可能
- 実績データをコンピュータに出力可能

1.2.太陽光発電システムについて

太陽光発電システムは、太陽電池から得られた直流電力をご家庭で使用できる交流電力に変換して利用する、地球にやさしいクリーンなシステムです。

システム構成図



用語の説明

●電力と電力量

「電力」とは、時間によって値が変化する瞬間的な電気エネルギー量を表す値です。

単位は、[kW]（キロワット）で表示します。

「電力量」とは、ある期間における電力の合計値を表す値です。

単位は、[kWh]（キロワットアワー）で表示されます。

たとえば、4[kW]の電力を3時間使い続けたときの消費電力量は、次の計算式になります。

$$4[\text{kW}] \times 3[\text{h}] = 12[\text{kWh}]$$

●売電と買電

昼間、発電した電力を家庭内で使い、余った電力は電力会社へ売ることができます。

これを「売電」といいます。

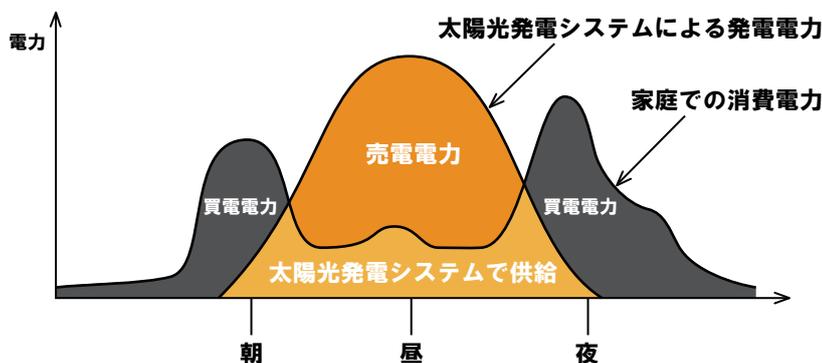
夜間や雨天など発電量の少ない時は電力会社から電力を買って使います。

これを「買電」といいます。

下記のグラフは、一般家庭での1日の発電状況をグラフ化した例です。

日中は、太陽光発電システムの発電した電力で自給自足し余った電力分を電力会社に売電します。

夜間など発電量の少ない場合は、消費する電力の不足した分を買電しています。



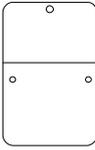
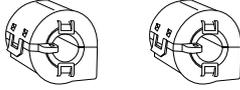
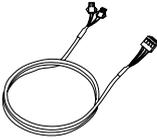
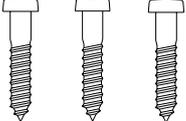
One Point

- ・発電状況のグラフは、天候や日射量などの条件によって形状が異なります。

1.3.本製品と付属品

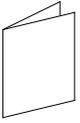
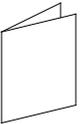
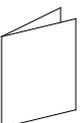
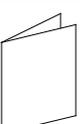
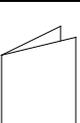
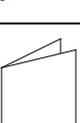
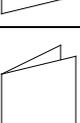
お使いになる前に次のものが揃っていることを確認してください。

■本体および関連部品

名称	形状	数量	備考
コミュニケーションユニット		1台	システム施工時に設置されています。
電流センサ		2個	システム施工時に設置されています。
電流センサ用ケーブル		1個	システム施工時に設置されています。
PCS 間通信ケーブル (屋内外共用)		1個	システム施工時に設置されています。
コア		1個	システム施工時に設置されています。
壁取り付け用木ネジ(+) (M4.1 × 25)		3本	システム施工時に設置されています。
配線用圧着端子		4個 うち 予備1個	システム施工時に設置されています。
絶縁キャップ		3個	システム施工時に設置されています。

1.本製品について

■書類

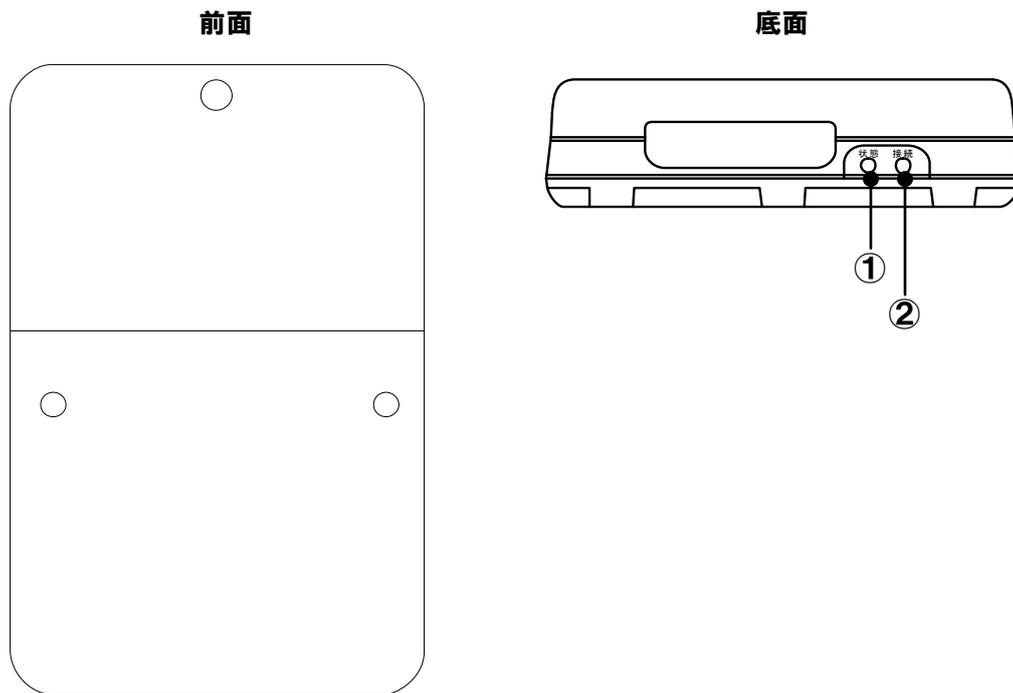
名称	形状	数量	備考
取扱説明書		1部	本書
施工・保守マニュアル		1部	
簡易施工マニュアル(A3)		1枚	
補足説明書 表示確認環境一覧(A4)		1枚	
補足説明書 無線LANアクセスポイント 接続確認機種一覧(A4)		1枚	
補足説明書 WLファインダー スタートマニュアル(A3)		1枚	
補足説明書 セットアップガイド Android編(A3)		1枚	
補足説明書 セットアップガイド iOS編(A3)		1枚	
補足説明書 セットアップガイド コンピュータ編(A3)		1枚	
補足説明書 セットアップガイド REGZA編(A3)		1枚	
電波干渉注意書き ステッカー		1枚	

1.4.各部の名称と機能

重要

設定用 LAN コネクタには電話線または家庭内の LAN ケーブルを接続しないでください。
製品が故障する恐れがあります。

■本製品本体



⚠ 警告

カバーを開けたり、内部を手で触れないでください。
万一の場合、感電による傷害が起こる恐れがあります。



No	名称	機能																																																				
①	状態表示ランプ	<p>以下の表に示す状態を色、点滅の組み合わせでランプ表示します。 点滅(低速)は1秒ごと、点滅(高速)は0.2秒ごとに点灯と消灯を繰り返します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>状態</th> <th>色</th> <th>動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">電源/ 動作状態</td> <td>電源 OFF</td> <td>—</td> <td>消灯●</td> </tr> <tr> <td>電源 ON 時</td> <td>橙</td> <td>点灯○</td> </tr> <tr> <td>電源 ON～起動完了まで</td> <td>緑</td> <td>点灯○</td> </tr> <tr> <td>AP 間無線通信 LINK アップ中</td> <td>橙</td> <td>点滅◎ (低速)</td> </tr> <tr> <td>起動後～初期設定完了まで</td> <td>緑</td> <td>点滅◎ (高速)</td> </tr> <tr> <td>正常動作</td> <td>緑</td> <td>点滅◎ (低速)</td> </tr> <tr> <td>パワーコンディショナ夜間動作</td> <td>—</td> <td>消灯●</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動作異常</td> <td>AP 間無線通信 LINK ダウン</td> <td>橙</td> <td>点滅◎ (低速)</td> </tr> <tr> <td>計測異常(緊急度(高))</td> <td>赤</td> <td>点灯○</td> </tr> <tr> <td>計測異常(緊急度(中))</td> <td>赤</td> <td>点滅◎ (高速)</td> </tr> <tr> <td>計測異常(緊急度(低))</td> <td>赤</td> <td>点滅◎ (低速)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">処理状態</td> <td>無線設定中 (接続ボタン押下)</td> <td>橙</td> <td>点滅◎ (高速)</td> </tr> <tr> <td>初期化中</td> <td>橙</td> <td>点灯○</td> </tr> <tr> <td>または ソフトウェア更新中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初期化準備中</td> <td>緑</td> <td>点灯○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	状態	色	動作	電源/ 動作状態	電源 OFF	—	消灯●	電源 ON 時	橙	点灯○	電源 ON～起動完了まで	緑	点灯○	AP 間無線通信 LINK アップ中	橙	点滅◎ (低速)	起動後～初期設定完了まで	緑	点滅◎ (高速)	正常動作	緑	点滅◎ (低速)	パワーコンディショナ夜間動作	—	消灯●	動作異常	AP 間無線通信 LINK ダウン	橙	点滅◎ (低速)	計測異常(緊急度(高))	赤	点灯○	計測異常(緊急度(中))	赤	点滅◎ (高速)	計測異常(緊急度(低))	赤	点滅◎ (低速)	処理状態	無線設定中 (接続ボタン押下)	橙	点滅◎ (高速)	初期化中	橙	点灯○	または ソフトウェア更新中			初期化準備中	緑	点灯○
区分	状態	色	動作																																																			
電源/ 動作状態	電源 OFF	—	消灯●																																																			
	電源 ON 時	橙	点灯○																																																			
	電源 ON～起動完了まで	緑	点灯○																																																			
	AP 間無線通信 LINK アップ中	橙	点滅◎ (低速)																																																			
	起動後～初期設定完了まで	緑	点滅◎ (高速)																																																			
	正常動作	緑	点滅◎ (低速)																																																			
	パワーコンディショナ夜間動作	—	消灯●																																																			
動作異常	AP 間無線通信 LINK ダウン	橙	点滅◎ (低速)																																																			
	計測異常(緊急度(高))	赤	点灯○																																																			
	計測異常(緊急度(中))	赤	点滅◎ (高速)																																																			
	計測異常(緊急度(低))	赤	点滅◎ (低速)																																																			
処理状態	無線設定中 (接続ボタン押下)	橙	点滅◎ (高速)																																																			
	初期化中	橙	点灯○																																																			
	または ソフトウェア更新中																																																					
	初期化準備中	緑	点灯○																																																			
②	接続ボタン	<p>5秒以上の長押しで WPS 機能に対応したアクセスポイントとの接続設定を自動的に行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>重要</p> <p>・WPS 機能対応の無線 LAN アクセスポイントを接続する場合、本ボタンを押下します。</p> </div>																																																				

2.設置の仕方

本製品は壁面に設置し、お手持ちの表示モニタ(コンピュータ、スマートフォン、タブレット、テレビといった様々なネットワーク対応機器)の Web ブラウザ機能で各種情報の照会を行うことができます。

この章では、本製品の設置、お手持ちの無線 LAN アクセスポイントと表示モニタとの接続について説明します。

2.1.本製品の設置

施工店が本製品を設置します。お客様ご自身で設置しないでください。

重要

- ・本製品の周辺(上面、左面、右面から 100mm 以内、下面から 300mm 以内)に物を置かないでください。前面にも障害物を置かないでください。
- ・磁石など磁力を発生するものを近づけないでください。

2.2.本製品と表示モニタの接続

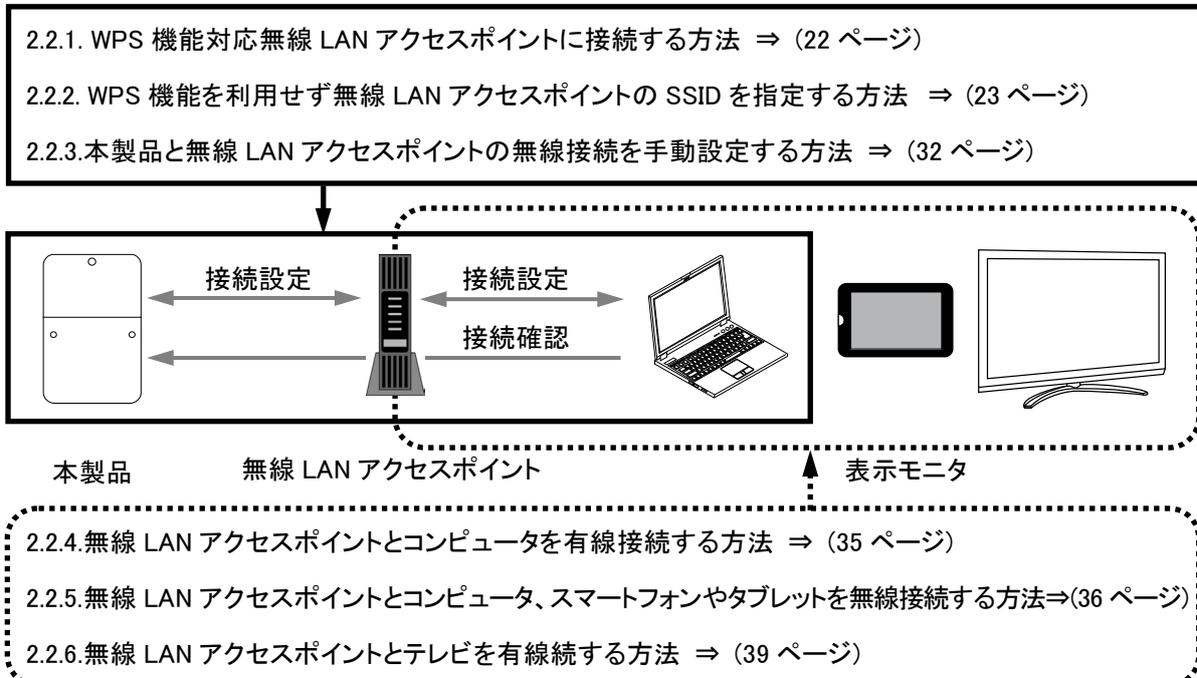
本製品と無線 LAN アクセスポイントの設定はお客様ご自身で行っていただく必要があります。

本製品の機能はコンピュータ、スマートフォン、タブレット、テレビの表示モニタで動作する Web ブラウザ上で利用します。

次のいずれかで本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続設定を行い、WL ファインダーで接続確認を実施します。

表示モニタがコンピュータの場合、Web ブラウザは Internet Explorer(以下:IE)を例に説明しています。

表示モニタがコンピュータ以外の場合、あらかじめ WL ファインダーで IP アドレスを確認する必要があります。



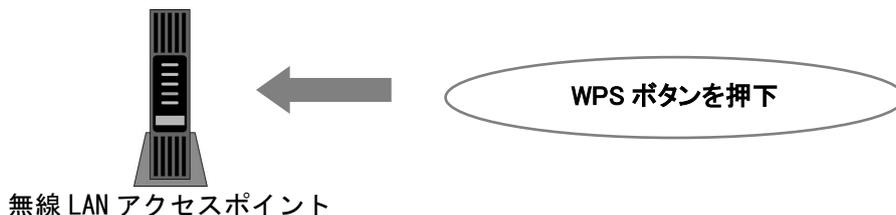
注意

- ・接続が可能な表示モニタについては、補足説明書「表示確認環境一覧」をご覧ください。
- ・WPS 機能を利用可能な無線 LAN アクセスポイントは、補足説明書「無線 LAN アクセスポイント確認機種一覧」をご覧ください。
- ・表示モニタを複数同時使用する場合は、5台までとしてください。

2.2.1. WPS 機能対応無線 LAN アクセスポイントに接続する方法

無線 LAN アクセスポイントが WPS 機能をサポートしている場合は、簡単に無線 LAN 接続設定を行うことができます。

- 最初に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押下します。

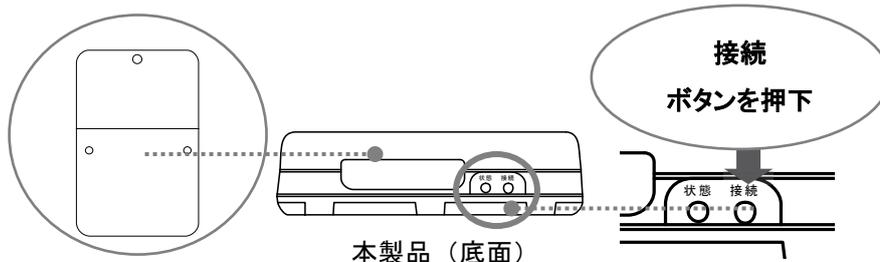


注意

- 無線 LAN アクセスポイントの WPS 機能の詳細については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- WPS はメーカーによって名称が異なります。AOSS、らくらく無線スタートなどがあります。詳細については、補足説明書「無線 LAN アクセスポイント接続確認機種一覧」をご覧ください。
- 無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が必ず「あり」になっていることを確認してください。

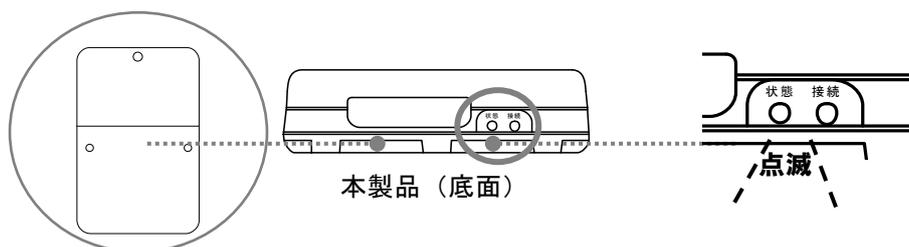
- 次に本製品の接続ボタンを押下します。

(5 秒以上の長押しを行ってください。ボタン押下が 5 秒未満の場合は無線接続動作しません。)



本製品の接続ボタンを押下し動作した場合、状態表示ランプが橙色の低速点滅(1 秒間隔)から高速点滅(0.2 秒間隔)に変わります。その後、状態表示ランプが緑色の点滅または消灯に変われば、本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続は完了です。

状態表示ランプが橙色の高速点滅から低速点滅に変わった場合は、接続に失敗していますので、最初の手順からやり直してください。続けて失敗する場合は、「2.2.2.WPS 機能を利用せず無線 LAN アクセスポイントの SSID を指定する方法 (23 ページ)」を実施してください。



接続状況	状態表示ランプの遷移
成功	橙色(低速点滅) → 橙色(高速点滅) → 緑色点滅または消灯
失敗	橙色(低速点滅) → 橙色(高速点滅) → 橙色(低速点滅)

- WPS 成功後、以下の注意を確認し「2.3.WL ファインダー」(41 ページ)に進んでください。

注意

- 無線 LAN アクセスポイントの電源が切れたり、リセットなど、IP アドレスが変わり表示モニタにナビモード画面が表示されないことがあります。41 ページを参照ください。

2.2.2. WPS 機能を利用せず無線 LAN アクセスポイントの SSID を指定する方法

本製品と表示モニタの接続には下記をご準備頂く必要があります。

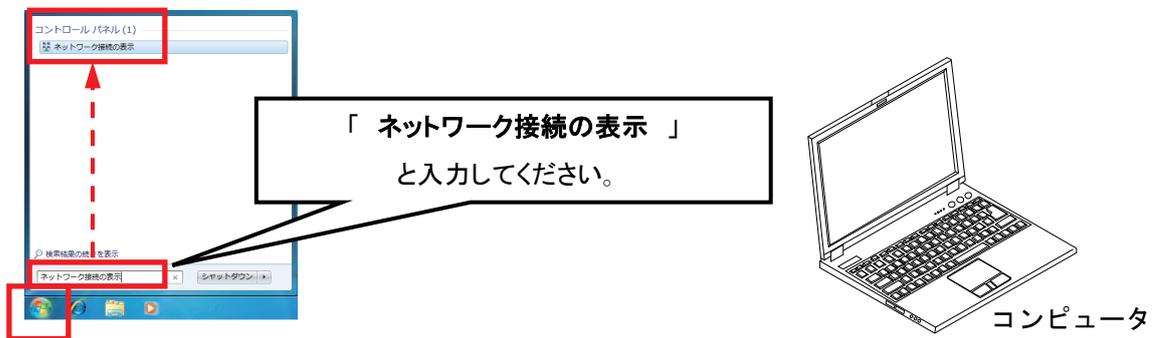
- ・ 有線 LAN 接続できる無線 LAN 付きコンピュータ
- ・ LAN ケーブル(ストレート)

ここでは、無線 LAN アクセスポイントを経由して本製品とコンピュータを接続する方法を説明します。

・「IP アドレスを自動的に取得する」設定の確認方法(Windows7)

有線 LAN 接続したコンピュータの「IP アドレスを自動的に取得する」設定を確認します。ここでは Windows7 を例にしています。Windows8 は次のページを参照ください。

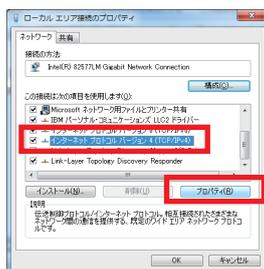
1. スタートボタンを押下します。プログラムとファイルの検索枠に「ネットワーク接続の表示」と入力し、候補一覧が表示されますので、「ネットワーク接続の表示」を押下してください。



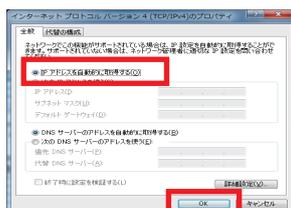
2. 対象のネットワークを「右クリック」して「プロパティ」を押下します。



3. 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」を押下します。



4. 「IP アドレスを自動的に取得する」設定を確認します。その後「OK」ボタンを押下します。



注意

- ・「次の IP アドレスを使う」に設定されている場合は、必ず値をメモしてください。

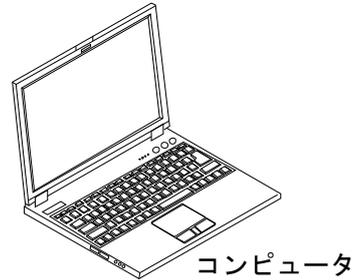
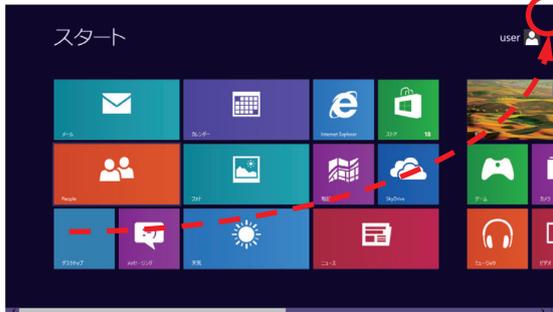
2.設置の仕方

・「IPアドレスを自動的に取得する」設定の確認方法(Windows8)

コンピュータの「IPアドレスを自動的に取得する」設定を確認します。

1. カーソルを右上に移動させるとメニューがスライドします。

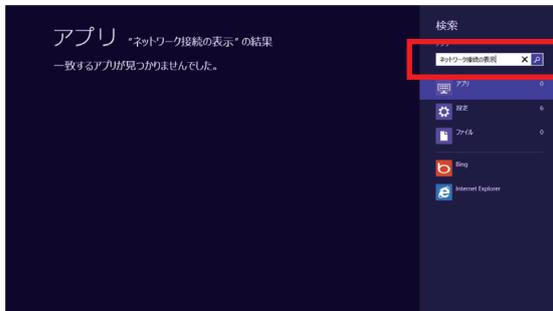
デスクトップ画面の場合はスタート画面に切り替えてから行ってください。



2. 「検索(虫眼鏡アイコン)」を押下します。



3. 画面が切り替わります。検索欄に「ネットワーク接続の表示」と入力します。



「ネットワーク接続の表示」と入力してください。

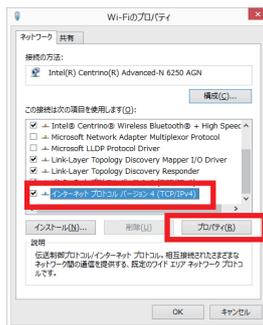
4. 「設定」を選択すると候補一覧が表示されます。「ネットワーク接続の表示」を押下します。



5. 対象のネットワークを「右クリック」して「プロパティ」を押下します。



6. 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」を押下します。



7. 「IP アドレスを自動的に取得する」設定を確認します。その後「OK」ボタンを押下します。



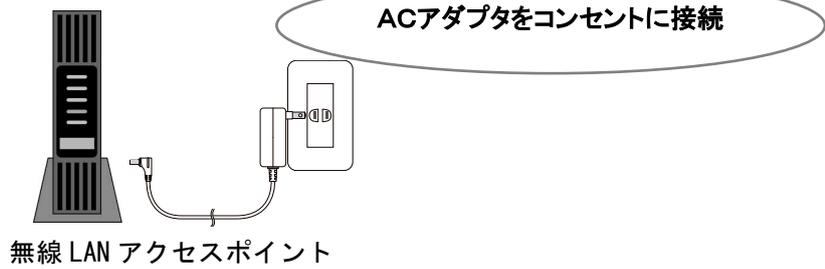
注意

- ・「次の IP アドレスを使う」に設定されている場合は、必ず値をメモしてください。

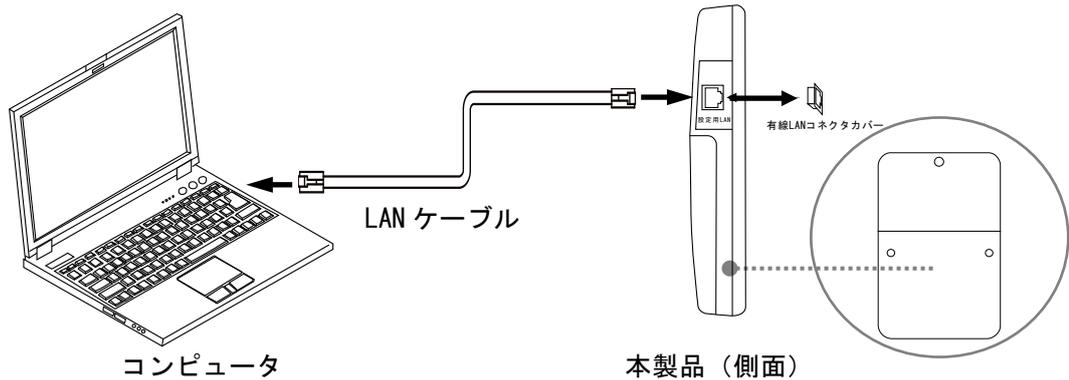
2.設置の仕方

■本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続

無線 LAN アクセスポイントの電源を入っていることを確認してください。



1.本製品側面の設定用 LAN コネクタとコンピュータの有線 LAN コネクタを LAN ケーブルで接続します。



2.コンピュータの Web ブラウザで以下のアドレス (<http://169.254.1.1/>) を入力するとナビモード画面が表示されます。

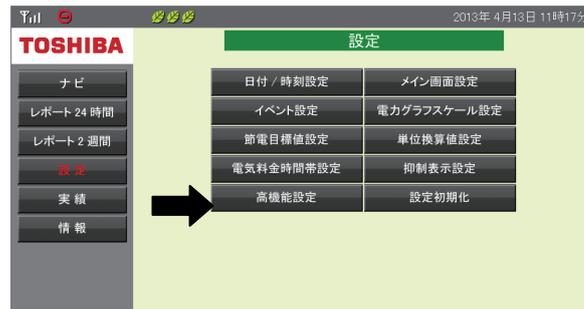


以下の画面操作で無線 LAN 設定画面を表示します。

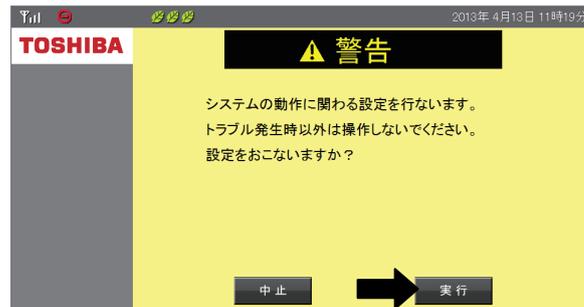
3.ナビモード画面:「設定」ボタン押下



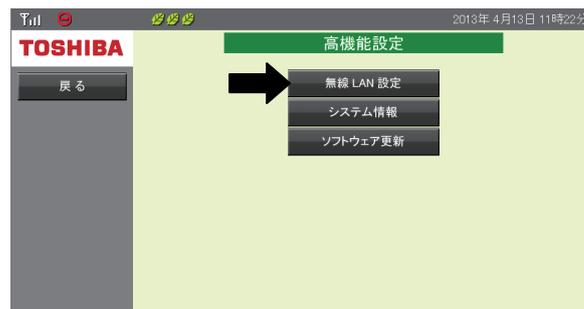
4. 設定画面:「高機能設定」ボタン押下



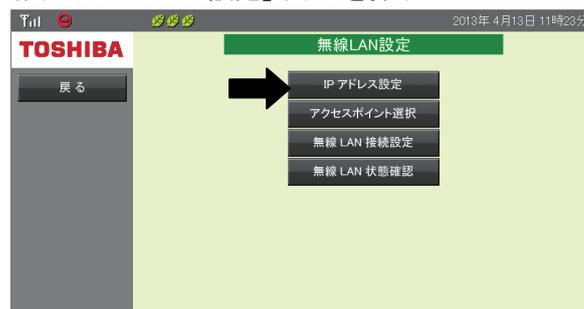
5. 高機能設定実行確認画面:「実行」ボタン押下



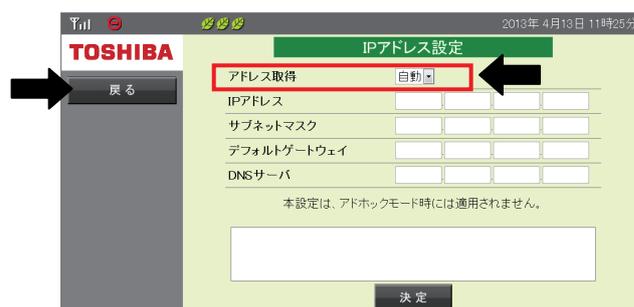
6. 高機能設定画面:「無線 LAN 設定」ボタン押下



7. 無線 LAN 設定画面で「IP アドレス設定」ボタンを押下



8. IP アドレス設定画面でアドレス取得が「自動」になっていることを確認し「戻る」を押下



2.設置の仕方

9. 無線 LAN 設定画面で「アクセスポイント選択」ボタンを押下



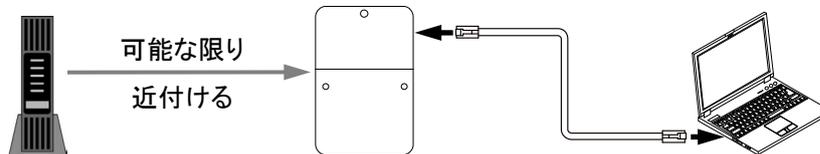
10. アクセスポイント選択画面で、対象アクセスポイントの SSID を「選択」し押下 電波強度アンテナが2本以上であることを確認します。



対象アクセスポイントが表示されない場合は、次のことが考えられます。

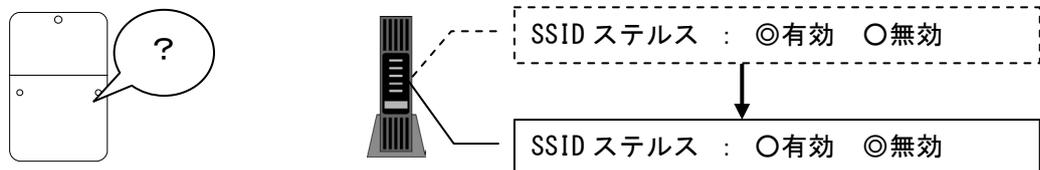
・本製品と距離が離れていたり、壁や扉で電波を遮蔽していませんか？

壁や扉で電波は弱くなります。無線 LAN アクセスポイントを可能な限り、本製品に近付けてください。普段閉めている扉などは、最終的に閉めてから電波強度アンテナ本数の確認を行ってください。



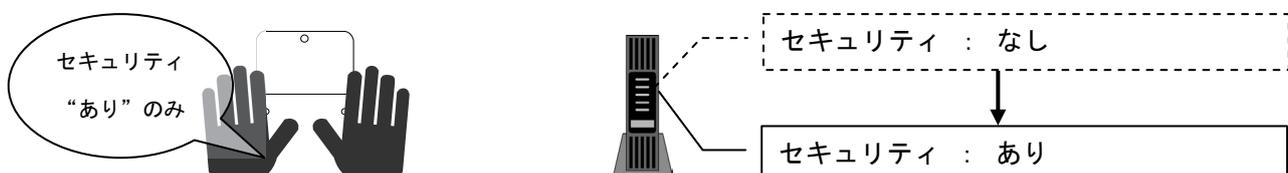
・無線 LAN アクセスポイントの SSID がステルス(隠ぺい)になっていませんか？

この場合、本製品は SSID を検出できません。ご使用の無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご確認の上、SSID ステルス(隠ぺい)の無効を実施してください。

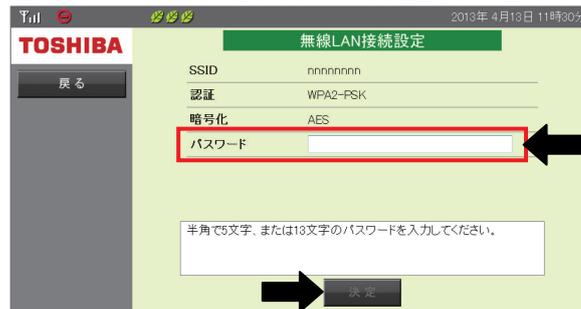


・無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が「なし」になっていませんか？

この場合、本製品は SSID を検出しません。ご使用の無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご確認の上、セキュリティとパスワードの設定を実施してください。

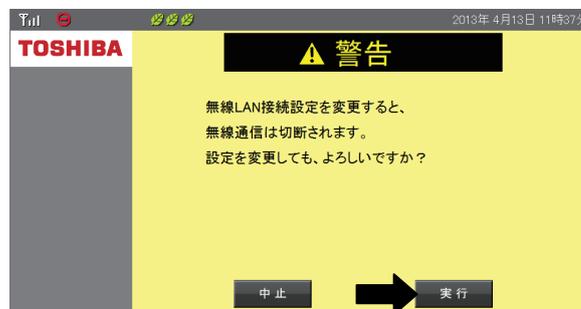


11. 無線 LAN 接続設定画面でパスワードを入力し、「決定」ボタンを押下

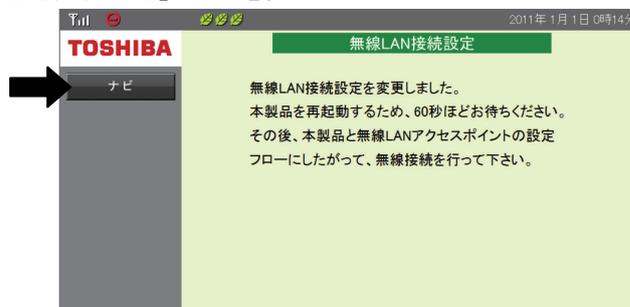
**注意**

- ・パスワードは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されています。
- ・パスワードはメーカーによって名称が異なります。暗号キー、暗号化キー、セキュリティキーなどがあります。詳細については、補足説明書「無線 LAN アクセスポイント接続確認機種一覧」をご覧ください。

12. 警告画面で確認後「実行」ボタンを押下



13. 約 60 秒経過した後、「ナビ」ボタンを押下



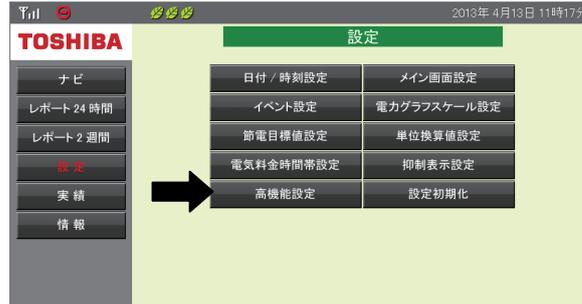
60 秒以内に「ナビ」ボタンを押すと、通信エラーが発生する場合があります。

その場合は、Web ブラウザでアドレス (<http://169.254.1.1/>) を入力し、最新情報に更新してください。

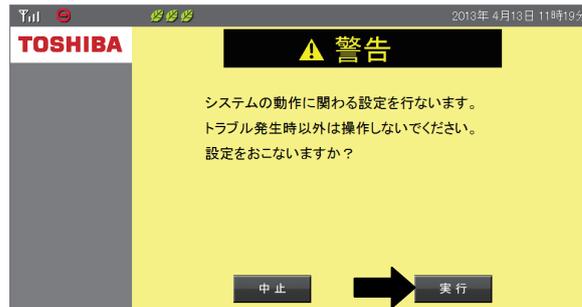
14. ナビモード画面:「設定」ボタン押下



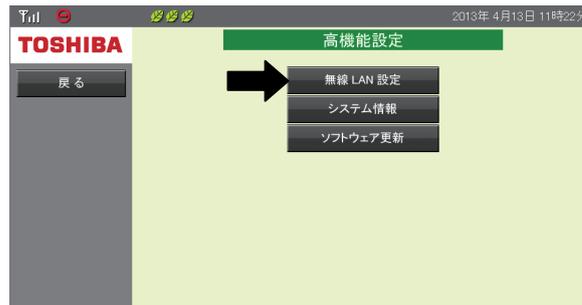
15. 設定画面:「高機能設定」ボタン押下



16. 高機能設定実行確認画面:「実行」ボタン押下



17. 高機能設定画面:「無線 LAN 設定」ボタン押下



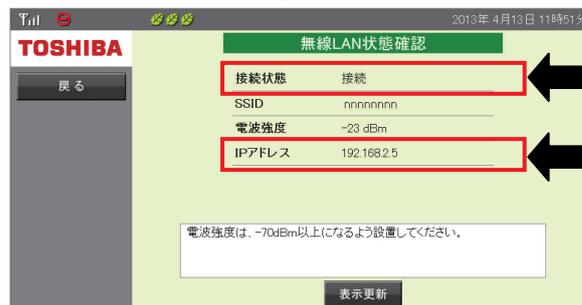
18. 無線 LAN 設定画面で「無線 LAN 状態確認」ボタンを押下



19. 無線 LAN 状態確認画面で接続状態が「接続」となっていることを確認し表示された「IP アドレス」192.168.2.5(例の場合)をメモします。

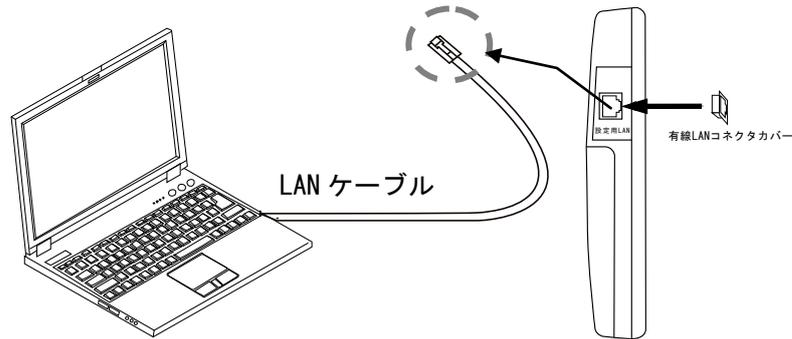
接続状態が「未接続」の場合、パスワードが違う可能性があります。

その場合は 11.に戻り再度パスワードを入力してください。



20. 本製品の LAN ケーブルを外し、無線接続できるかを確認します。

(コンピュータの無線 LAN 機能を使用します。詳細はコンピュータの取扱説明書を参照ください)



21. 次に Web ブラウザを起動します。

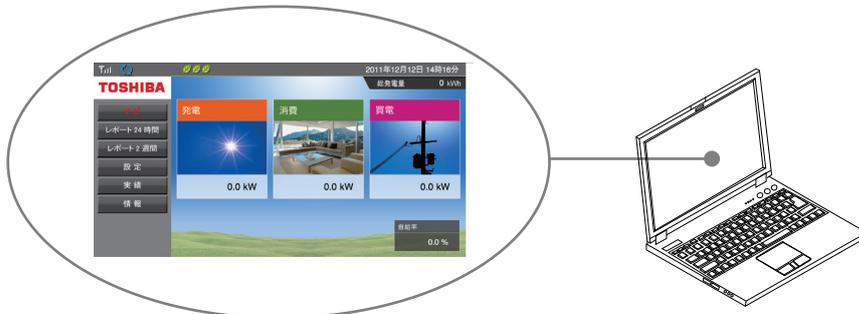


22. コンピュータで Web ブラウザの URL 入力画面を表示させ、「http://無線 LAN 状態確認の IP アドレス/」を入力します。(下図は 19.で確認をした IP アドレスが 192.168.2.5 であった場合)



23. 「ナビモード画面」が表示されたら、接続作業は完了です。

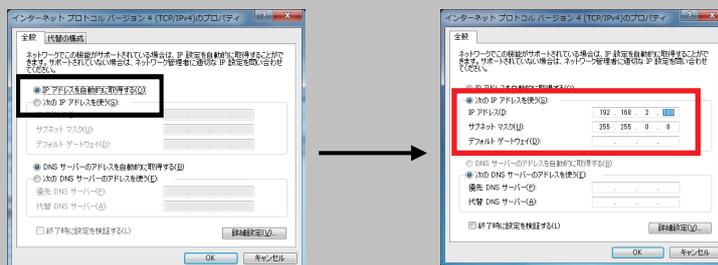
本製品はネットワークに接続されました。



24. 次に「2.3.WL ファインダー」(41 ページ)に進んでください。

注意

- ・無線 LAN アクセスポイントの電源が切れたり、リセットなど、IP アドレスが変わり表示モニタにナビモード画面が表示されないことがあります。41 ページを参照ください。
- ・「次の IP アドレスを使う」に設定されていた場合は、値を元に戻してください。



2.2.3.本製品と無線 LAN アクセスポイントの無線接続を手動設定する方法

手動設定するためには有線 LAN ケーブルを接続し、ネットワークの知識を必要とします。

お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、ご利用のネットワーク環境に適応する以下の項目を設定する必要があります。

有線 LAN 接続したコンピュータから Web ブラウザで <http://169.254.1.1/> を入力します。

高機能設定→高機能設定実行確認画面→無線 LAN 設定→IP アドレス設定

- ・IP アドレス
- ・サブネットマスク
- ・デフォルトゲートウェイ
- ・DNS サーバ

IP アドレス設定画面

設定後、IP アドレス設定画面で「決定」ボタンを押下し、確認画面で「実行」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されますので、60 秒経過した後、「ナビ」ボタンを押下してください。

再度、以下の画面操作で無線 LAN 設定画面を表示します。

1. ナビモード画面:「設定」ボタン押下
2. 設定画面:「高機能設定」ボタン押下
3. 高機能設定実行確認画面:「実行」ボタン押下
4. 高機能設定画面:「無線 LAN 設定」ボタン押下
5. 無線 LAN 設定画面表示

次に、無線 LAN 設定画面で「アクセスポイント選択」ボタンを押下し、アクセスポイント選択画面を表示します。この画面では、本製品と接続可能な無線 LAN アクセスポイントの一覧から接続対象のアクセスポイントを選択し、パスワードを入力することで接続処理を行います。

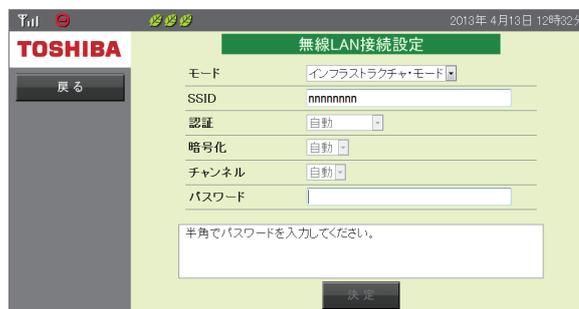
アクセスポイント選択画面

セキュリティ確保のため、本製品は「認証なし、かつ、暗号化なし」の無線 LAN アクセスポイントとは接続できません。無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定を行ってください。

なお、アクセスポイント選択画面で接続対象となるアクセスポイントが一覧から選択できない場合は無線 LAN アクセスポイント SSID のステルス(隠ぺい)機能が動作していることが考えられます。その場合は 28 ページを参照してください。

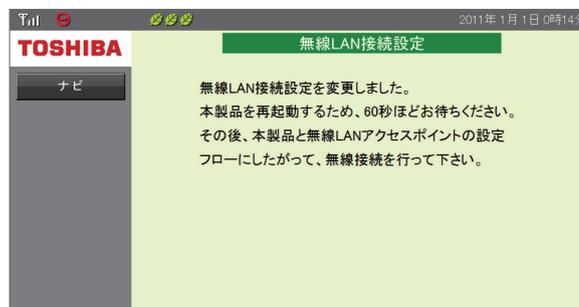
無線 LAN 接続設定画面では、本製品と接続する無線 LAN アクセスポイントとの以下の接続情報を手動設定します。

モード	(インフラストラクチャモードを選択してください)
SSID	選択したアクセスポイントの SSID
認証方式	無線 LAN アクセスポイントで設定された値に固定
暗号化	
チャンネル	
パスワード	手動入力



無線 LAN 接続設定画面

アクセスポイント選択画面、無線 LAN 接続設定画面で「決定」ボタンを押下し、確認画面で「実行」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されますので、60 秒経過した後、「ナビ」ボタンを押下してください。



60 秒以内に「ナビ」ボタンを押すと、通信エラーが発生する場合があります。その場合は、Web ブラウザでアドレス ([http:// 169.254.1.1/](http://169.254.1.1/)) を入力し、最新情報に更新してください。

再度、以下の画面操作で無線 LAN 設定画面を表示します。

1. ナビモード画面: 「設定」ボタン押下
2. 設定画面: 「高機能設定」ボタン押下
3. 高機能設定実行確認画面: 「実行」ボタン押下
4. 高機能設定画面: 「無線 LAN 設定」ボタン押下
5. 無線 LAN 設定画面表示

2.設置の仕方

無線 LAN 設定画面で「無線 LAN 状態確認」ボタンを押下し、無線 LAN 状態確認画面を表示します。

無線 LAN 状態確認画面で、接続状態が「接続」になっていれば本製品と無線 LAN アクセスポイントの接続は成功です。

接続状態が「未接続」となっている場合は接続に失敗していますので、最初の手順からやり直してください。

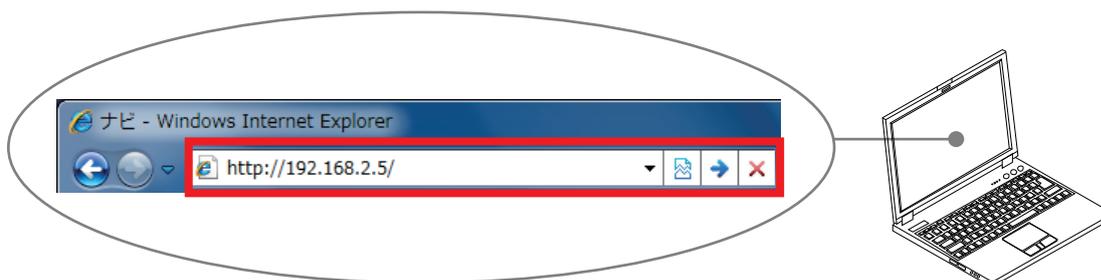
もしくは、補足説明書「無線 LAN アクセスポイント確認機種一覧」にある無線 LAN アクセスポイントは接続設定が可能ですので参考にしてください。(機種によっては制限があります)



無線 LAN 状態確認画面

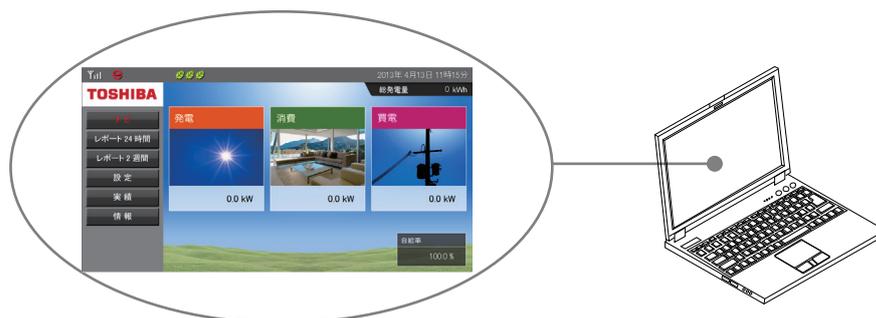
次に Web ブラウザを起動し、IP アドレスを入力し画面が表示されるかを確認してください。

コンピュータで Web ブラウザの URL 入力画面を表示させ、「http://「無線 LAN 状態確認の IP アドレス」/」を入力します。(下図は IP アドレスが 192.168.2.5 であった場合)



「ナビモード画面」が表示されたら、接続作業は完了です。

本製品はネットワークに接続されました。



次に「2.3.WL ファインダー」(41 ページ)に進んでください。

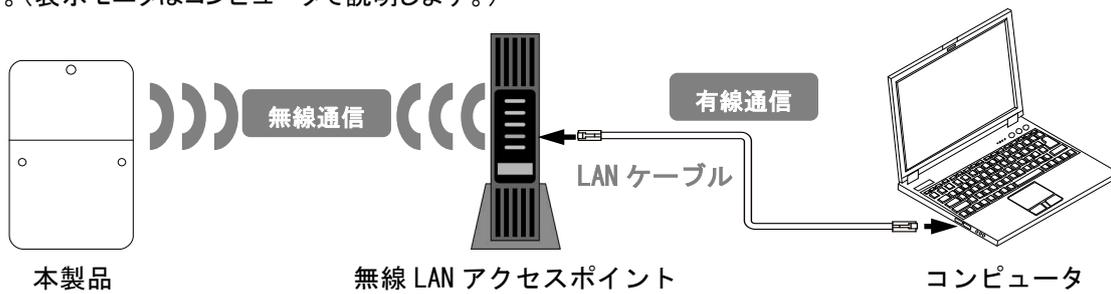


One Point

- 無線 LAN 設定機能の詳細については「6.高機能設定」(92 ページ)を参照してください。

2.2.4.無線 LAN アクセスポイントとコンピュータを有線接続する方法

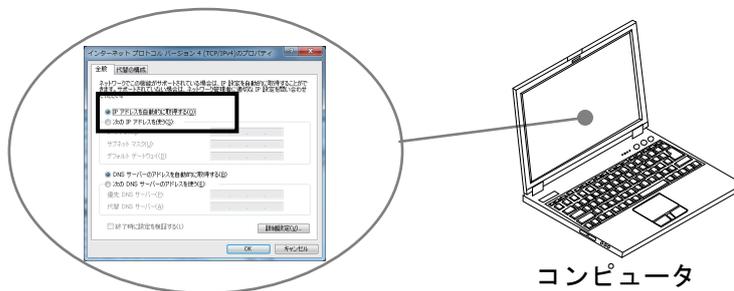
無線 LAN アクセスポイントと表示モニタを有線接続して、本製品の機能を利用する場合の接続方法を説明します。(表示モニタはコンピュータで説明します。)



コンピュータの設定を「IP アドレスを自動的に取得する」としてください。

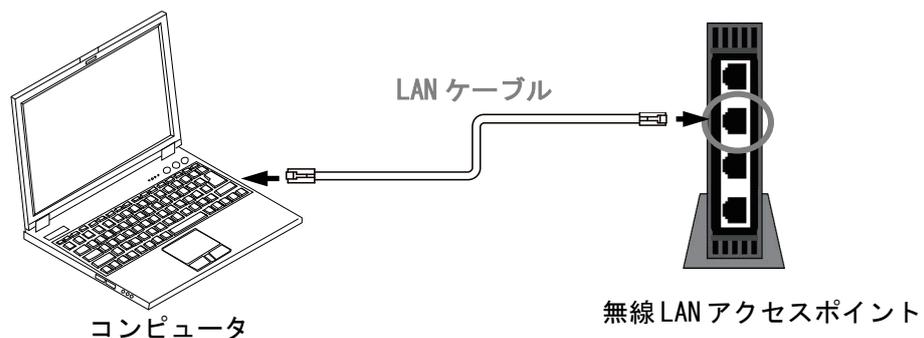
お客様の環境に合わせて「次の IP アドレスを使う」に設定されている場合は、必ず値をメモしてください。

設定完了後、値を戻してください。

**注意**

- ・コンピュータの設定は「IP アドレスを自動的に取得する」設定の確認方法(23 ページ)を参照ください。
- ・「次の IP アドレスを使う」に設定されている場合は、必ず値をメモしてください。

無線 LAN アクセスポイントとコンピュータを LAN ケーブルで接続します。

**注意**

- ・コンピュータの LAN ケーブル差込口の位置については、ご使用のコンピュータ取扱説明書をご覧ください。
- ・無線 LAN アクセスポイントの LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。
- ・無線 LAN アクセスポイントの接続、設定は、ご使用中の無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスの検索は WL ファインダーを使用します。「2.3.WL ファインダー」(41 ページ)に進んでください。

2.設置の仕方

2.2.5.無線 LAN アクセスポイントとコンピュータ、スマートフォンやタブレットを無線接続する方法

詳しくは、「補足説明書 セットアップガイド」を参照してください。

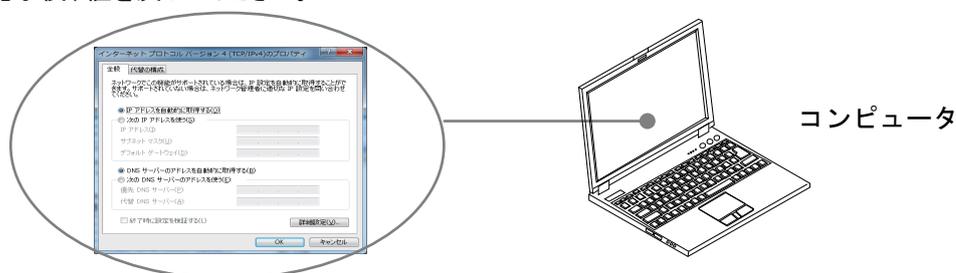
■コンピュータの場合

無線 LAN アクセスポイントと表示モニタ(コンピュータ)を無線接続して、本製品の機能を利用する場合の接続方法を説明します。



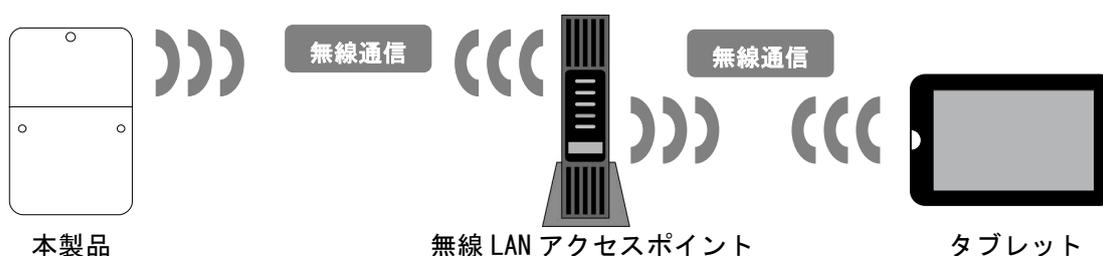
コンピュータの IP アドレスを自動的に取得する設定とします。

お客様の環境に合わせて「次の IP アドレスを使う」などに設定されている場合は、必ず値をメモしてください。設定完了後、値を戻してください。



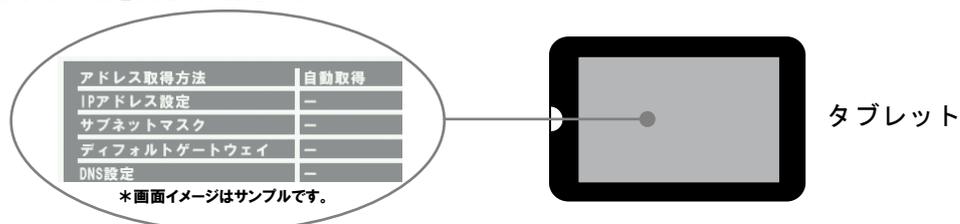
■スマートフォン、タブレットの場合

無線 LAN アクセスポイントと表示モニタを無線接続して、本製品の機能を利用する場合の接続方法を説明します。(表示モニタはタブレットの場合で説明します。)



タブレットの IP アドレスを自動的に取得する設定とします。

お客様の環境に合わせて「次の IP アドレスを使う」などに設定されている場合は、必ず値をメモしてください。設定完了後、値を戻してください。



注意

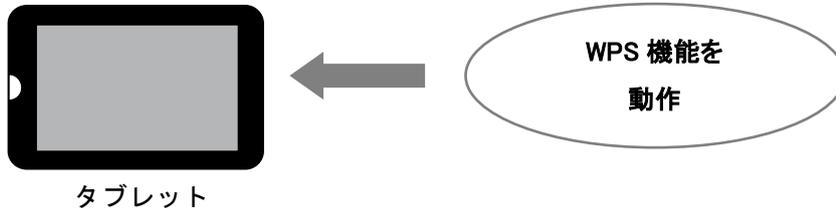
- ・IP アドレス設定方法は、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・「次の IP アドレスを使う」などに設定されている場合は、必ず値をメモしてください。

WPS 機能を利用する方法、もしくは無線 LAN アクセスポイントの SSID を指定する方法のいずれかで表示モニターと無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN 接続設定を行います。

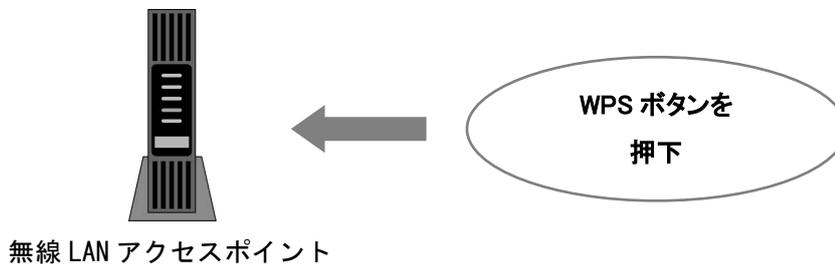
・WPS 機能を利用する方法で無線 LAN 接続設定を行う。

無線 LAN アクセスポイントと表示モニターの両方が WPS 機能をサポートしている場合は WPS 機能により、簡単に無線 LAN 接続設定を行うことができます。

1. 最初に表示モニターの WPS 機能を動作させます。



2. 次に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押下します。



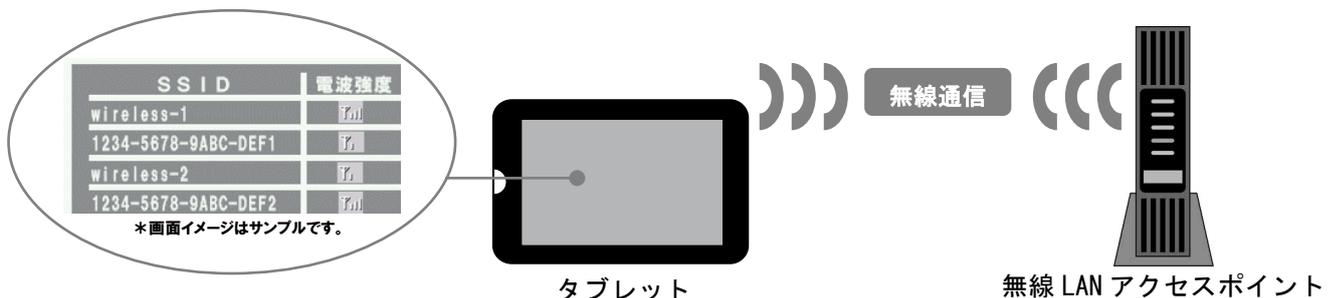
表示モニターの WPS 機能で無線 LAN 接続の完了確認を行います。接続に失敗した場合は、最初の手順からやり直してください。

注意

・タブレットの WPS 機能の詳細については、タブレットの取扱説明書をご覧ください。

・無線 LAN アクセスポイントの SSID を指定する方法で無線 LAN 接続設定を行う。

1. 表示モニターの無線 LAN 接続設定機能で認識できる無線端末の一覧から該当する SSID を選択し、パスワードを入力することで接続します。



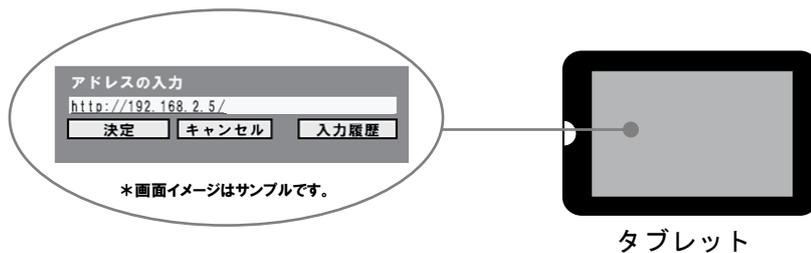
注意

・タブレットの WPS 機能の詳細はタブレットの取扱説明書をご覧ください。

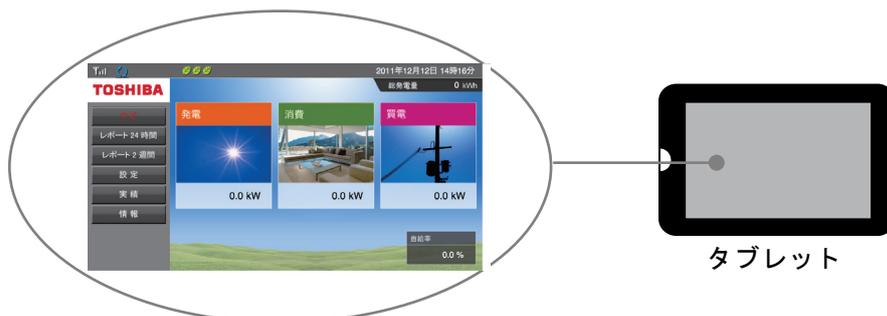
IP アドレスの検索は WL ファインダーを使用します。「2.3.WL ファインダー」(41 ページ)に進んでください。

2.設置の仕方

2. 表示モニタで Web ブラウザの URL 入力画面を表示させ、WL ファインダーで表示された「http://「IP アドレス」/」を入力します。(下図は確認した IP アドレスが 192.168.2.5 であった場合)

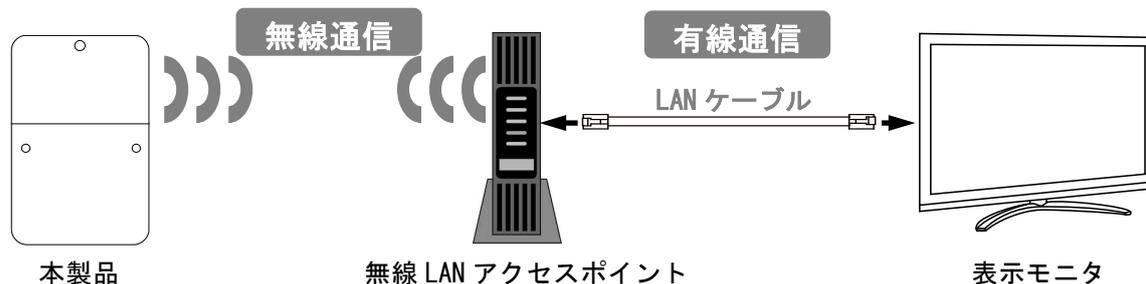


「ナビモード画面」が表示されたら、接続作業は完了です。

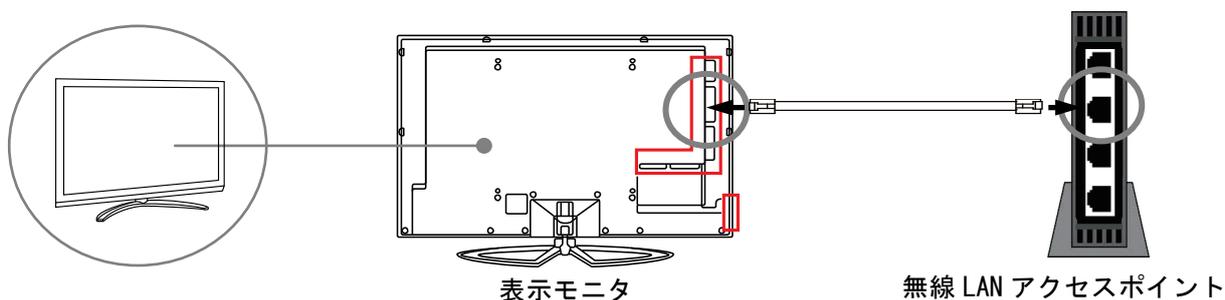


2.2.6.無線 LAN アクセスポイントとテレビを有線接続する方法

無線 LAN アクセスポイントと表示モニタを有線接続して、本製品の機能を利用する場合の接続方法を説明します。

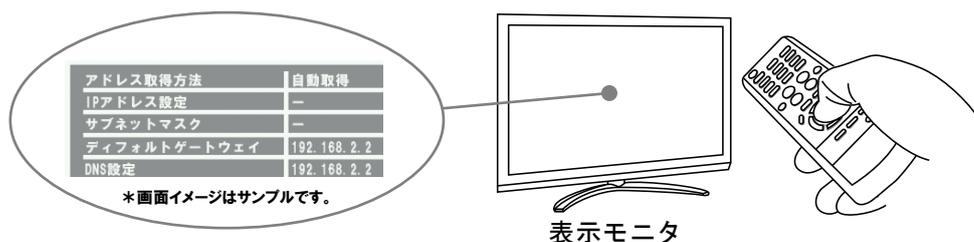


無線 LAN アクセスポイントと表示モニタを LAN ケーブルで接続します。

**注意**

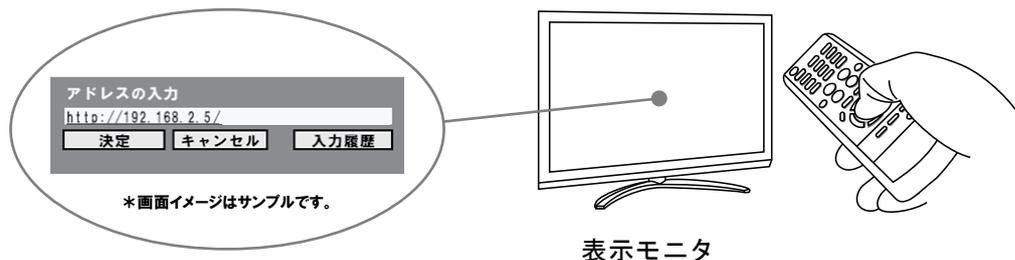
- ・表示モニタの LAN ケーブル差込口の位置については、ご使用の製品取扱説明書をご覧ください。
- ・無線 LAN アクセスポイントの LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。
- ・無線 LAN アクセスポイントの接続、設定は、ご使用中の無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

表示モニタの IP アドレスを自動的に取得する設定とします。



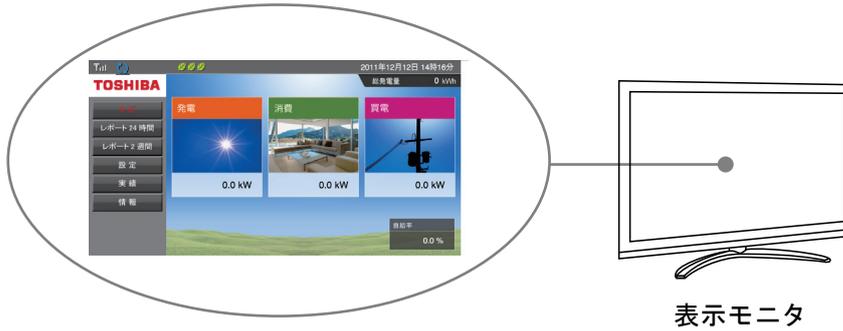
IP アドレスの検索は WL ファインダーを使用します。「2.3.WL ファインダー」(41 ページ)に進んでください。

その後、表示モニタで Web ブラウザの URL 入力画面を表示させ、WL ファインダーで表示された「http://IP アドレス/」を入力します。(下図の IP アドレスは例)



2.設置の仕方

「ナビモード画面」が表示されたら、接続作業は完了です。



2.3.WL ファインダー

「WL ファインダー」(以下、本ツール)は、ネットワークに接続された本製品の IP アドレスを簡単にすばやく検索することができます。

無線 LAN アクセスポイントの電源が切れたり、リセット等により IP アドレスが変わった場合に有効です。

2.3.1.WL ファインダー ダウンロード

ここでは、本ツールのダウンロード手順を説明します。

本ツールは東芝のウェブサイトからダウンロードできます。

下記アドレスから WL ファインダー「WLFinder.zip」をダウンロードしてください。

http://www.toshiba.co.jp/sis/h-solar/consult/download/index_j.htm

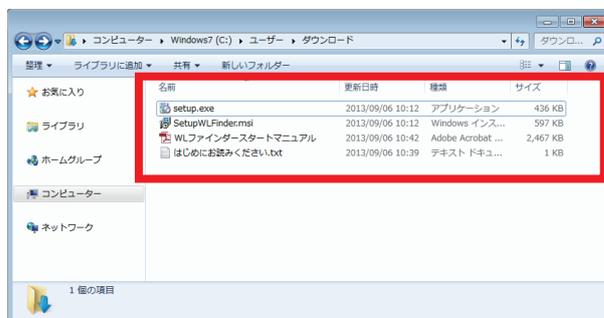
注意

- ・本ツールは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 に対応しています。Windows7 を例に説明しています。
- ・本ツールをダウンロード出来ない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



画面は「ダウンロードフォルダ」に保存された場合の例です。「WLFinder.zip」を、解凍します。

WLFinder フォルダが作成され、ファイルが生成されます。



「WLFinder」フォルダ

- ├ setup.exe
- ├ SetupWLFinder.msi
- ├ WL ファインダースタートマニュアル.pdf
- └ はじめにお読みください.txt

2. 設置の仕方

2.3.2. WL ファインダー インストール

ここでは、本ツールをコンピュータにインストールするまでの内容を記載しています。

1. エクスプローラで本ツールのインストール用ファイルのフォルダを選択し、Setup をダブルクリックします。



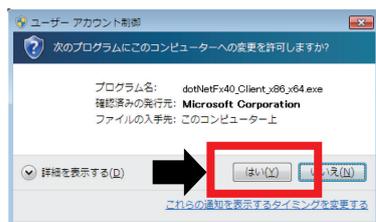
以下の画面が表示された場合は、「同意する」を選択してください。



注意

- ・Microsoft .NET Framework 4 Client Profile がインストールされていないコンピュータをご利用の場合に表示されます。
- ・「同意する」選択の後、Microsoft社のサポートページより必要なファイルをダウンロードしますので、コンピュータはインターネットに接続されている必要があります。

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」ボタンを押してください。



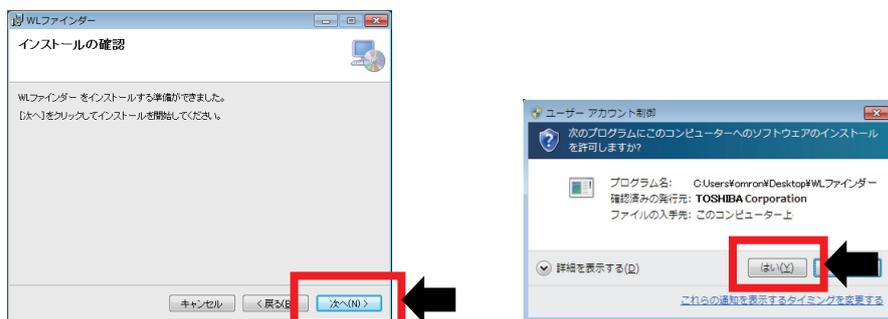
2. セットアップウィザードが表示されますので、「次へ」を選択してください。



3. 次にインストール先のフォルダを指定し、「次へ」を選択してください。



4. 次にインストール開始を確認し、「次へ」を選択してください。インストールを開始します。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」ボタンを押してください。



5. 以下の画面が表示されたら、本ツールのインストールは完了です。「閉じる」ボタンを押下してください。



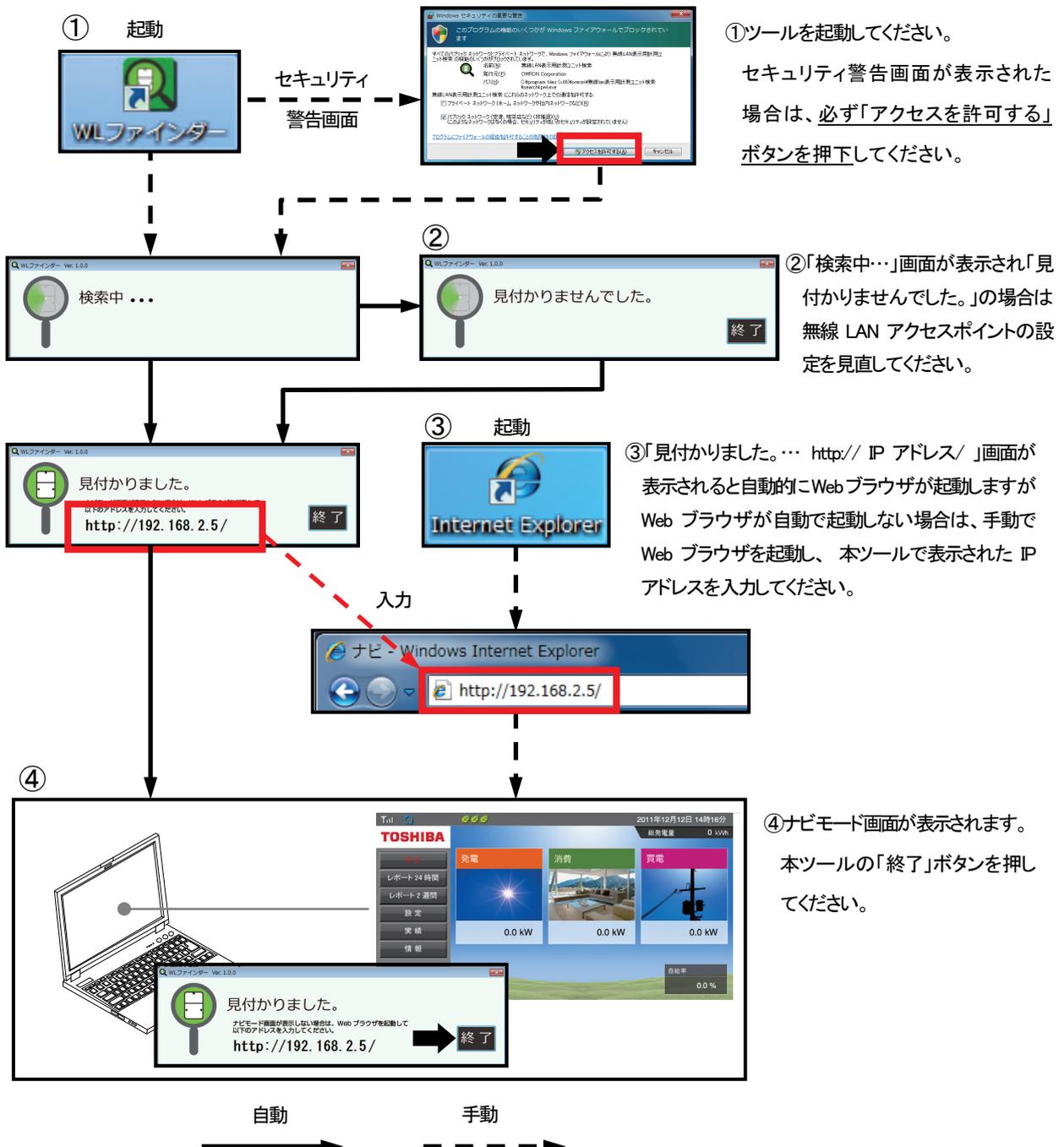
次のページで本ツールの使い方を説明します。

2.3.3.WL ファインダー 操作

本ツールはネットワークに接続された本製品の IP アドレス確認とナビモード画面の表示を簡単に行えます。本ツールのインストール後、Windows 画面上のデスクトップに以下のショートカットアイコンが作成されています。ご使用のコンピュータ環境によっては、自動的にナビモード画面を表示しない場合があります。その場合は、以下の手順に従って手動で Web ブラウザに IP アドレスの入力を行ってください。

注意

- ・コンピュータで Windows Firewall が動作している場合は、セキュリティ警告画面が表示される場合があります。この場合、必ず「アクセスを許可する」ボタンを押下してください。
- ・キャンセルボタンを押下した場合、手動で Windows Firewall の許可設定が必要になります。「セキュリティ警告画面で「キャンセル」を押した場合の許可設定方法」(45 ページ)を参照ください。



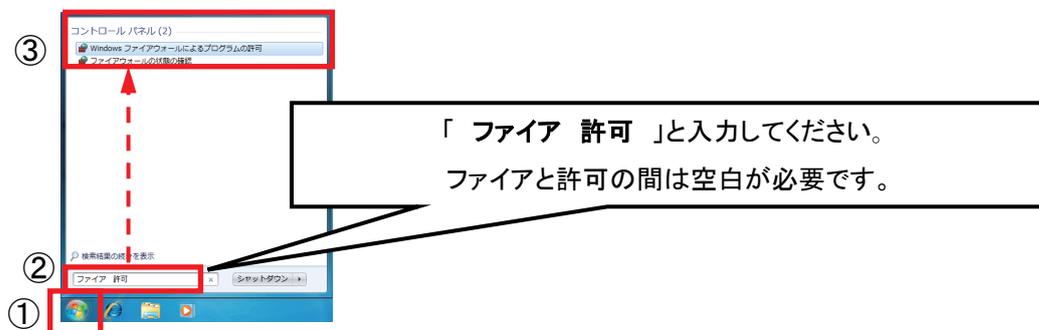
・セキュリティ警告画面で「キャンセル」を押した場合の許可設定方法

本ツール起動後、セキュリティ警告画面が表示され「キャンセル」ボタンを押下した場合、本ツールは正常に動作できません。次の方法で Windows ファイアウォールのアクセスを許可することができます。

ここでは Windows7 を例に説明します。

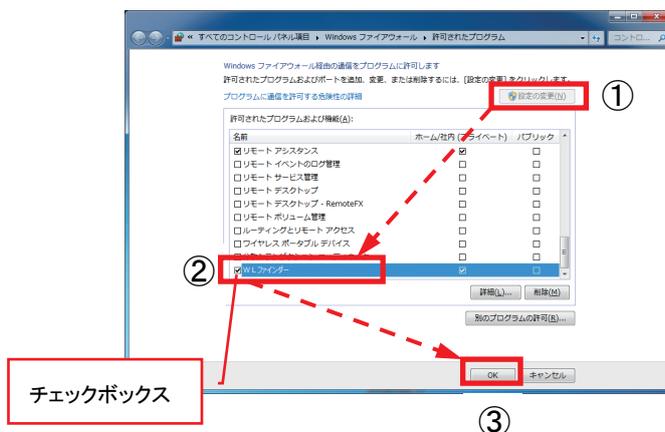
1. デスクトップ画面を表示させます。

- ①スタートボタンを押下します。
- ②プログラムとファイルの検索枠に「ファイア 許可」(ファイアと許可の間は空白が必要です。)を入力します。
- ③候補一覧が表示されますので、「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」を押下してください。



2. 「Windows ファイアウォール経由の通信をプログラムに許可します」画面が表示されます。

- ①「設定の変更」を押下します。
- ②次に一覧の名前から本ツールの「名前」欄、左側の「チェックボックス」にチェックを入れます。
- ③次に「OK」ボタンを押下することで、許可が有効になります。



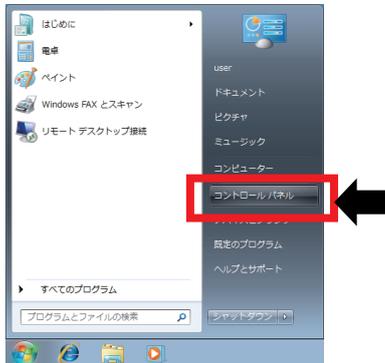
3. 「WL ファインダー 操作」(44 ページ)を実施してください。

2. 設置の仕方

2.3.4.WL ファインダー アンインストール

ここでは、本ツールのアンインストール手順を説明します。

1. コンピュータの「スタートボタン」を押し、次に「コントロールパネル」を押してください。



2. プログラムを押してください。



3. プログラムの一覧から WL ファインダーを選択し、右クリックでアンインストールメニューを表示させて、「アンインストール」を押してください。



4. 「WL ファインダーをアンインストールしますか？」と表示されますので「はい」ボタンを押してください。



5. その後、自動的に削除されます。以上でアンインストールは完了です。



3.本製品でできること

本製品は、無線 LAN アクセスポイントを介して接続した表示モニタの Web ブラウザ機能によって太陽光発電システムの発電状況や各種情報を表示します。

この章では、「主な機能」、「各操作画面」、「表示モニタ別の画面操作について」、「表示画面の見方と操作方法」について説明します。

3.1.主な機能

本製品では、表示モニタの Web ブラウザ上で次のような情報を確認できます。

- 現在のシステム状況を確認できます。

現在の発電電力量や消費電力量、売買電力量、パワーコンディショナの運転状況を確認できます。

- 過去の電力状態を確認できます。

1 日、1 ヶ月、1 年単位で過去の発電、消費、売電、買電の状態を確認できます。

また、これらのデータを CSV ファイルでダウンロードすることでコンピュータに取り込み、独自に集計、管理することもできます。

確認可能なデータとデータ表示範囲

データ種別	データ表示範囲
過去実績データ(日間実績)	1 ヶ月分
過去実績データ(月間実績)	1 年分
過去実績データ(年間実績)	16 年分
時間帯別消費電力量比率データ	1 年分
電圧上昇抑制履歴データ	過去 32 日分
異常履歴表示データ	過去 50 件

- 目標を設定して達成度を確認できます。

1 ヶ月の消費電力目標を設定し、目標に対しての達成状況をグラフやアイコンで表示します。

- 時間帯別の消費状況を確認できます。

1 日を 4 つの時間帯に分け、時間帯別の消費状況を確認できます。

時間帯で料金が異なる契約の場合に、節約の目安として利用できます。

3.2.各操作画面

本製品は、コンピュータのマウス、スマートフォンやタブレットのタッチパネル、テレビのリモコンなどの操作やイベントの発生により、次のように表示画面が変化します。

各画面の表示内容と操作は、「4.表示機能」、「5.各種機能設定」、「6.高機能設定」で説明します。

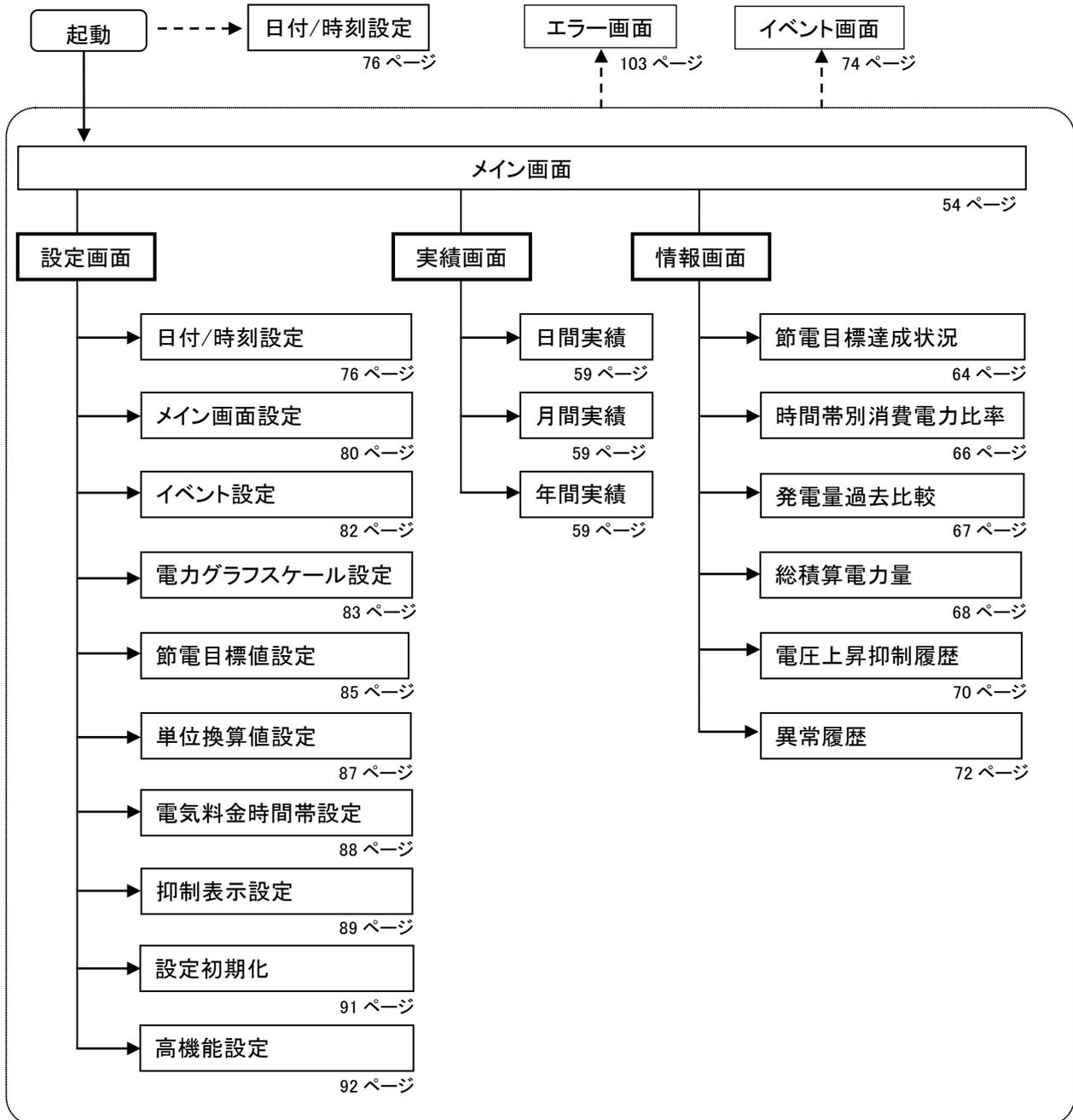


One Point

- ・点線の矢印(---->)で表示している画面は、一定の条件下(日付/時刻未入力、異常発生時、イベント条件等)で表示される画面です。
- ・実線の矢印(——>)で表示している画面は、通常操作で表示される画面です。

■各操作画面一覧

Web ブラウザでのメイン画面起動



3.3.表示モニタ別の画面操作について

本製品の表示画面項目の選択方法や値の入力／選択方法を表示モニタ別に説明します。

■マウスおよびキーボードによる操作(表示モニタがコンピュータの場合)

1. 項目を選択する場合

- ① 選択したい項目をクリックする。



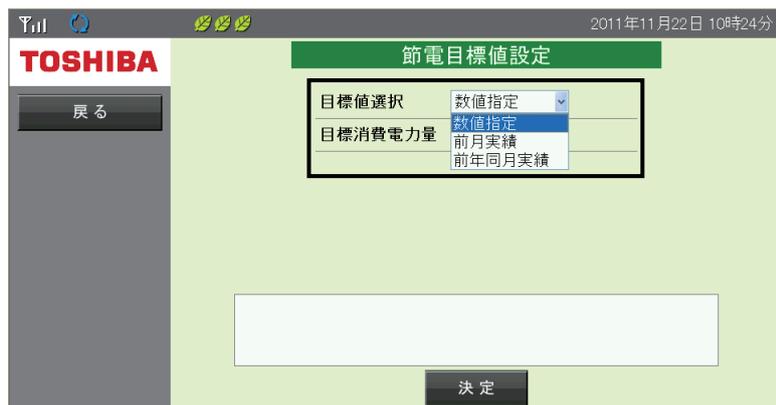
2. 数値を入力する場合

- ① 入力したいテキストボックスをクリックする。
- ② キーボードで数値を入力する。



3. ドロップダウンリストボックスから値を選択する場合

- ① 選択したいドロップダウンリストボックスをクリックする。
- ② 値を選択する。



3.本製品でできること

■タッチパネルによる操作(表示モニタがタブレット端末、スマートフォンの場合)

1. 項目を選択する場合

- ① 選択したい項目をタップする。



2. 数値を入力する場合

- ① 入力したいテキストボックスをタップする。
- ② 入力用キーボードが表示される。
- ③ 数値をタップして入力する。



3. ドロップダウンリストボックスから値を選択する場合

- ① 選択したいドロップダウンリストボックスをタップする。
- ② 値をタップする。



■リモコンによる操作(表示モニタがテレビの場合)

1. 項目を選択する場合

- ①リモコンの十字キーで選択したい項目にカーソルを移動する。



- ②リモコンの決定ボタンを押下する。

2. 数値を入力する場合

- ①リモコンの十字キーで選択したいテキストボックスにカーソルを移動する。
②リモコンの決定ボタンを押下する。



- ③リモコンの数字キーで数値を入力する。
④リモコンの決定ボタンを押下する。

3. ドロップダウンリストボックスから値を選択する場合

- ①リモコンの十字キーで選択したいドロップダウンリストボックスにカーソルを移動する。
②リモコンの決定ボタンを押下する。

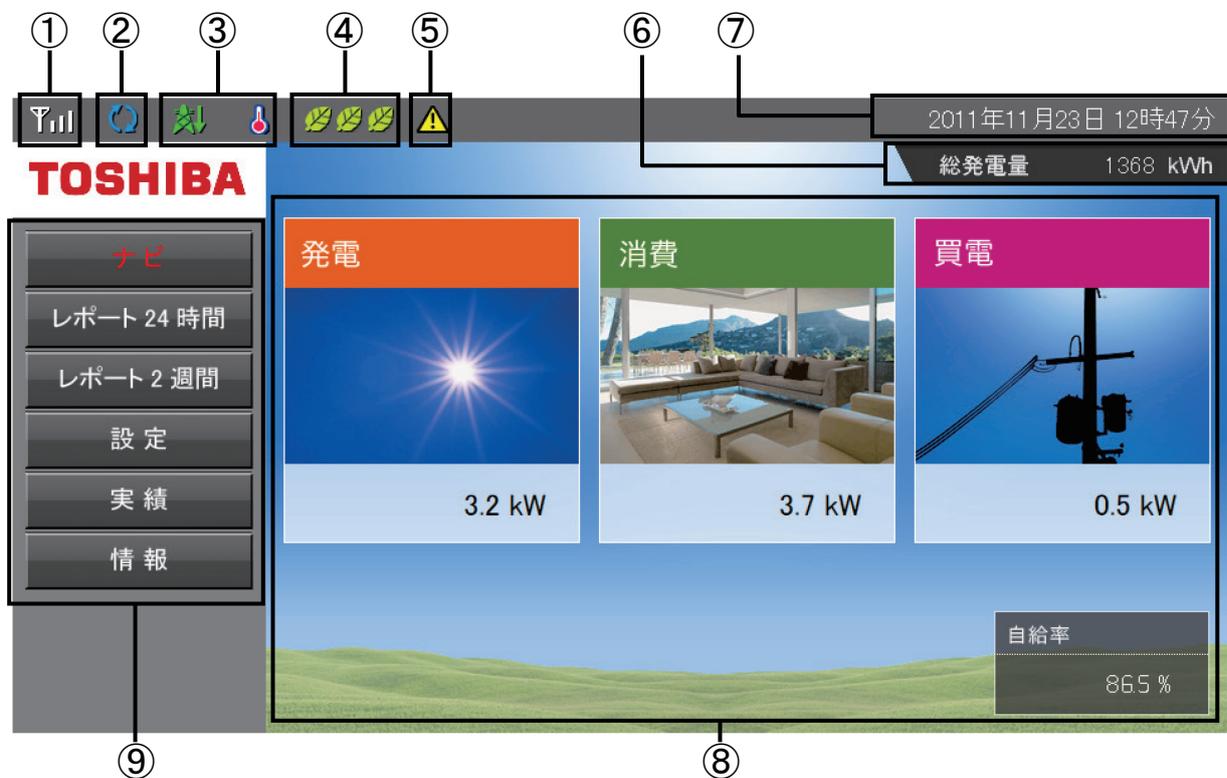


- ③リモコンの十字キーで値を選択する。
④リモコンの決定ボタンを押下する。

3.4.表示画面の見方

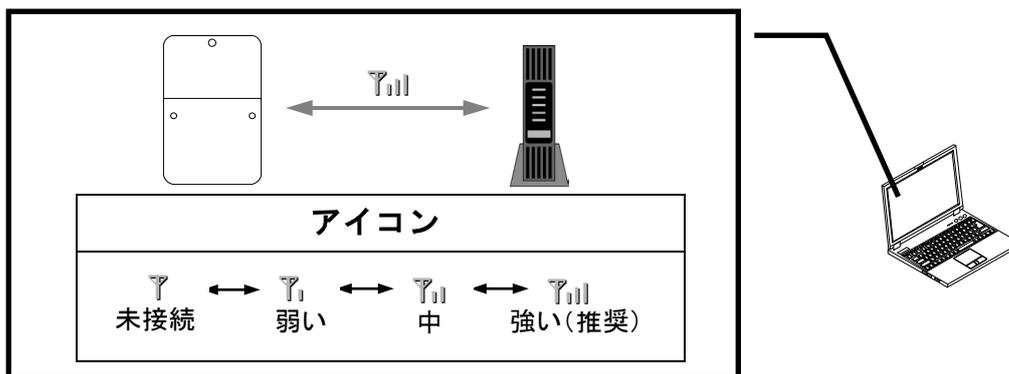
本製品では、発電・消費・売電力量・買電力量やパワーコンディショナの運転状態など、様々な情報を表示しています。ここでは、表示されるイラストやアイコンについて説明します。

■表示画面



① 通信状態アイコン

本製品との無線 LAN アクセスポイントとの通信接続状態を示します。無線 LAN アクセスポイントから本製品に対する無線 LAN 通信の受信状態によって、次のアイコンを表示します。



アンテナマークが 3 本立つ場所でも、環境ノイズなどによって一時的に送受信ができない場合があります。また、電波環境は周囲の環境変化によっても変わり、それにより送受信ができなくなる場合もあります。

②パワーコンディショナの運転モードアイコン

パワーコンディショナの運転状態を表示します。

運転モード	アイコン	説明
連系運転	 (青)	通常時の運転モードです。太陽電池の電力をご家庭で使用し、余った電力は電力会社へ売電します。
自立運転	 (黄)	停電時の運転モードです。太陽電池の電力を専用の「停電用コンセント」から使用します。
停止	 (赤)	パワーコンディショナが停止している状態です。

③抑制表示アイコン

パワーコンディショナの運転に抑制がかかっていることを表示します。

設定により、アイコン表示の有無を変更できます。

詳細な変更方法は、「5.9.抑制表示設定」(89 ページ)を参照してください。

抑制内容	アイコン	説明
電圧上昇抑制		パワーコンディショナ運転中に商用系統の電圧が高くなり、パワーコンディショナの出力を抑えている状態です。
温度上昇抑制		パワーコンディショナ内部の温度が高くなり、パワーコンディショナの出力を抑えている状態です。

④目標達成状況アイコン

月の節電目標達成度を表示します。

アイコンは、達成度によって3段階で表示します。

詳細は、「4.7.節電目標達成状況」(64 ページ)を参照してください。

⑤エラーアイコン

通常は表示されず、エラーが発生している場合に表示します。

詳細は、「7.おかしいなと思ったら(トラブルシューティング)」(103 ページ)を参照してください。

⑥総発電量

発電開始日から現在までの総発電電力量を表示します。

運転開始日より以前に日付変更した場合、実績データは、運転開始日を過ぎるまで積算されません。

⑦日付/時刻

現在の日付と時刻を表示します。

設定方法は、「5.2.日付/時刻設定」(76 ページ)を参照してください。

⑧電力情報

現在の発電電力量、消費電力量、売買電力量、自給率をアイコンと数字で表示します。

⑨操作ボタンアイコン

操作ボタンの名称を表示します。

操作ボタンアイコンは、表示している画面ごとに名称や役割が異なります。

操作ボタンの内容については、各機能の説明を参照してください。



One Point

- ・表示される数値は、すべて四捨五入された値が表示されます。
例として、実際の消費電力量が「3.14kwh」の場合は「3.1kwh」と表示され、「3.15kwh」であった場合は「3.2kwh」で表示されます。
- ・抑制表示アイコンが頻繁に表示される場合は、販売店にご相談ください。
- ・抑制表示の設定を無効にしている場合、抑制表示アイコンは表示されません。

4.表示機能

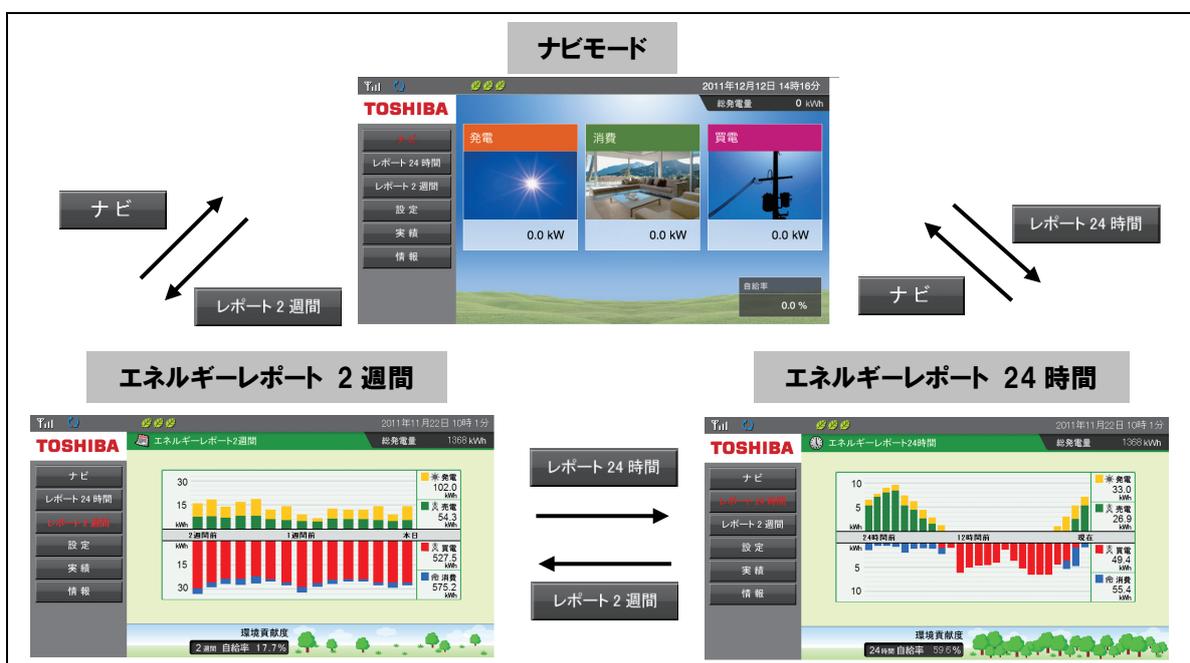
本製品は、表示モニタの Web ブラウザに表示される画面で各種の情報を表示します。
この章では、主に各種情報を表示する機能(各種表示画面)について説明します。

4.1.メイン画面

太陽光発電システムの稼動状態を確認！

メイン画面は「ナビモード」、「エネルギーレポート 24 時間」、「エネルギーレポート 2 週間」の 3 種類の表示モードがあり、**ナビ** / **レポート 24 時間** / **レポート 2 週間** ボタンを押すことで表示モードを切り替えることができます。

■メイン画面



4.2.ナビモード

いまどのくらい発電しているの？消費は？電気は売れているの？

ナビモードでは、システムの運転状態と瞬間的な電力の情報を表示します。

■ナビモード 画面



①売買電力アイコン

電力の売買状態を示すアイコンです。売買状態によりアイコンタイトルが「売電」もしくは「買電」に切り替わります。

②発電電力

現在の発電電力の数値を表示します。

③消費電力

現在の消費電力の数値を表示します。

④売買電力

現在の売買電力の数値を表示します。

⑤自給率

現在の電力の自給率を表示します。

■操作方法

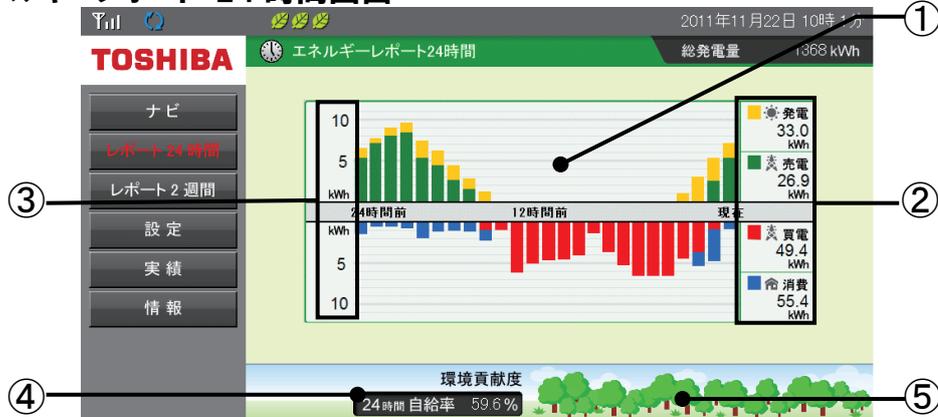
- ・ **設定** ボタンで設定画面を表示します。
- ・ **実績** ボタンで日間実績画面を表示します。
- ・ **情報** ボタンで情報画面を表示します。
- ・ **ナビ** / **レポート 24 時間** / **レポート 2 週間** ボタンでメイン画面の表示モードを切り替えます。

4.3.エネルギーレポート 24 時間

今日の調子は？

エネルギーレポート 24 時間では、過去 24 時間分の合計電力量と電力状況のグラフ(1 時間単位)を表示します。

■エネルギーレポート 24 時間画面



①グラフエリア

各電力量(発電/消費/売電/買電)の実績を、1 時間単位の色分けした棒グラフで表示します。

②電力量表示エリア

過去 24 時間分の合計電力量を表示します。

③電力グラフスケール

グラフの目盛を表示します。

電力量にあわせて日間グラフのグラフスケールを設定してください。

設定方法については、「5.5.電力グラフスケール設定」(83 ページ)を参照してください。

④自給率

過去 24 時間分の電力自給率を表示します。

計算式は次の通りです。

$$\text{自給率}[\%] = \text{発電電力} \div \text{消費電力} \times 100$$

計算結果が、100 を超える場合は 100%と表示します。

⑤環境貢献度

「④自給率」に応じて、5 段階に変化します。

貢献度が高いほど木のアイコンが増えていきます。

自給率	アイコン
0~10%未満	環境貢献度
10~25%未満	環境貢献度
25~50%未満	環境貢献度
50~80%未満	環境貢献度
80%以上	環境貢献度



One Point

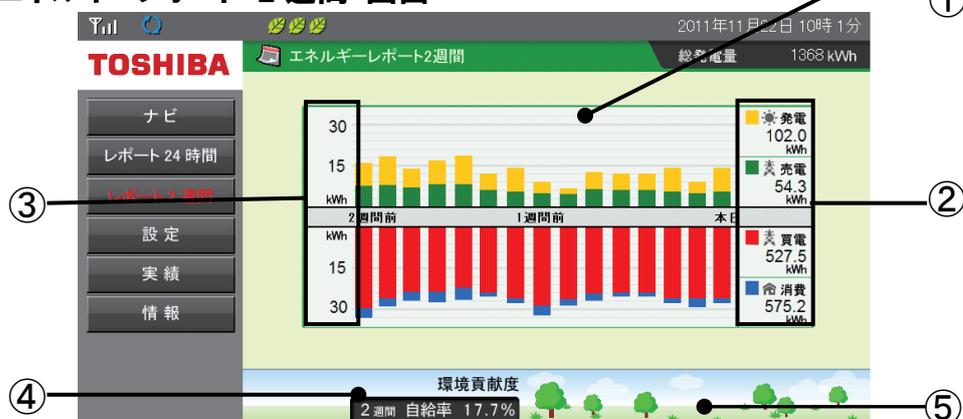
- ・合計電力量と電力状況のグラフは、毎時 00 分に更新されます。
- ・ボタン操作は、ナビモードと同じです。
- ・実績がない期間は、0.0 [kWh]として表示します。

4.4.エネルギーレポート 2 週間

ここ最近の状況はどうだろう？

エネルギーレポート2週間では、過去2週間分の合計電力量と電力状況のグラフ(1日単位)を表示します。

■エネルギーレポート 2 週間 画面



① グラフエリア

各電力量(発電/消費/売電/買電)の実績を、1日単位の色分けした棒グラフで表示します。

② 電力量表示エリア

過去2週間の合計電力量を表示します。

③ 電力グラフスケール

グラフの目盛を表示します。

電力量にあわせて月間グラフのグラフスケールを設定してください。

設定方法については、「5.5.電力グラフスケール設定」(83 ページ)を参照してください。

④ 自給率

過去2週間分の電力自給率を表示します。

計算式は次の通りです。

$$\text{自給率}[\%] = \text{発電電力} \div \text{消費電力} \times 100$$

計算結果が、100を超える場合は100%と表示します。

⑤ 環境貢献度

「④自給率」に応じて、5段階に変化します。

貢献度が高いほど木のアイコンが増えていきます。

自給率	アイコン
0～10%未満	環境貢献度
10～25%未満	環境貢献度
25～50%未満	環境貢献度
50～80%未満	環境貢献度
80%以上	環境貢献度



One Point

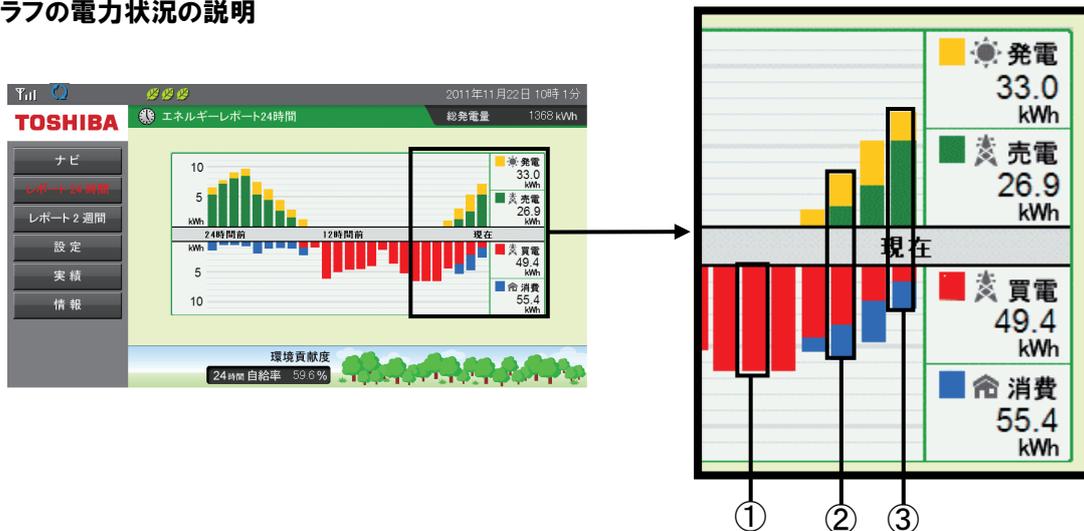
- ・合計電力量と電力状況のグラフは、毎日0時00分に更新されます。
- ・ボタン操作は、ナビモードと同じです。
- ・実績がない期間は、0.0 [kWh]として表示します。

4.表示機能

■エネルギーレポートの見方

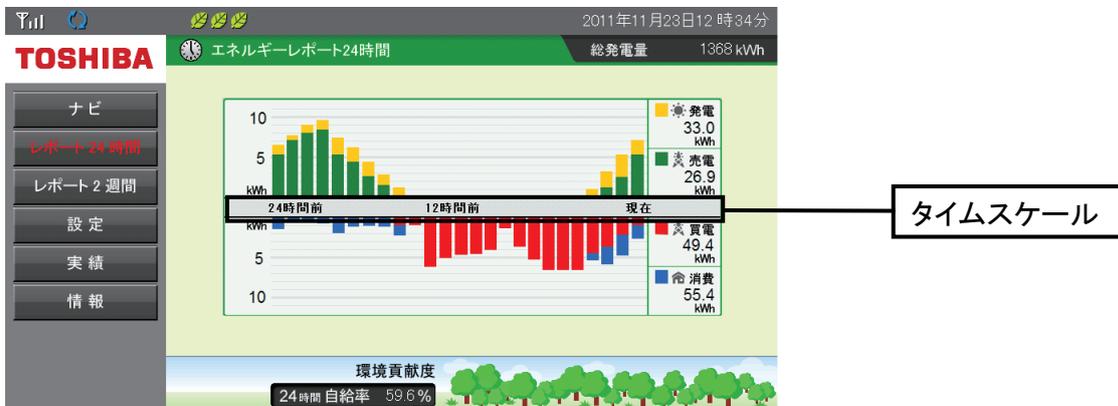
エネルギーレポート画面では、過去 24 時間分と過去 2 週間分の電力状況を表示します。
ここでは、各グラフの電力状況がどのような状態であるかとタイムスケールについての説明をします。

・各グラフの電力状況の説明



・タイムスケールの説明

2011/11/23 12:34 の場合を例にとり説明します。



エネルギーレポート 24 時間の場合

24時間前	12時間前	現在
-------	-------	----

「現在」は、2011/11/23 11:00～12:00 のデータを表示しています。

「12 時間前」は、2011/11/22 23:00～2011/11/23 00:00 のデータを表示しています。

「24 時間前」は、2011/11/22 11:00～12:00 のデータを表示しています。

エネルギーレポート 2 週間の場合

2週間前	1週間前	本日
------	------	----

「本日」は、2011/11/23 00:00～2011/11/23 12:00 のデータを表示しています。

「1 週間前」は、2011/11/16 00:00～2011/11/17 00:00 のデータを表示しています。

「2 週間前」は、2011/11/9 00:00～2011/11/10 00:00 のデータを表示しています。

4.5.実績

どのくらい発電した？消費した？過去のデータを確認したい。

実績画面では、各電力量(発電／消費／売電／買電)の実績を各単位(日／月／年)でグラフと一覧表で表示します。

■実績画面

実績画面(日間／月間／年間)

メイン画面

実績 ↓ ↑ ナビ

日間実績(グラフ表示)

2011年11月20日の発電状況

■ 売発電 103.3 kWh
■ 買売電 9.2 kWh
■ 買電 20.1 kWh
■ 売消費 27.2 kWh

日間実績(一覧表示)

時刻	発電	消費	売電	買電
00:00	0.0	2.5	0.0	2.5
01:00	0.0	3.6	0.0	3.6
02:00	0.0	4.5	0.0	4.5
03:00	0.0	3.8	0.0	3.8
04:00	0.0	2.4	0.0	2.4
05:00	0.0	1.8	0.0	1.8

← 一覧 →

← 戻る →

↓ 月間

月間実績(グラフ表示)

2011年8月の発電状況

■ 売発電 176.2 kWh
■ 買売電 50.1 kWh
■ 買電 327.8 kWh
■ 売消費 453.9 kWh

月間実績(一覧表示)

日	発電	消費	売電	買電
1	6.0	18.0	2.0	14.0
2	7.0	18.0	4.0	15.0
3	5.0	10.0	3.0	8.0
4	5.0	22.0	5.0	22.0
5	9.0	11.0	4.0	6.0
6	8.0	15.0	7.0	14.0

← 一覧 →

← 戻る →

↓ 年間

年間実績(グラフ表示)

2008年の発電状況

■ 売発電 2206.2 kWh
■ 買売電 600.6 kWh
■ 買電 2750.5 kWh
■ 売消費 4351.1 kWh

年間実績(一覧表示)

月	発電	消費	売電	買電
1	220	330	100	210
2	280	330	120	170
3	140	220	100	180
4	130	180	80	130
5	230	490	100	360
6	300	360	110	170

← 一覧 →

← 戻る →

← 日間



One Point

- ・日間実績データは、毎時 00 分に更新されます。
- ・月間実績データは、毎日 0 時 00 分に更新されます。
- ・年間実績データは、毎月 1 日の 0 時 00 分に更新されます。

4.表示機能

【実績グラフ(日間実績/月間実績/年間実績)】

各電力量(発電/消費/売電/買電)の実績をグラフで表示します。

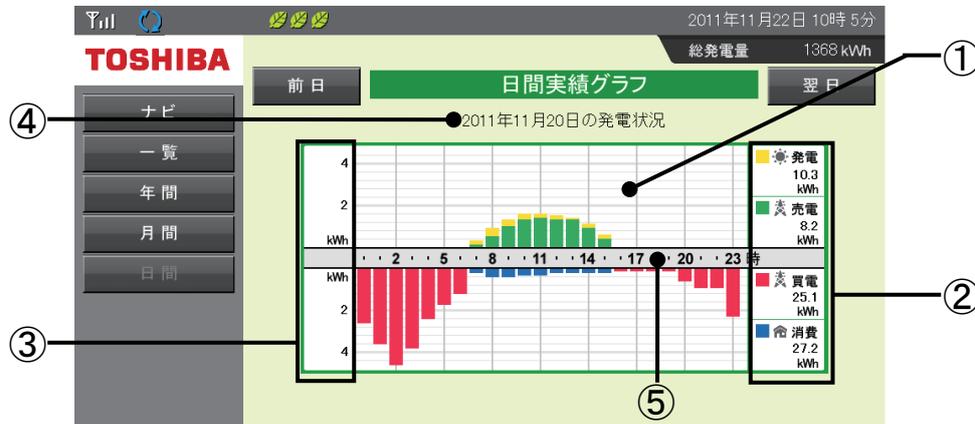
■グラフの種類

日間実績グラフ: 当日の 24 時間分の電力状況を 1 時間ごとに表示します。

月間実績グラフ: 当月の 1 ヶ月間分の電力状況を 1 日ごとに表示します。

年間実績グラフ: 当年の 1 年間分の電力状況を 1 ヶ月ごとに表示します。

■グラフ画面



* 1.画面は日間実績の表示例です。

①グラフエリア

各電力量(発電/消費/売電/買電)を色分けした棒グラフで表示します。

②電力量表示エリア

過去実績の合計電力量を表示します。

③電力グラフスケール

グラフの目盛を表示します。

電力量にあわせて各実績(日間/月間/年間)のグラフスケールを設定してください。設定方法については、「5.5.電力グラフスケール設定」(83 ページ)を参照してください。

④表示期間

各单位(日/月/年)で表示期間を表示します。

⑤タイムスケール

各実績(日間/月間/年間)に合わせたタイムスケールを表示します。

例として、日間実績でタイムスケールが「2」の時は 02:00~03:00 のグラフであることを示します。

実績	単位
日間実績	1時間単位
月間実績	1日単位
年間実績	1ヶ月単位

■操作方法

- ・ **日間** / **月間** / **年間** ボタンを押して各実績の単位(日/月/年)を切り替えます。
- ・ **一覧** ボタンで一覧表示画面を表示します。
- ・ 表示される実績は、次のボタンで切り替えます。(各実績で表示ボタンが異なります。)
 - 日間実績: **前日** / **翌日** ボタンで、0:00 から 24 時間分のデータを 1 日として前月同日まで表示します。
 - 月間実績: **前月** / **翌月** ボタンで、1 日~月末のデータを 1 ヶ月として過去 12 ヶ月分表示します。
 - 年間実績: **前年** / **翌年** ボタンで、1 月~12 月のデータを 1 年として過去 16 年分表示します。(現在が 2016 年より前の年の場合、2001 年までの表示となります。)
- ・ **ナビ** ボタンで、ナビモード画面を表示します。

【一覧表示(日間実績/月間実績/年間実績)】

各電力量(発電/消費/売電/買電)の実績を一覧で表示します。

■一覧の種類

日間実績一覧: 当日の24時間分の電力状況を1時間ごとに表示します。

月間実績一覧: 当月の1ヶ月間分の電力状況を1日ごとに表示します。

年間実績一覧: 当年の1年間分の電力状況を1ヶ月ごとに表示します。

■一覧表示画面

画面は、日間実績の表示例です。



①電力量データ

対象期間内の各電力量(発電/消費/売電/買電)を数字で表示します。

下一桁の数字は、誤差が発生することがあります。

②タイムスケール

各実績(日間/月間/年間)に合わせたタイムスケールを表示します。

日間実績の場合は、「時刻」と表示され開始時刻を示します。

例として、「時刻」が「00:00」の時は00:00~01:00のデータであることを示します。

実績	単位
日間実績	1時間単位
月間実績	1日単位
年間実績	1ヶ月単位

③表示期間

各単位(年/月/日)で表示期間を表示します。

■操作方法

・表示される実績は、次のボタンで切り替えます。(各実績で表示ボタンが異なります)

日間実績: 前日 / 翌日 ボタンで、表示する日を切り替えます。

月間実績: 前月 / 翌月 ボタンで、表示する月を切り替えます。

年間実績: 前年 / 翌年 ボタンで、表示する年を切り替えます。

・ 前 / 次 ボタンで発電量データの表示を切り替えます。

・ 戻る ボタンで実績データのグラフ画面を表示します。

・ ナビ ボタンで、ナビモード画面を表示します。

4.表示機能

- ・ **ダウンロード** ボタンで、下記の期間の実績データを CSV ファイルでダウンロードします。

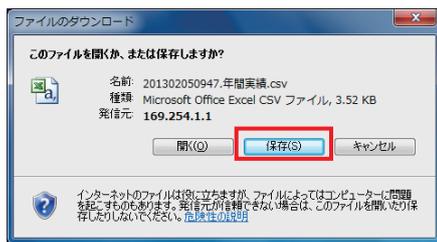
(表示モニタがコンピュータの場合のみ。コンピュータ以外ではボタンは押せません。)

一覧表示している実績	ダウンロードできる実績データ	デフォルトファイル名
日間実績	現在から前月同日までの日間実績データ	YYYYMMDDHHMM.日間実績.csv
月間実績	現在から過去 12 ヶ月分の月間実績データ	YYYYMMDDHHMM.月間実績.csv
年間実績	現在から過去 15 年分の年間実績データ	YYYYMMDDHHMM.年間実績.csv

保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。(YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日、HH: 時、MM: 分)
デフォルトファイル名は変更可能ですが、「.csv(拡張子)」の変更はしないでください。

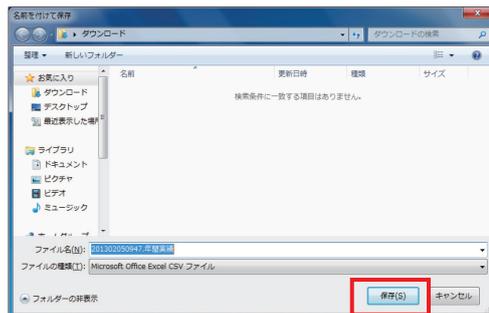
【ダウンロード手順】

- 1) **ダウンロード** ボタンを押すと、「ファイルのダウンロード」の確認ダイアログが表示されますので、
[保存(S)]ボタンを押してください。



IE10/IE9 の場合

- 2) 「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先の場所を指定して、[保存(S)]
ボタンを押してください。(下図はダウンロードフォルダに保存する場合の例です)



ダウンロードした CSV ファイルのフォーマットは下記の内容です。
CSV ファイルに対応した表計算ソフト(Excel など)で開いた例になります。

・【日間実績フォーマット例】

	A	B	C	D	E	F
1	年月日	時刻	発電電力量(Wh)	消費電力量(Wh)	売電電力量(Wh)	買電電力量(Wh)
2	2011/11/1	0:00	0	3078	0	3078
3	2011/11/1	1:00	0	3647	0	3647
4						

・【月間実績フォーマット例】

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	年月日	発電電力量 (Wh)	消費電力量 (時間帯A) (Wh)	消費電力量 (時間帯B) (Wh)	消費電力量 (時間帯C) (Wh)	消費電力量 (時間帯D) (Wh)	売電電力量 (Wh)	買電電力量 (Wh)
2	2011/8/5	0	0	0	0	0	0	0
3	2011/8/6	609	0	0	0	0	609	0
4								

・【年間実績フォーマット例】

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	年月	発電電力量 (Wh)	消費電力量 (時間帯A) (Wh)	消費電力量 (時間帯B) (Wh)	消費電力量 (時間帯C) (Wh)	消費電力量 (時間帯D) (Wh)	売電電力量 (Wh)	買電電力量 (Wh)
2	Aug-11	96833	8815	8787	16954	0	69524	7247
3	Sep-11	153784	154127	234085	324393	0	45502	604323
4								

4.6.情報

電力の状態が見えるから、省エネの目標をたててみよう！

情報画面では、1ヶ月の消費電力目標をたてて目標に対する達成状況を表示できます。
また、時間帯別にどの程度電力を消費したかを表示できます。

【情報一覧】

節電目標達成状況(64 ページ)

1ヶ月ごとの節電目標の達成状況を表示できます。

時間帯別消費電力比率(66 ページ)

1ヶ月ごとの時間帯別の消費電力比率を表示できます。

発電量過去比較(67 ページ)

当年と過去の発電電力量を表示できます。

総積算電力量(68 ページ)

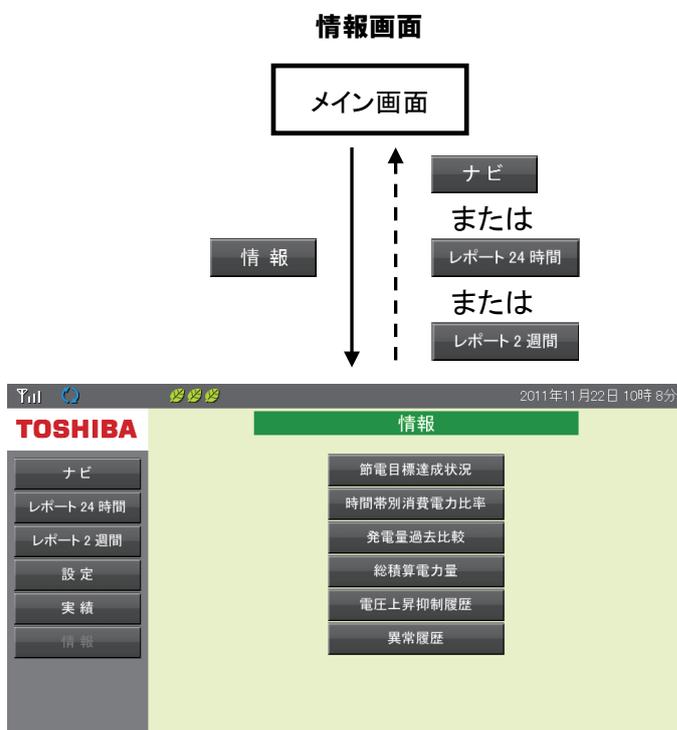
発電開始日から現在までの各電力量の積算値を表示できます。

電圧上昇抑制履歴(70 ページ)

パワーコンディショナの電圧上昇抑制機能の履歴を1日ごとに表示できます。

異常履歴(72 ページ)

過去に発生したシステム異常の履歴を表示できます。



4.7.節電目標達成状況

目標をたてて電気を節約！

節電目標達成度状況では、1ヶ月ごとの消費電力量と節電目標の目標値に対する達成状況をグラフで表示します。

目標値の設定方法については、「5.6.節電目標値設定」(85 ページ)を参照してください。

なお、「日間目標」は“月間目標”を日割りにしたものです。

■節電目標達成状況画面の表示方法

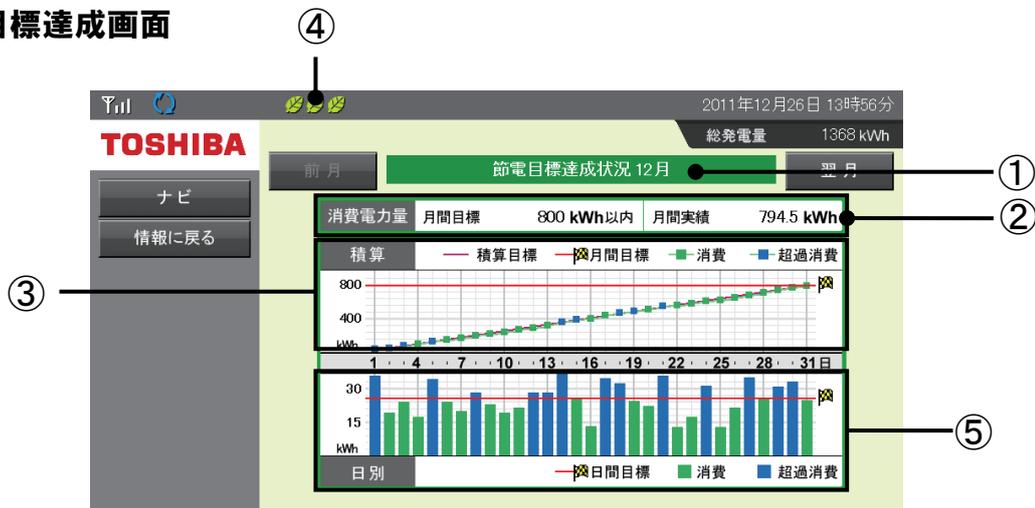


1.メイン画面表示状態で **情報** ボタンを押してください。

2.「情報画面」が表示されますので、

節電目標達成状況 ボタンを押してください。

■節電目標達成画面



① 節電目標達成状況の月

表示している節電目標達成状況の月を示します。
過去 12ヶ月分の節電目標達成状況を表示できます。

② 消費電力量の月間目標と月間実績

「5.6.節電目標値設定」(85 ページ)で設定した月間目標と対象月の総実績を表示します。

③ 月別積算節電目標達成状況グラフ

月別の積算節電目標達成状況を折れ線グラフで表示します。
グラフの上の欄では、月別積算節電目標達成状況グラフのアイコンを表示します。

アイコン	グラフ名称	色	説明
	積算目標	紫	月間目標を日割りにした積算目標グラフです。 目標達成アイコンを表示する際の判定基準になる数値です。
	月間目標	赤	月間の消費電力量の目標値です。
	消費	緑	当月の積算消費電力量が積算目標を下回っている場合、 表示されます。
	超過消費	青	当月の積算消費電力量が積算目標を超えた場合、表示され ます。

④目標達成状況アイコン

月の節電目標達成度を表示します。

アイコンは、当月の積算目標と消費電力量の関係を3段階で表示します。

アイコン	説明
	消費電力が積算目標を大幅に超えている。(目標達成率が90%以下)
	消費電力が積算目標を超えている。(目標達成率が91~100%未満)
	消費電力が積算目標と同じもしくは下回っている。(目標達成率が100%以上)

⑤日別節電目標達成状況グラフ

日別の節電目標達成状況を棒グラフで表示します。

グラフの下の欄では、日別節電目標達成状況グラフのアイコンを表示します。

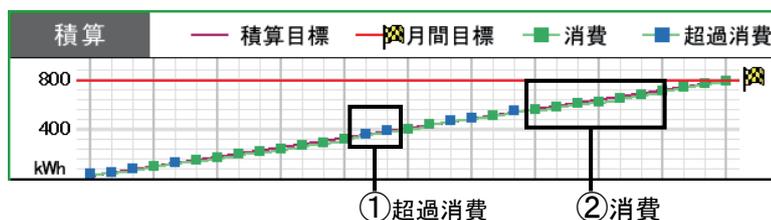
アイコン	グラフ名称	色	説明
	日間目標	赤	月間目標を日割りにした日間目標です。
	消費	緑	当日の消費電力量が日間目標を下回っている場合、表示されます。
	超過消費	青	当日の消費電力量が日間目標を超えた場合、表示されます。

■操作方法

- ・  /  ボタンで節電目標達成状況の対象月を変更します。
- ・  ボタンで、ナビモード画面を表示します。
- ・  ボタンで情報画面へ戻ります。

【節電目標達成状況グラフの見方】

月別積算節電目標達成状況の見方



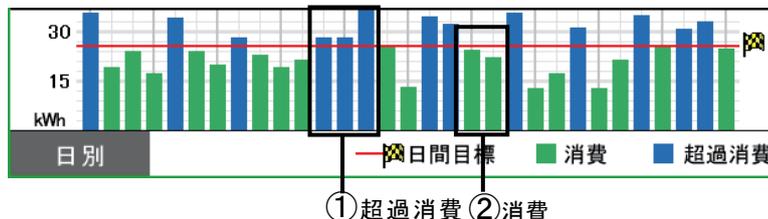
① 過消費電力グラフ

積算目標に対して該当日までの積算消費電力が超えている場合に表示されます。このグラフが表示された場合は、該当日までの節電目標を達成できていません。節電を心がけてください。

②消費電力グラフ

積算目標に対して該当日までの積算消費電力が下回った場合に表示されます。このグラフが表示された場合は、節電目標を達成しています。

日別積算節電目標達成状況の見方



①超過消費電力グラフ

日間の節電目標に対して該当日の消費電力が超えている場合に表示されます。このグラフが表示された場合は、該当日の節電目標を達成できていません。節電を心がけてください。

②消費電力グラフ

日間の節電目標に対して該当日の消費電力が下回っている場合に表示されます。このグラフが表示された場合は、該当日の節電目標を達成しています。

4.8.時間帯別消費電力比率

どの時間帯にどのくらい電気を使った？

時間帯別消費電力比率では、1ヶ月ごとの時間帯別の消費電力量比率を表示します。ご契約の電気料金プランに合わせた時間帯を設定することで、電気の使い方やご契約内容の見直しに活用できます。

時間帯設定の方法については、「5.8.電気料金時間帯設定」(88 ページ)を参照してください。

■時間帯別消費電力比率画面の表示方法

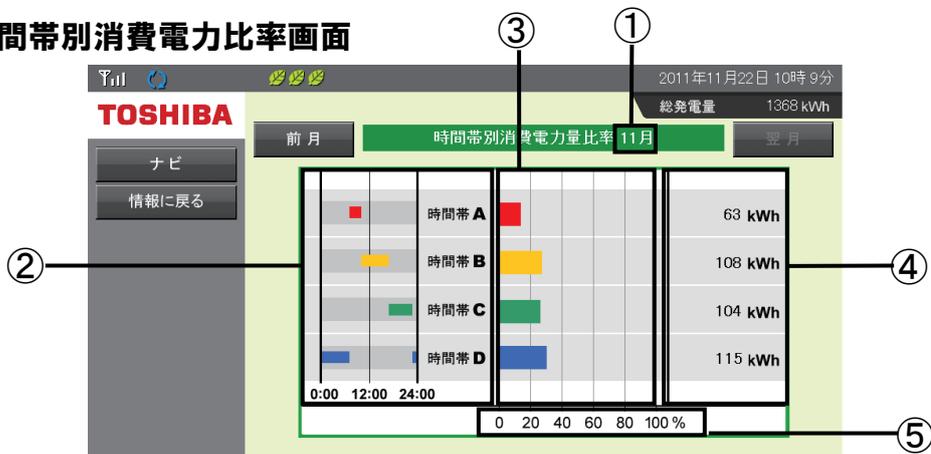


1.メイン画面表示状態で **情報** ボタンを押してください。

2.「情報画面」が表示されますので、

時間帯別消費電力比率 ボタンを押してください。

■時間帯別消費電力比率画面



① 時間帯別消費電力量比率の月

表示している時間帯別消費電力比率の月を示します。過去 12 ヶ月分の時間帯別消費電力量を表示できます。

② 時間帯

「5.8.電気料金時間帯別設定」(88 ページ)で設定した時間帯を表示します。時間帯別のアイコン色は次の通りです。

時間帯	A	B	C	D
色	赤	黄	緑	青

③ グラフ

設定された時間帯ごとの消費電力量を比率グラフで表示します。アイコン色は、②の時間帯と同じです。

④ 消費電力量

表示している月の積算消費電力量を示します。

⑤ 消費電力比率

消費電力比率の目盛です。

■操作方法

- ・ **前月** / **翌月** ボタンで時間帯別消費電力量比率の対象月を変更します。
- ・ **ナビ** ボタンで、ナビモード画面を表示します。
- ・ **情報に戻る** ボタンで情報画面へ戻ります。

4.9.発電量過去比較

今年は天気の良い日が多い？発電量を去年と比べて見てみたい。

発電量過去比較では、当年と過去の総発電電力量の実績を数値とグラフで表示します。

■発電量過去比較画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **情報** ボタンを押してください。
- 2.「情報画面」が表示されますので、
発電量過去比較 ボタンを押してください。

■発電量過去比較画面



①当年発電実績

当年の総発電電力量の実績を表示します。

②過去発電実績

過去の総発電電力量の実績を表示します。

③発電量比較グラフ

当年と過去の総発電電力量の実績を折れ線グラフで表示します。
アイコンの色は、次の通りです。

項目	アイコン	色
当年発電実績		黄
過去発電実績		青

④グラフエリア

グラフエリアの目盛を表示します。

電力量にあわせて年間グラフのグラフスケールを設定してください。

設定方法については、「5.5.電力グラフスケール設定」(83 ページ)を参照してください。

■操作方法

- ・ **前年** / **翌年** ボタンで「②過去発電実績」の対象年を変更します。
- ・ **情報に戻る** ボタンで情報画面へ戻ります。
- ・ **ナビ** ボタンで、ナビモード画面を表示します。



One Point

- ・ 「②過去発電実績」は、過去 16 年分の実績とグラフを表示できます。(表示は 2000 年以降です)
- ・ 実績がない期間は 0[kWh]として表示します。

4.10.総積算電力量

太陽光発電を始めて、どれだけ発電できたか確認したい。

発電開始日から当日までの総積算電力量を表示します。

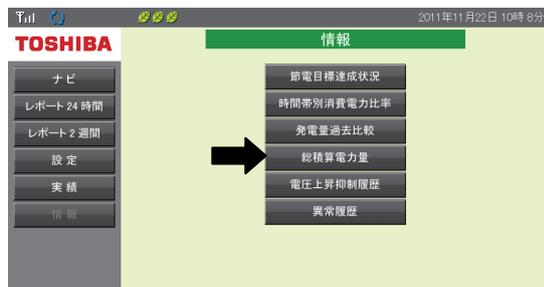
また、総積算電力量を相当する CO₂ や石油に換算して表示します。

重要

以下の場合、パワーコンディショナと本製品で表示される積算電力量の値が異なる場合があります。

- ① 複数のパワーコンディショナを本製品と接続した場合
本製品では複数のパワーコンディショナ積算電力量を合算しますので、パワーコンディショナ 1 台ごとの積算電力量とは異なります。
- ② 接続しているパワーコンディショナを交換した場合
本製品にはパワーコンディショナ交換前の積算電力量が保存されていますが、交換後のパワーコンディショナでデータのリストアを実施しなかった場合は過去の積算電力量が存在しませんので、値が異なります。

■総積算電力量画面の表示方法



1.メイン画面表示状態で **情報** ボタンを押してください。

2.「情報画面」が表示されますので、

総積算電力量 ボタンを押してください。

■総積算電力量画面



①積算期間

発電開始日から当日までの日付を表示します。

②各積算電力量、各電力量の換算値

発電開始日から当日までの各電力量、CO₂ 換算値、石油換算値の累積を表示します。

換算値は、「5.7.単位換算値設定」(87 ページ)で設定した値をもとに単位換算します。

単位換算値の設定方法については、「5.7.単位換算値設定」(87 ページ)を参照してください。

■操作方法

- ・ **情報に戻る** ボタンで情報画面へ戻ります。
- ・ **ナビ** ボタンでナビモード画面へ移動します。

「総積算電力量画面」

TOSHIBA		総積算電力量
稼算期間 2011/9/2~2011/11/22		
総発電電力量	1368 kWh	
総消費電力量	1095 kWh	
総売電電力量	681 kWh	
総買電電力量	408 kWh	

「CO₂換算値画面」

TOSHIBA		総積算電力量 CO ₂ 換算値
稼算期間 2011/9/2~2011/11/22		
総発電電力量	430236.0 g-CO ₂	
総消費電力量	344377.5 g-CO ₂	
総売電電力量	214174.5 g-CO ₂	
総買電電力量	128316.0 g-CO ₂	



「石油換算値画面」

TOSHIBA		総積算電力量 石油換算値
稼算期間 2011/9/2~2011/11/22		
総発電電力量	310536 L	
総消費電力量	248565 L	
総売電電力量	154587 L	
総買電電力量	92616 L	

4.11.電圧上昇抑制履歴

日が照っていても発電できないことがよくある？そんなときはここを確認。

電圧上昇抑制履歴では、パワーコンディショナの電圧上昇抑制機能の履歴を1日ごとに表示します。表示の順番は、日付順で降順(最近発生したものが上に表示される)です。

電圧上昇抑制機能の詳しい内容は、「5.9.抑制表示設定」(89 ページ)を参照してください。

■電圧上昇抑制履歴画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **情報** ボタンを押してください。
- 2.「情報画面」が表示されますので、
電圧上昇抑制履歴 ボタンを押してください。

■電圧上昇抑制履歴画面

日付	発電電力量	運転時間	抑制時間
2011/11/21	18kWh	481分	0分
2011/11/20	16kWh	367分	0分
2011/11/19	21kWh	516分	0分
2011/11/18	8kWh	274分	0分
2011/11/17	14kWh	412分	0分
2011/11/16	13kWh	374分	0分
2011/11/15	28kWh	589分	0分

①日付

電圧上昇抑制履歴を保存した日付を表示します。(抑制機能が働かなくても履歴は毎日保存されます。) 過去1ヶ月分のデータを表示します。

②発電電力量

当日にパワーコンディショナが発電した電力量を表示します。

③運転時間

当日にパワーコンディショナが発電した時間を表示します。

④抑制時間

当日に電圧上昇抑制機能が働いていた時間を表示します。

■操作方法

- ・ **前** / **次** ボタンで表示画面を切り替えます。
- ・ **情報に戻る** ボタンで情報画面を表示します。
- ・ **ナビ** ボタンでナビモード画面へ移動します。
- ・ **ダウンロード** ボタンで本製品に保存されている電圧上昇抑制履歴の1日ごとのデータを、過去185日分CSVファイルでダウンロードします。(表示モニタがコンピュータの場合のみ。コンピュータ以外ではボタンは押せません。)

デフォルトファイル名	YYYYMMDDHHMM.電圧上昇履歴.csv
------------	-------------------------

保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、HH:時、MM:分)

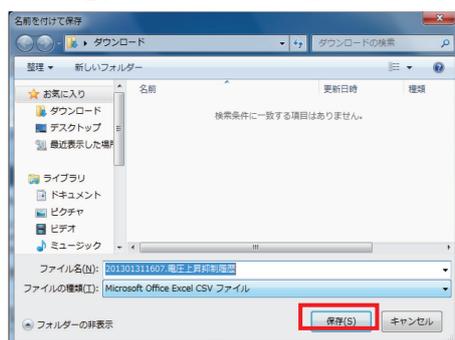
【ダウンロード手順】

- 1) **ダウンロード** ボタンを押すと、「ファイルのダウンロード」の確認ダイアログが表示されますので、
[保存(S)]ボタンを押してください。



IE10/IE9 の場合

- 2) 「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先の場所を指定して、[保存(S)]
ボタンを押してください(下図はダウンロードフォルダに保存する場合の例です)。



ダウンロードした CSV ファイルのフォーマットは下記の内容です。
CSV ファイルに対応した表計算ソフト(Excel など)で開いた例になります。

【電圧上昇履歴フォーマット例】

	A	B	C	D	E	F	G
	年月日	発電電力 量(Wh)	運転時間 (秒)	抑制時間 (秒)	最終抑制 発生時の 整定値(V)	最終抑制 発生時の 系統電圧 (V)	最終抑制 発生時刻
1							
2	2011/1/1	8188	37486	0	0	0	0:00
3	2011/1/2	7891	37354	0	0	0	0:00
4							

- ・最終抑制発生時の整定値(V)
電圧上昇抑制機能を動作させる系統電圧のしきい値が記録されます
この値を超える系統電圧が発生した場合に電圧上昇抑制機能が動作します。
- ・最終抑制発生時の系統電圧(V)
当日最終の電圧上昇抑制機能が働いた時の系統電圧値が記録されます
- ・最終抑制発生時刻
当日最終の電圧上昇抑制機能が働いた時の時刻が記録されます。
- ・ **クリア** ボタンで電圧上昇抑制履歴を消去します。消去実行前に、実行確認画面が表示されます
ので内容を確認し **決定** ボタンを押してください。



One Point

- ・電圧上昇抑制機能は、システムを安全に運用するための機能です。
発生頻度が低い場合や短期間の場合は、システムの異常ではありません。
発生頻度が高い場合や長期間復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
- ・電圧上昇抑制機能が働かなかった場合も、抑制表示履歴は保存されます。
その際の抑制時間は、「0分」と表示されます

4.12.異常履歴

システムの障害情報を蓄積。トラブルの早期解決に役立ちます。

異常履歴では、過去に発生したシステム異常の履歴を表示します。履歴は、最大 50 回分を表示します。本機能は本製品が検出した異常履歴を表示します。

そのため、パワーコンディショナ本体の異常履歴と一致しないことがあります。

表示の順番は、発生順で降順(最近発生したものが上に表示される)です。

エラーコードの示すエラー内容については「7.おかしいと思ったら(トラブルシューティング)」(103 ページ)を参照してください。

重要

異常履歴のクリアを実行すると、すべての異常履歴が消去されます。

消去した履歴は戻すことができませんので注意してください。

エラーが継続中のものは消去することができません。

■異常履歴画面の表示方法

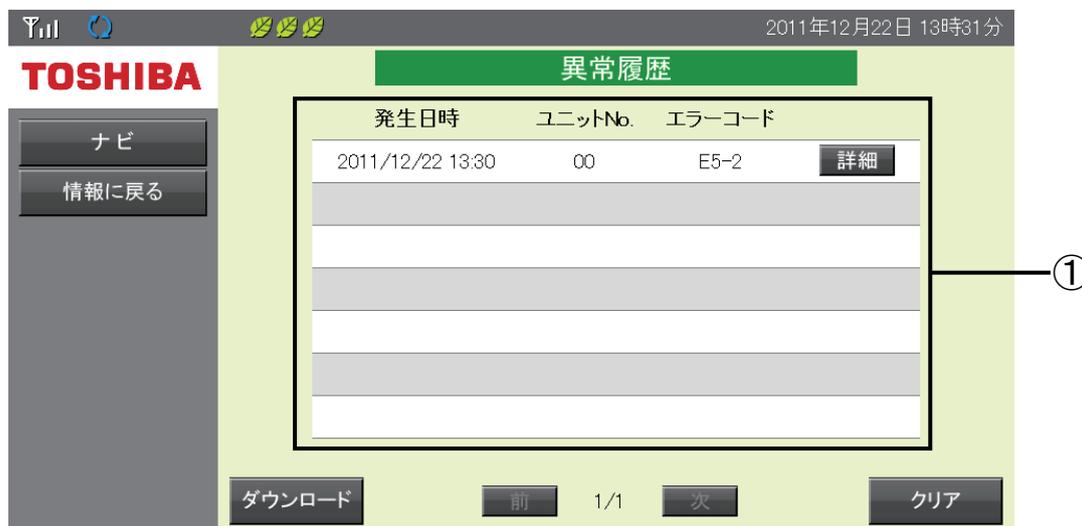


1.メイン画面表示状態で **情報** ボタンを押してください。

2.「情報画面」が表示されますので、

異常履歴 ボタンを押してください。

■異常履歴画面



①異常履歴

過去に発生したシステム異常の情報(発生日時、ユニット No.、エラーコード)を表示します。

■操作方法

- ・ **詳細** ボタンでエラーの内容を表示します。
- ・ **前** / **次** ボタンで異常履歴の表示を切り替えます。
- ・ **情報に戻る** ボタンで情報画面を表示します。

- ・ **ナビ** ボタンでナビモード画面へ移動します。
- ・ **ダウンロード** ボタンで本製品に保存されている異常履歴のデータを、最大 50 件分 CSV ファイルでダウンロードします。(表示モニタがコンピュータの場合のみ。コンピュータ以外ではボタンは押せません。)

デフォルトファイル名	YYYYMMDDHHMM.異常履歴.csv
------------	-----------------------

保存するタイミングによりファイル名称が付与されます。(YYYY:西暦、MM:月、DD:日、HH:時、MM:分)

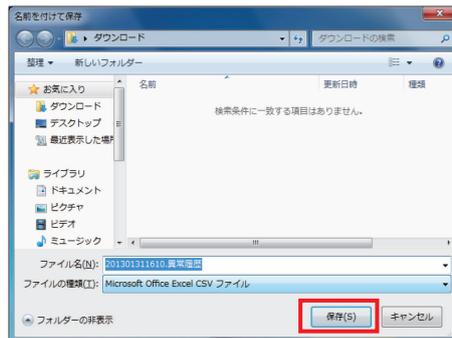
【ダウンロード手順】

- 1) **ダウンロード** ボタンを押すと、「ファイルのダウンロード」の確認ダイアログが表示されますので、**[保存(S)]**ボタンを押してください。



IE10/IE9 の場合

- 2) 「名前をつけて保存」ダイアログが表示されますので、保存先の場所を指定して、**[保存(S)]**ボタンを押してください(下図はデスクトップに保存する場合の例です)。



ダウンロードした CSV ファイルのフォーマットは下記の内容です。
CSV ファイルに対応した表計算ソフト(Excel など)で開いた例になります。

【異常履歴フォーマット例】

	A	B	C	D
1	ユニット No.	エラーコード	年月日	時刻
2	0	E5-2	2011/12/22	13:30:00
3				

- ・ **クリア** ボタンで異常履歴を消去します。(エラー継続中の異常履歴は消去することができません。) 消去実行前に、実行確認画面が表示されますので内容を確認し **決定** ボタンを押してください。



One Point

- ・エラーが発生している場合、エラー継続中の異常履歴は赤字で表示されます。

4.13.イベント画面

発電開始 1 周年、2 周年…。我が家のソーラー記念日を表示します。

エネルギーについて考える、ちょっとしたきっかけに。

イベント画面では、条件を満たしたときに「発電開始記念日」と「発電量達成記念」の画面を表示します。イベント画面の表示の有無は、「5.4.イベント設定」(82 ページ)で設定できます。

重要

発電開始記念日は、発電を開始した日付の 00:00 に表示されます。

■発電開始記念日

発電記念日画面は、システムを設置した日(施工完了しシステムが動作した時点の日時)を「発電開始日」として、毎年発電開始日に表示されます。



■操作方法

- ・ ナビ ボタンでナビモード画面を表示します。

■発電量達成記念

発電量達成画面は、総発電電力量が設定値に達したときに表示されます。設定値は、「5.4.イベント設定」(82 ページ)で設定できます。



■操作方法

- ・ ナビ ボタンでナビモード画面を表示します。



One Point

- ・ 発電開始日は、「総積算電力量」画面で確認することができます。総積算電力量の表示方法は、「4.10.総積算電力量」(68 ページ)を参照してください。
- ・ 発電開始日が、閏年の2/29であった場合、以降閏年以外の年は、翌日の3/1を記念日として扱います。
- ・ イベント画面は1度しか表示されず、ナビモード画面を表示すると、イベント画面の表示を終了します。

5.各種機能設定

表示モニタから、お客様の目的にあわせて各種機能の設定が変更できます。

この章では、「各種機能の説明」、および各種機能設定画面についてそれぞれ説明します。

5.1.各種機能の説明

この項では、設定できる各種機能について説明します。

【各種機能一覧】

日付/時刻設定 (76 ページ)

日付と時刻の設定ができます。

メイン画面設定 (80 ページ)

表示タイプと昼夜画像切替を設定できます。

イベント設定 (82 ページ)

発電開始記念日、発電量達成記念の有無を設定できます。

電力グラフスケール設定 (83 ページ)

各種グラフ表示のスケール(表示の最大値)を設定できます。

節電目標値設定 (85 ページ)

毎月の目標消費電力量を設定できます。

単位換算値設定 (87 ページ)

電力量 [kWh] を CO₂ や石油に換算する値を設定できます。

電気料金時間帯設定 (88 ページ)

「4.8.時間帯別消費電力比率」(66 ページ)で表示する時間帯を設定できます。

抑制表示設定 (89 ページ)

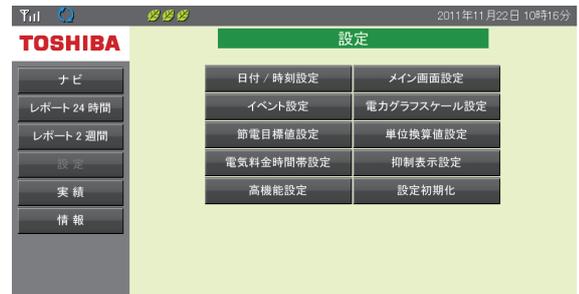
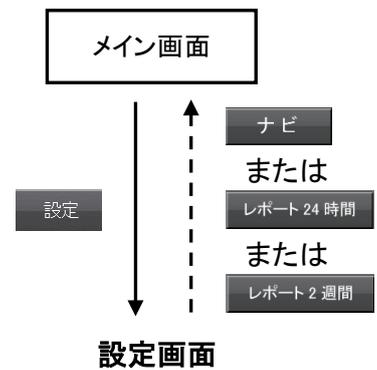
「電圧上昇抑制」および「温度上昇抑制」のアイコン表示の有無を設定できます。

高機能設定(92 ページ)

無線 LAN の設定、システム情報の確認、ソフトウェアの更新を設定できます。

設定初期化(91 ページ)

設定メニューで設定したデータを全て初期値に戻します。



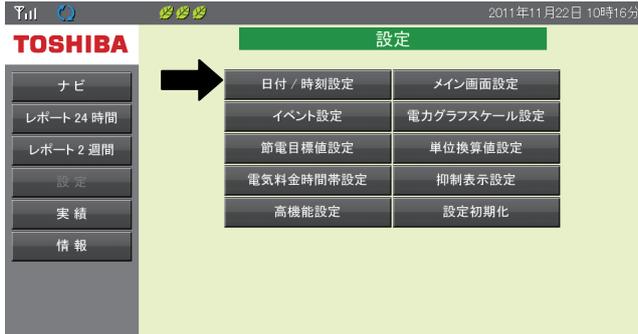
5.2.日付/時刻設定

ここでは、日付/時刻の設定を説明します。

重要

実績データに影響を及ぼす可能性がありますので、日付/時刻は正しく設定してください。
 日付/時刻の設定を1ヵ月以上変更した場合、実績データが失われることがあります。
 1ヵ月以内であっても実績データが移動することがあります。

■日付/時刻設定画面の表示方法



1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。

2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**日付/時刻設定** ボタンを押してください。

■日付/時刻設定画面



①日付/時刻設定

各欄で、「西暦」/「月」/「日」/「時」/「分」を設定できます。

日付/時刻	西暦	月	日	時	分
設定範囲	2010～2037	01～12	01～31	00～23	00～59

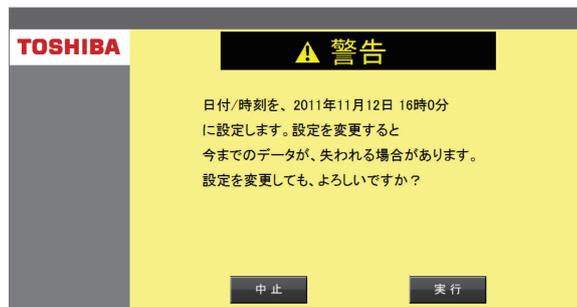
■操作方法

- ・ドロップダウンリストボックス(**11**)で数字を変更します。
- ・ **決定** ボタンで実行確認の警告画面を表示します。
- ・ **戻る** ボタンで「設定画面」を表示します。

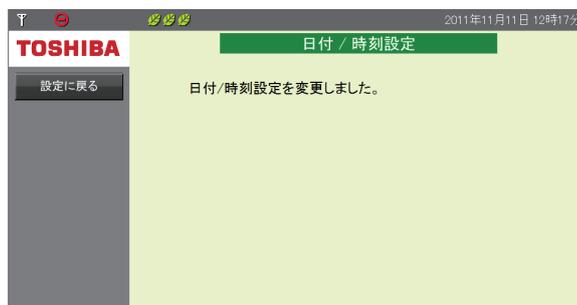


One Point

- ・時計の秒は、時計の変更を実施した時点で「00 秒」から始まります。



- ・ **実行** ボタンで変更した設定を保存します
実行する前に、次ページ以降の「■日付/日時を進めた場合、■日付時刻を戻した場合」をご確認の上、実行してください。
- ・ **中止** ボタンで設定初期化を中止し、設定画面を表示します。



- ・ **設定に戻る** ボタンで設定画面を表示します。

■日付/時刻変更による実績データへの影響

各電力量(発電/消費/売電/買電)の実績データは、各時間の00分に保存されています。
 このため、日付/時刻を変更すると実績データに影響を与えることがあります。
 設定変更の際は、画面の表示を必ず確認し、間違いのないように設定を行ってください。

日付/時刻の変更例

ここでは、時刻の変更による実績データの影響をデータとグラフの例を用いて説明します。

■日付/時刻を進めた場合

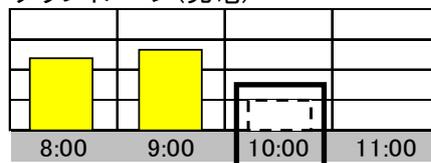
2011/7/3 10:20 → 2011/7/3 12:20 へ時刻を変更した場合、次のような影響があります。

[変更前]

日時: 2011/7/3 10:20
 データイメージ

日付	2011/7/3			
時刻	発電	消費	買電	売電
8:00	6.8	8.0	1.2	0.0
9:00	7.2	9.3	3.2	1.1
10:00	2.5	6.7	4.3	0.1

グラフィメージ(発電)



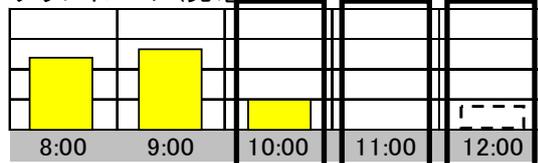
①10:00~10:20 までの実績データが 10:00 の実績データとして記録されます。

[変更後]

日時: 2011/7/3 12:20
 データイメージ

日付	2011/7/3			
時刻	発電	消費	買電	売電
8:00	6.8	8.0	1.2	0.0
9:00	7.2	9.3	3.2	1.1
10:00	2.5	6.7	4.3	0.1
11:00	0.0	0.0	0.0	0.0
12:00				

グラフィメージ(発電)



②11:00 の実績は実績データがないためすべて「0.0kWh」として記録されます。

③12:00 のデータ取得は 12:20 から開始し、実績は 12:20~13:00 までのデータが記録されます。



One Point

・日付/時刻を変更した場合、実績データの更新に時間がかかります。

■日付/時刻を戻した場合

2011/7/3 12:20 ⇒ 2011/7/3 10:20 へ日付/時刻を変更した場合、次のような影響があります。

2011/7/3 10:20 へ日付/時刻を変更した時点の影響

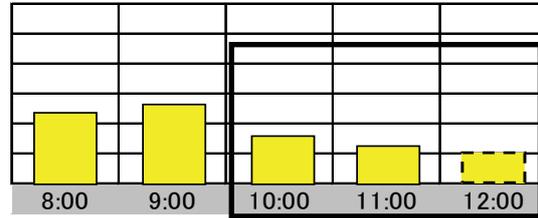
[変更前]

日時: 2011/7/3 12:20

データイメージ

日付	2011/7/3			
時刻	発電	消費	買電	売電
8:00	6.8	8.0	1.2	0.0
9:00	7.2	9.3	3.2	1.1
10:00	3.4	7.3	3.9	0.0
11:00	2.7	9.3	6.6	0.0
12:00	2.5	6.7	4.3	0.1

グラフィメージ(発電)



①10:20～12:20 までの実績データは、10:00 の実績データとして集約され記録されます。

計算式

$$\text{発電: } 8.6 = (3.4 + 2.7 + 2.5)$$

$$\text{消費: } 23.3 = (7.3 + 9.3 + 6.7)$$

$$\text{買電: } 14.8 = (3.9 + 6.6 + 4.3)$$

$$\text{売電: } 0.1 = (0.0 + 0.0 + 0.1)$$

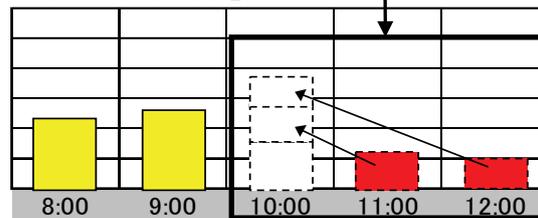
[変更後]

日時: 2011/7/3 10:20

データイメージ

日付	2011/7/3			
時刻	発電	消費	買電	売電
8:00	6.8	8.0	1.2	0.0
9:00	7.2	9.3	3.2	1.1
10:00				
11:00				
12:00				

グラフィメージ(発電)



②11:00と12:00の実績データは、10:00の実績データに集約されるため数値は表示されません。

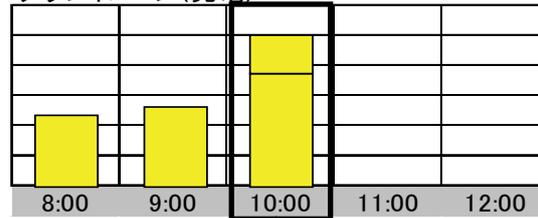
日付/時刻を変更した後、11:00になった時の影響

日時: 2011/7/3 11:00

データイメージ

日付	2011/7/3			
時刻	発電	消費	買電	売電
8:00	6.8	8.0	1.2	0.0
9:00	7.2	9.3	3.2	1.1
10:00	13.4	27.3	14.8	0.9
11:00				
12:00				

グラフィメージ(発電)



③変更後の10:00の実績データは、①で集約した値と10:20～11:00までの実績データが記録されます。

計算式

$$\text{発電: } 13.4 = (3.4 + 2.7 + 2.5) + 4.8$$

$$\text{消費: } 27.3 = (7.3 + 9.3 + 6.7) + 4.0$$

$$\text{買電: } 14.8 = (3.9 + 6.6 + 4.3) + 0.0$$

$$\text{売電: } 0.9 = (0.0 + 0.0 + 0.1) + 0.8$$

← 10:20～11:00 までの実績データ



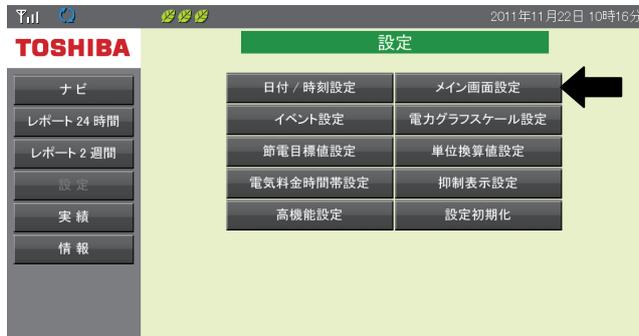
One Point

・日付/時刻を変更した場合、実績データの更新に時間がかかります。

5.3.メイン画面設定

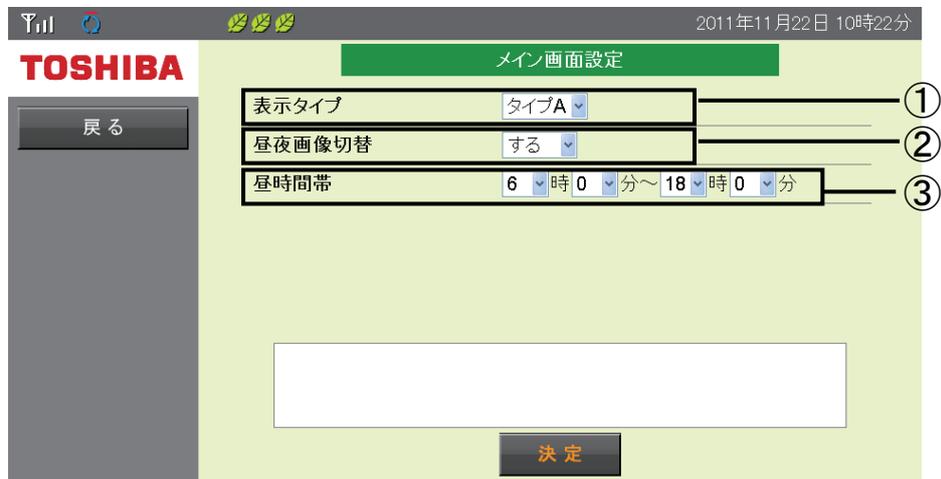
メイン画面設定では、表示タイプと昼夜画像切替を設定できます。

■メイン画面設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**メイン画面設定** ボタンを押してください。

■メイン画面設定画面



①表示タイプ

メイン画面のナビモード表示画面タイプを設定できます。

設定範囲	タイプ A/タイプ B/タイプ C
初期値	タイプ A

②昼夜画像切替

昼時間帯とそれ以外の時間帯での表示画像の切替有無を設定します。

設定範囲	する/しない
初期値	する

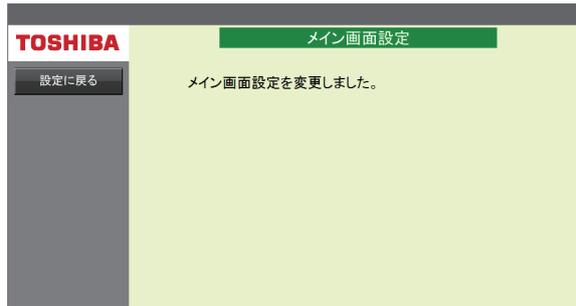
③昼時間帯

昼夜画像切替を行う場合の昼時間帯を設定します。

設定範囲	0時0分~23時59分
初期値	6時0分~18時0分

■操作方法

- 決定 ボタンで変更した設定を保存します。



設定に戻る ボタンで設定画面を表示します。

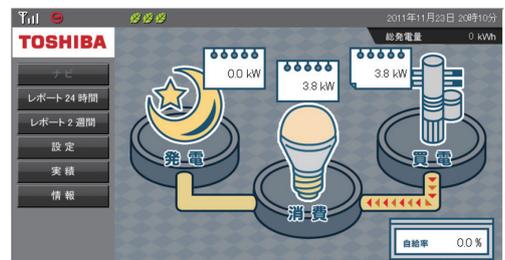
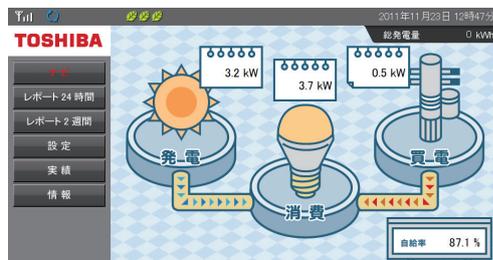
- 戻る ボタンで設定画面を表示します。

各表示タイプの説明

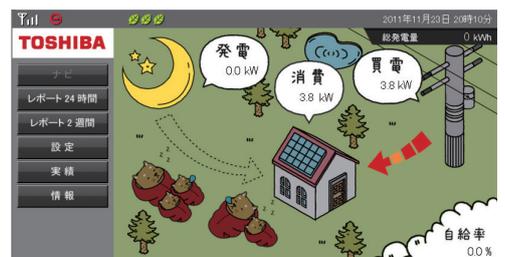
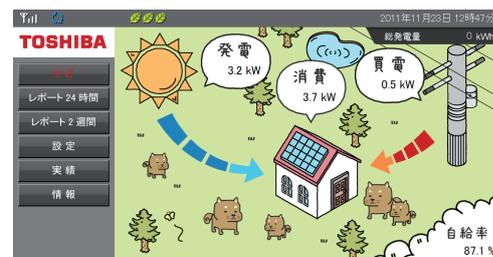
タイプ A: スタイリッシュで視認性に優れ、
発電・消費・電力の売買状況が素早く確認できるデザイン。



タイプ B: シンプルなアニメーションにより
発電・消費・売買電力の数値、電気の流れを確認しやすいデザイン。



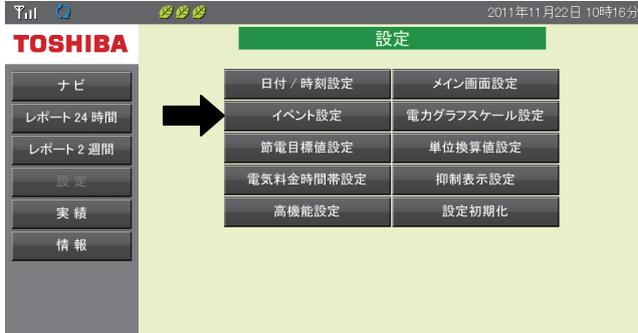
タイプ C: 売電すると犬がシッポを振り、夜になると
仲良く就寝する、かわいいアニメーションで節電を楽しくするデザイン。



5.4.イベント設定

イベント設定では、発電開始記念日、発電量達成記念の表示の有無を設定できます。

■イベント設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**イベント設定** ボタンを押してください。

■イベント設定画面



①発電開始記念日

発電開始記念日イベント表示の有無を設定できます。

設定範囲	表示する／表示しない
初期値	表示する

「表示する」: 毎年発電を開始した日に、イベント画面を表示します。

「表示しない」: イベント画面を表示しません。

②発電量達成記念

発電量達成記念イベント表示の有無および発電量の達成目標値を設定できます。

設定範囲	10000 kWh おき／20000 kWh おき／30000 kWh おき／40000 kWh おき／50000 kWh おき ／表示しない
初期値	10000kWh おき

「10000」～「50000」設定時[kWh]: 総発電電力量が、設定値を達成するたびにイベント画面を表示します。

例 10000 [kWh]の場合 ⇒ 10000、20000、30000・・・と10000 [kWh] ごとに表示します。

「表示しない」: イベント画面を表示しません。

■操作方法

- ・ **決定** ボタンで変更した設定を保存します。
- ・ **戻る** ボタンで設定画面を表示します。

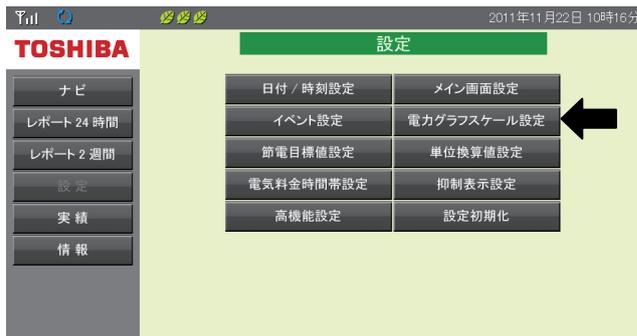
5.5.電力グラフスケール設定

各種グラフ表示のスケールを設定します。(グラフスケールの設定は、全実績データに適用されます。)過去の実績データとして表示できる「日間実績」、「月間実績」、「年間実績」のグラフに適用されるほか、その他のグラフ表示においても表示単位の同じものには本設定が適用されます。

重要

グラフスケールとは、電力グラフの電力量(縦軸)の表示範囲を決めるものです。グラフが振り切れたり小さすぎる場合は、電力量にあわせて電力グラフスケールを変更してください。

■電力グラフスケール設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**電力グラフスケール設定** ボタンを押してください。

■電力グラフスケール設定画面



①日間グラフ(1時間単位)

日間グラフの表示範囲を 2 [kWh] 刻みで設定できます。

設定範囲	2 [kWh] ~ 50 [kWh] (2 [kWh] 刻み)
初期値	10 [kWh]

②月間グラフ(1日単位)

月間グラフの表示範囲を 10 [kWh] 刻みで設定できます。

設定範囲	10 [kWh] ~ 1000 [kWh] (10 [kWh] 刻み)
初期値	30 [kWh]

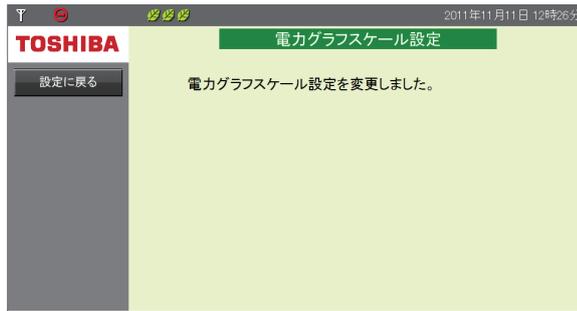
③年間グラフ(1月単位)

年間グラフの表示範囲を 100 [kWh] 刻みで設定できます。

設定範囲	100 [kWh] ~ 9000 [kWh] (100 [kWh] 刻み)
初期値	800 [kWh]

■操作方法

- ・ **決定** ボタンで変更した設定を保存します。



- ・ **設定に戻る** ボタンで設定画面を表示します。

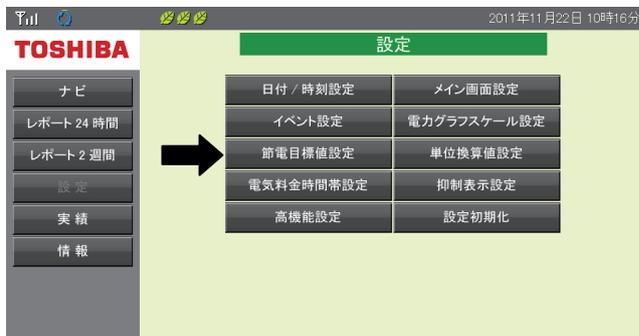
- ・ **戻る** ボタンで設定画面を表示します。

5.6.節電目標値設定

節電目標値設定では、毎月の目標消費電力量を設定できます。

ここでの設定値は、「4.7.節電目標達成状況」(64 ページ)にて消費電力量と節電目標の達成状況を判断するための目標値です。

■節電目標値設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**節電目標値設定** ボタンを押してください。

■節電目標値設定画面



①目標値選択

節電目標値を設定できます。

設定範囲	数値指定／前月実績／前年同月実績
初期値	数値指定

「数値指定」: 目標消費電力量で設定した数値を目標値に設定します。

「前月実績」: 先月の消費電力量実績を目標値に設定します。

「前年同月実績」: 去年の同じ月の消費電力量実績を目標値に設定します。

②目標消費電力量

目標消費電力を設定できます。

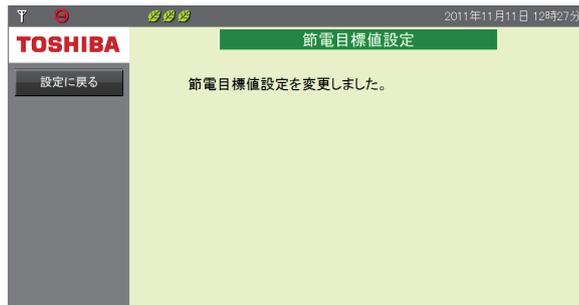
設定範囲	0～9999 [kWh/月]
初期値	800 [kWh/月]

目標値選択で「数値指定」を選択したときのみ設定値が有効になります。

5.各種機能設定

■操作方法

- ・ **決定** ボタンで変更した設定を保存します。



設定に戻る ボタンで設定画面を表示します。

- ・ **戻る** ボタンで設定画面を表示します。



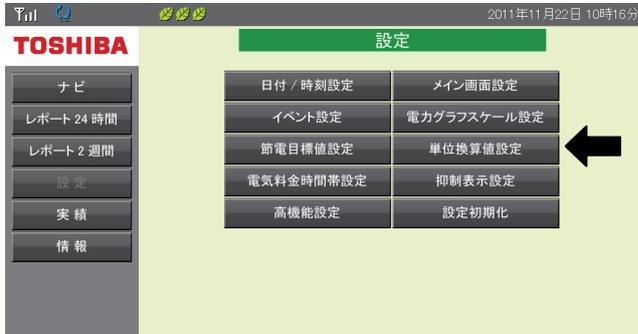
One Point

- ・ 「前月実績／前年同月実績」を選択した場合に、対象の実績データがない時は、目標消費電力量で設定した数値が目標値に設定されます。

5.7.単位換算値設定

単位換算値設定では、電力量 [kWh] を CO₂ [g-CO₂]や石油[L]に換算する際の換算値を設定します。ここでの設定値は、「4.10.総積算電力量」(68 ページ)で表示する数値の基準となる設定値です。

■単位換算値設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**単位換算値設定** ボタンを押してください。

■単位換算値設定画面



①CO₂ 換算

CO₂ 換算表示の換算レートを設定できます。

設定範囲	0~999.9 [g - CO ₂ /kWh]
初期値 (* 1)	314.5 [g - CO ₂ /kWh]

②石油換算

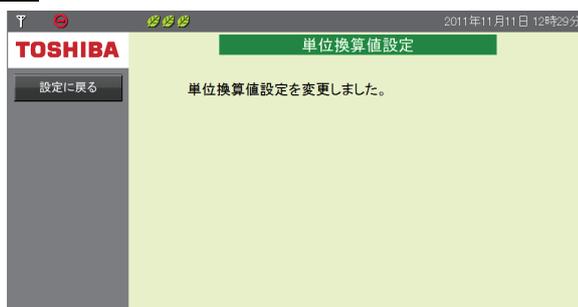
石油換算表示の換算レートを設定できます。

設定範囲	0~9.999 [L/kWh]
初期値 (* 1)	0.227 [L/kWh]

* 1.設定初期値は、「JPEA 平成 18 年度版表示に関する業界自主ルール」にて定められた値になっています。

■操作方法

- ・ **決定** ボタンで変更した設定を保存します。



- ・ **設定に戻る** ボタンで設定画面を表示します。
- ・ **戻る** ボタンで設定画面を表示します。

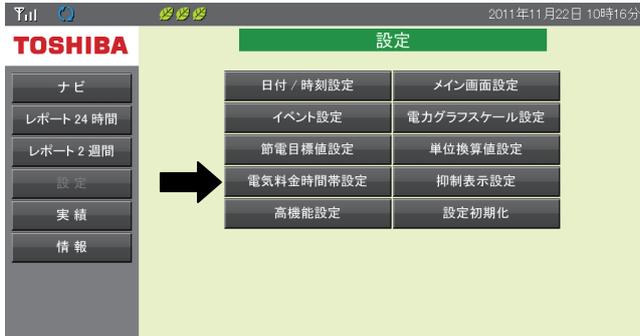
5.8.電気料金時間帯設定

「4.8.時間帯別消費電力比率」(66 ページ)で表示する時間帯を設定できます。
1 日を最大 4 つの時間帯 A~D に分けることができます。

重要

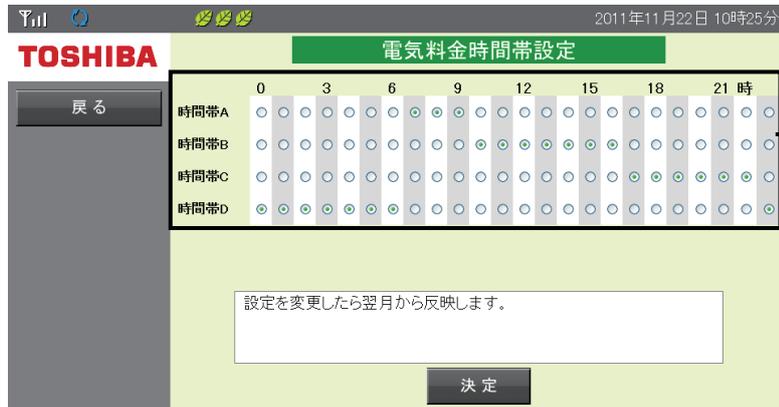
設定を変更した場合は、翌月 1 日の 0 時 00 分に設定が反映されます。

■電気料金時間帯設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**電気料金時間帯設定** ボタンを押してください。

■電気料金時間帯設定画面



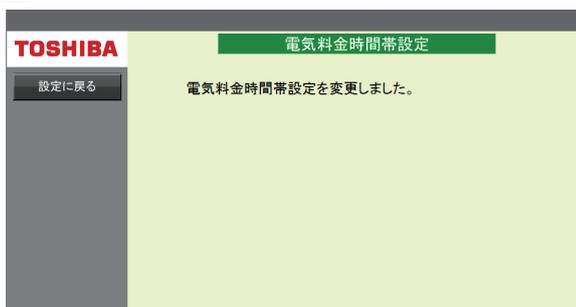
①時間帯

「4.8.時間帯別消費電力比率」(66 ページ)で表示する時間帯の設定ができます。

設定範囲		0~23 時(1 時間単位)
初期値	時間帯 A	07:00~10:00
	時間帯 B	10:00~17:00
	時間帯 C	17:00~23:00
	時間帯 D	00:00~07:00、23:00~00:00

■操作方法

- ・ **決定** ボタンで変更した設定を保存します。



- ・ **設定に戻る** ボタンで設定画面を表示します。

- ・ **戻る** ボタンで設定画面を表示します。

5.9.抑制表示設定

抑制表示設定では、パワーコンディショナが「電圧上昇抑制状態」および「温度上昇抑制状態」のアイコン表示の有無を設定します。

重要

電圧上昇抑制機能とは

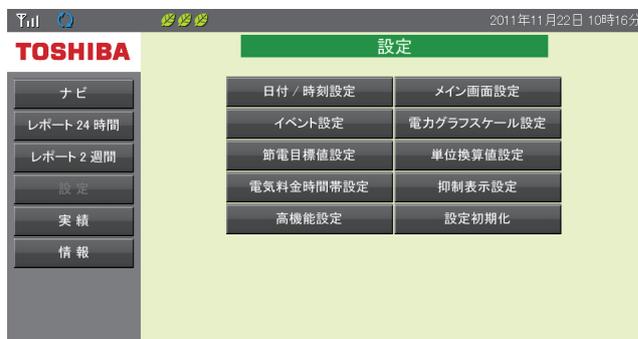
パワーコンディショナ運転中に商用系統の電圧が高くなった場合にパワーコンディショナの出力を抑える機能です。

温度上昇抑制機能とは

パワーコンディショナ運転中に内部の温度が高くなった場合にパワーコンディショナの出力を抑える機能です。

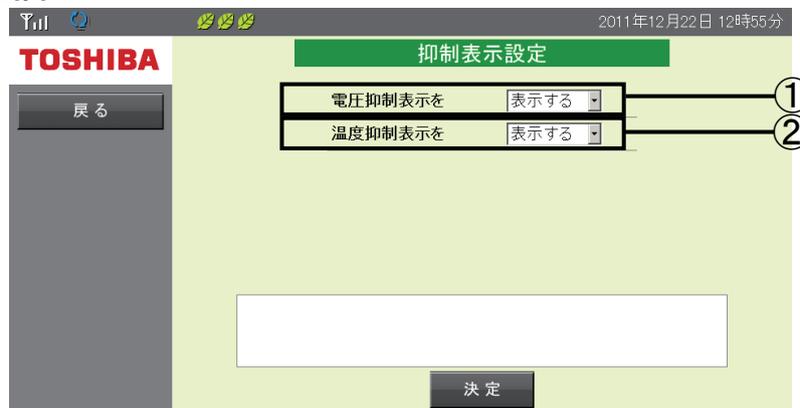
抑制機能はパワーコンディショナが保有する機能であり本製品の機能ではありません。

抑制表示設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**抑制表示設定** ボタンを押してください。

抑制表示設定画面



①電圧抑制表示を

電圧上昇抑制状態のときのアイコン表示の有無を設定できます。

設定範囲	表示する／表示しない
初期値	表示する

電圧上昇抑制アイコン



②温度抑制表示を

温度上昇抑制状態のときのアイコン表示の有無を設定できます。

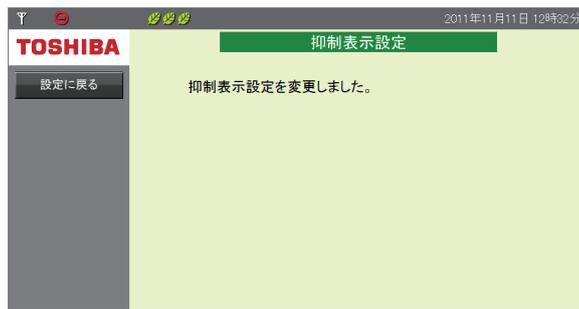
設定範囲	表示する／表示しない
初期値	表示する

温度上昇抑制アイコン



■操作方法

- ・ **決定** ボタンで変更した設定を保存します。



設定に戻る ボタンで設定画面を表示します。

- ・ **戻る** ボタンで設定画面を表示します。



One Point

- ・抑制機能は、システムを安全に運用するための機能です。
発生頻度が低い場合や短期間の場合は、システムの異常ではありません。
発生頻度が高い場合や長期間復帰しない場合は、販売店にご相談ください。

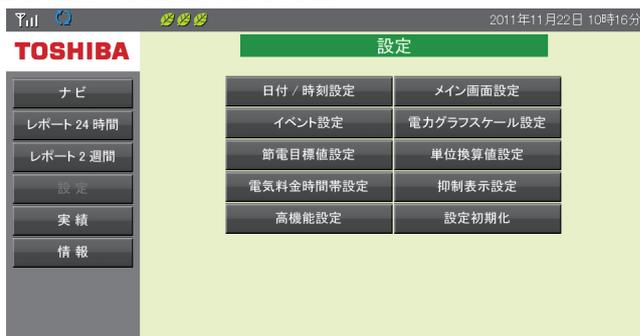
5.10.設定初期化

設定したデータを全て初期値に戻します。(日付/時刻設定は初期化されません。)

重要

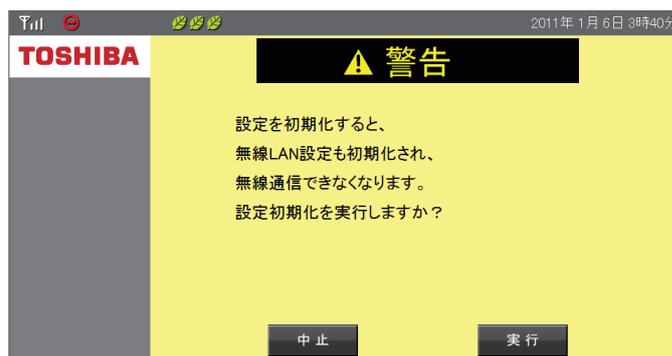
本製品側面の設定用 LAN コネクタとコンピュータを有線 LAN ケーブルで接続してください。
設定初期化を実行すると設定を元に戻すことはできません。
無線接続していた場合つながらなくなります。お客様ご自身の責任で実施してください。

■設定初期化画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「ユーザ設定画面」が表示されますので、**設定初期化** ボタンを押してください。

■設定初期化画面



■操作方法

- ・ **実行** ボタンで設定初期化を開始します。
- ・ **中止** ボタンで設定初期化を中止し、設定画面を表示します。

【初期設定一覧】

メイン画面設定	
表示タイプ	タイプA
昼夜画像切替	する
昼時間帯	6時0分～18時0分
イベント設定	
発電開始記念日	表示する
発電量達成記念	1000kWhおき
電力グラフスケール設定	
日間グラフ	10[kWh]
月間グラフ	30[kWh]
年間グラフ	800[kWh]
無線LAN接続設定	
モード	インフラストラクチャ・モード
IPアドレス設定	
アドレス取得	自動

節電目標設定	
目標値選択	数値指定
目標消費電力量	800[kWh/月]
単位換算値設定	
CO ₂ 換算	314.5[g-CO ₂ /kWh]
石油換算	0.227[L/kWh]
電気料金時間帯設定	
時間帯A	07:00～10:00
時間帯B	10:00～17:00
時間帯C	17:00～23:00
時間帯D	0:00～07:00,23:00～00:00
抑制表示設定	
電圧抑制表示を	表示する
温度抑制表示を	表示する

6.高機能設定

本製品は、無線 LAN の通信トラブル発生時や本製品のソフトウェアを更新させる必要がある時に「高機能設定」によって対応することができます。

この章では、各種高機能設定について説明します。

6.1.高機能設定の説明

この項では、高機能設定で設定できる機能について説明します。

「高機能設定」では、本製品の無線 LAN 通信設定の変更やシステム情報の確認、本製品のソフトウェアの更新ができます。

重要

本機能は本製品に関する高度な知識を必要とします。誤った設定を行うとシステムが動作しなくなる場合がありますため、トラブル発生時以外は使用しないでください。

誤った設定により、無線 LAN 通信ができなくなった場合は「7.3.無線 LAN 通信トラブル対応」(110 ページ)をご参照ください。

【高機能一覧】

無線 LAN 設定(93 ページ)

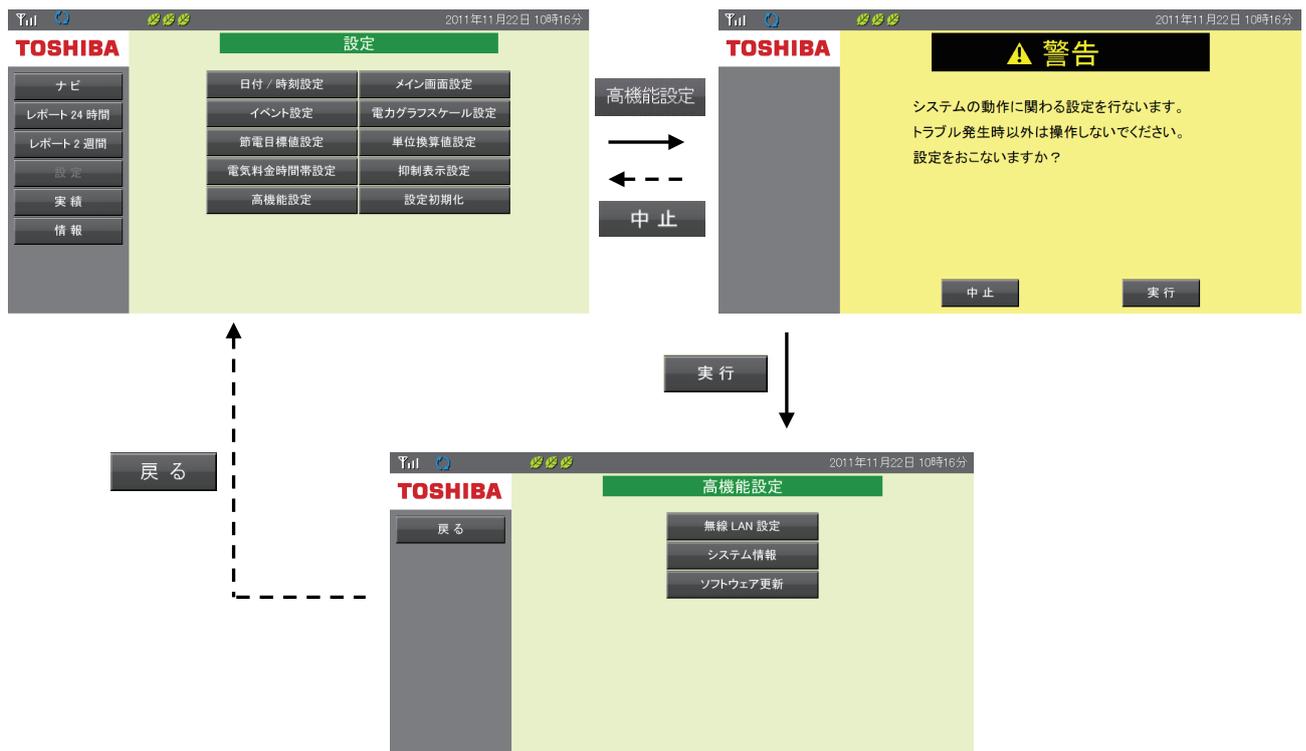
無線 LAN 通信に関する設定、通信状態の確認ができます。

システム情報(99 ページ)

現在の設定を表示できます。

ソフトウェア更新(100 ページ)

本製品のソフトウェアを更新できます。



6.2.無線 LAN 設定

無線 LAN 設定では下記が行えます。

- 1) 本製品の IP アドレス設定
- 2) 接続先アクセスポイントの選択
- 3) 無線 LAN 接続設定
- 4) 接続先アクセスポイントとの接続状態確認

本機能は、無線 LAN ネットワークの変更時、無線 LAN 通信のトラブル対応時に使用します。

本製品とコンピュータを有線 LAN ケーブルで接続し、Web ブラウザで http://169.254.1.1/ を入力します。

対応方法は、「7.3.無線 LAN 通信トラブル対応」(110 ページ)の内容を参照してください。

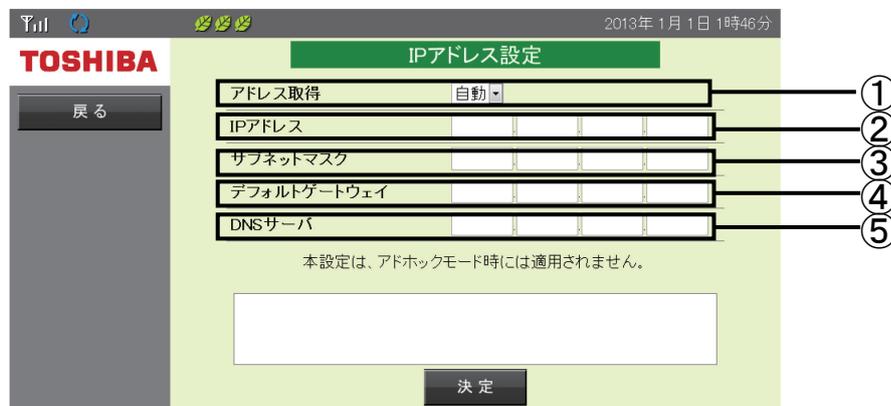
1) 本製品の IP アドレス設定

■ IP アドレス設定画面の表示方法



1. メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
2. 「設定画面」が表示されますので、**高機能設定** ボタンを押してください。
3. 実行確認画面が表示されますので、**実行** ボタンを押してください。
4. 「高機能設定画面」が表示されますので、**無線LAN設定** ボタンを押してください。
5. 「無線 LAN 設定画面」が表示されますので、**IPアドレス設定** ボタンを押してください。

■ IP アドレス設定画面



① アドレス取得

IP アドレスの取得方式を選択します。

自動を選択した場合は、DHCP サーバより IP アドレスを取得します。

設定範囲	手動／自動
初期値	自動

② IPアドレス

アドレス取得方式が「手動」の場合に、本製品に付与する「IP アドレス」を各入力域に 0 から 255 までの整数値で入力します。

設定範囲	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
初期値	なし

③ サブネットマスク

アドレス取得方式が「手動」の場合に、本製品が接続するネットワークの「サブネットマスク」を各入力域に0から255までの整数値で入力します。

設定範囲	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
初期値	なし

④ デフォルトゲートウェイ

アドレス取得方式が「手動」の場合に、本製品が接続するネットワークの「デフォルトゲートウェイ」の IP アドレスを各入力域に0から255までの整数値で入力します。

設定範囲	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
初期値	なし

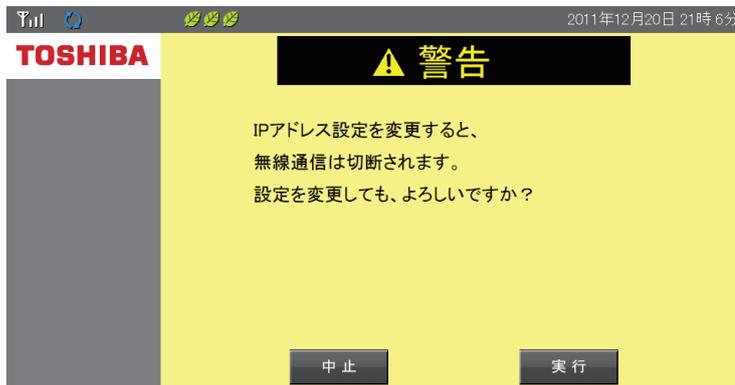
⑤ DNS サーバ

アドレス取得方式が「手動」の場合に本製品が接続するネットワークの「DNS サーバ」の IP アドレスを各入力域に0から255までの整数値で入力します。

設定範囲	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255
初期値	なし

■ 操作方法

- ・ **戻る** ボタンで無線 LAN 設定メニュー画面を表示します。
- ・ **決定** ボタンで設定確認画面を表示します。



- ・ **実行** ボタンで設定を変更します。
- ・ **中止** ボタンで IP アドレス設定画面に戻ります。

2) 接続先アクセスポイントの選択

■ アクセスポイント選択画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「設定画面」が表示されますので、**高機能設定** ボタンを押してください。
- 3.実行確認画面が表示されますので、**実行** ボタンを押してください。
- 4.「高機能設定画面」が表示されますので、**無線LAN設定** ボタンを押してください。
- 5.「無線 LAN 設定画面」が表示されますので、**アクセスポイント選択** ボタンを押してください。

■ アクセスポイント選択画面



① アクセスポイント一覧

無線を検知したアクセスポイントの一覧を表示します。

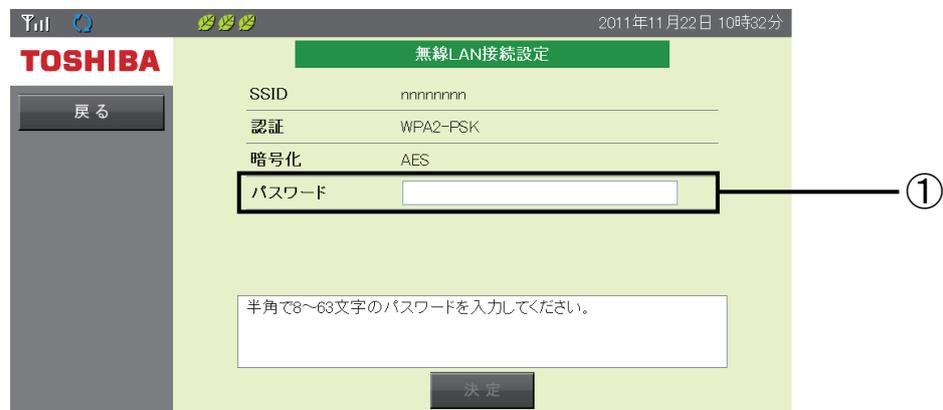
選択 ボタンを押下すると「パスワード入力画面」が表示されます。

電波強度アイコンが 2 本以上表示されているものが、無線通信を安定してご利用いただけるアクセスポイントです。

■ 操作方法

- ・ **戻る** ボタンで無線 LAN 設定メニュー画面を表示します。

■ パスワード入力画面



① パスワード

選択したアクセスポイントのパスワードを入力します(英文字は、大文字・小文字が区別されます)。

■ 操作方法

- ・ **決定** ボタンで「アクセスポイント変更確認画面」を表示します。
- ・ **戻る** ボタンで「アクセスポイント選択画面」を表示します。

6.高機能設定

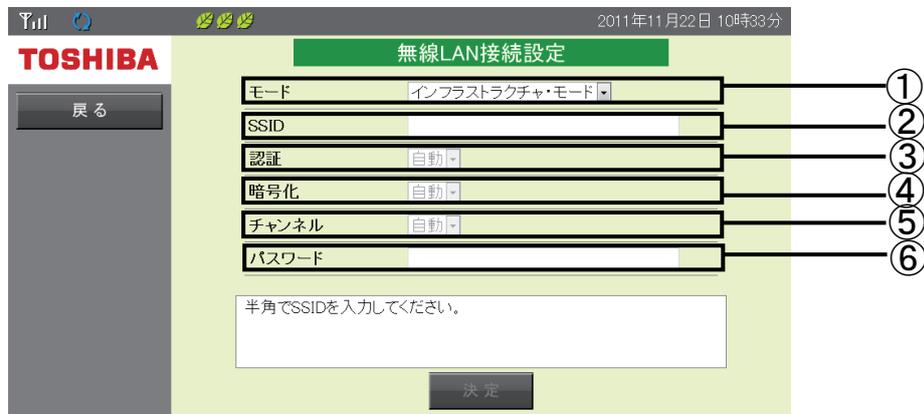
3)無線 LAN 接続設定

■ 無線 LAN 接続設定画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「設定画面」が表示されますので、**高機能設定** ボタンを押してください。
- 3.実行確認画面が表示されますので、**実行** ボタンを押してください。
- 4.「高機能設定画面」が表示されますので、**無線LAN設定** ボタンを押してください。
- 5.「無線 LAN 設定画面」が表示されますので、**無線LAN接続設定** ボタンを押してください。

■無線 LAN 接続設定画面



① モード

無線 LAN のアクセスモードを選択します。
本製品はインフラストラクチャ・モードでご利用ください。

設定範囲	インフラストラクチャ・モード／アドホック・モード
初期値	インフラストラクチャ・モード

② SSID

無線 LAN のアクセスモードをアドホック・モードに設定した場合、本製品の SSID を設定します(英文字は、大文字・小文字が区別されます)。

③ 認証

無線 LAN 接続を行う場合の認証方式を選択します。
インフラストラクチャ・モードの場合は「自動」と表示されます。

設定範囲	自動／認証なし
初期値	自動

④ 暗号化

無線 LAN 接続を行う場合の暗号化方式を選択します。
インフラストラクチャ・モードの場合は「自動」と表示されます。

設定範囲	自動／WEP
初期値	自動

⑤ チャンネル

無線 LAN 接続を行う場合の使用チャンネルを選択します。
インフラストラクチャ・モードの場合は「自動」と表示されます。

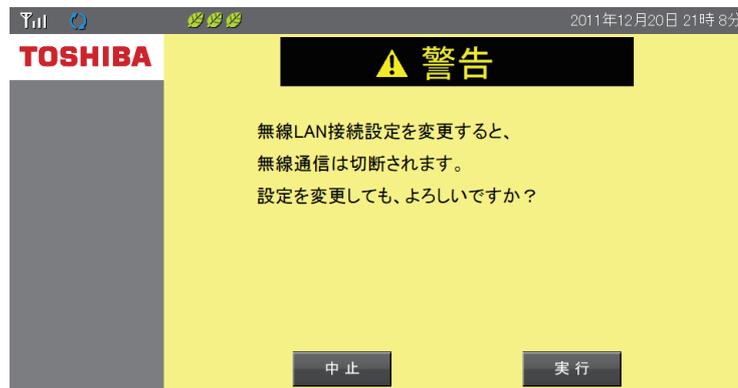
設定範囲	自動／1～13
初期値	自動

⑥ パスワード

無線 LAN 接続を行う場合のパスワードを入力します(英文字は、大文字・小文字が区別されます)。

■ 操作方法

- ・ **戻る** ボタンで無線 LAN 設定メニュー画面を表示します。
- ・ **決定** ボタンで設定確認画面を表示します。



- ・ **実行** ボタンで設定を変更します。
- ・ **中止** ボタンで無線 LAN 接続設定画面に戻ります。

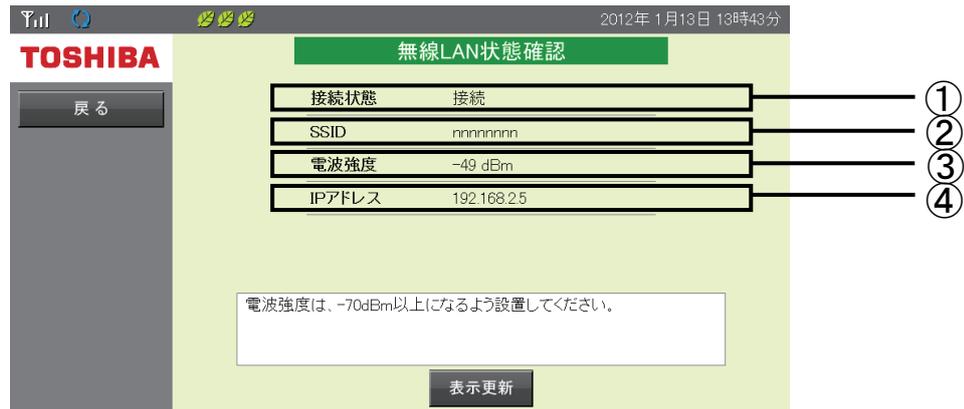
4) 接続先アクセスポイントとの接続状態確認

■ 無線 LAN 状態確認画面の表示方法



1. メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
2. 「設定画面」が表示されますので、**高機能設定** ボタンを押してください。
3. 実行確認画面が表示されますので、**実行** ボタンを押してください。
4. 「高機能設定画面」が表示されますので、**無線LAN設定** ボタンを押してください。
5. 「無線 LAN 設定画面」が表示されますので、**無線 LAN 状態確認** ボタンを押してください。

■ 無線 LAN 状態確認画面



① 接続状態

無線 LAN アクセスポイントとの接続状態を表示します。

接続されている場合は「接続」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。

② SSID

接続先の無線 LAN アクセスポイントの SSID を表示します。接続されていない場合は何も表示されません。

③ 電波強度

接続している無線 LAN アクセスポイントからの無線通信受信強度 (dBm) を表示します。

通常は－(マイナス)の値で表示され、0 に近づくほど電波強度が強いことを表します。

電波強度-70dBm 以上で無線通信を安定してご利用いただけます。

④ IP アドレス

本製品に割り当てられた IP アドレスを表示します。

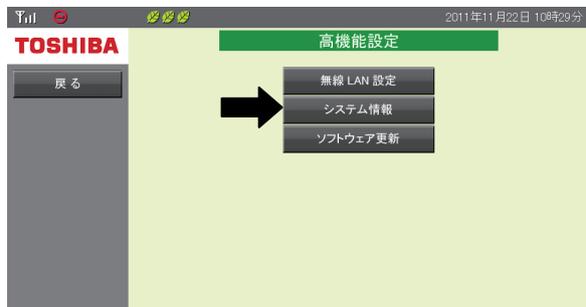
■ 操作方法

- ・ **戻る** ボタンで無線 LAN 設定メニュー画面を表示します。
- ・ **表示更新** ボタンで最新の接続情報に更新表示します。

6.3.システム情報

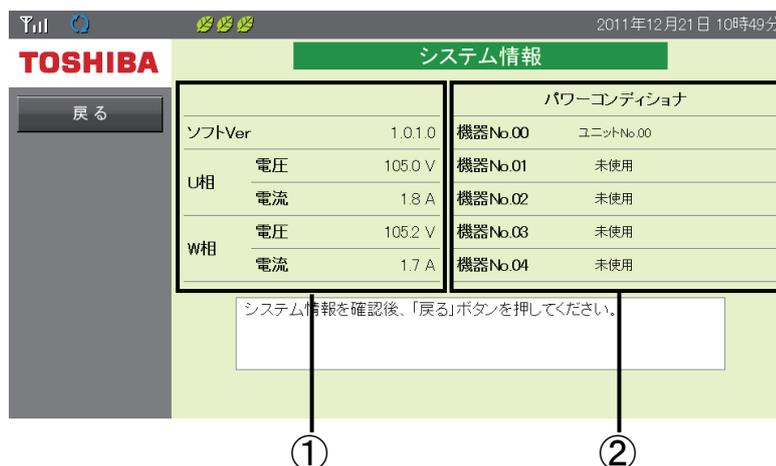
「システム情報」では、現在の太陽光発電システムの情報を表示できます。
本機能は、システムに異常があった場合の状況確認に使用する機能です。

■システム情報画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「設定画面」が表示されますので、**高機能設定** ボタンを押してください。
- 3.実行確認画面が表示されますので、**実行** ボタンを押してください。
- 4.「高機能設定画面」が表示されますので、**システム情報** ボタンを押してください。

■システム情報画面



① 本製品情報

本製品の情報(ソフトウェアバージョン、系統 U 相電圧・電流値、系統 W 相電圧・電流値)を表示します。

② パワーコンディショナ

パワーコンディショナの情報(接続状態)を表示します。

パワーコンディショナと通信ができていない場合、赤背景に変わります。

■操作方法

- ・ **戻る** ボタンで「高機能設定メニュー画面」を表示します。

6.4.ソフトウェア更新(表示モニタがコンピュータの場合)

「ソフトウェア更新」では、本製品のソフトウェアを更新することができます。
本機能は、表示モニタがコンピュータの場合にのみ使用できます。

■ソフトウェア更新画面の表示方法



- 1.メイン画面表示状態で **設定** ボタンを押してください。
- 2.「設定画面」が表示されますので、**高機能設定** ボタンを押してください。
- 3.実行確認画面が表示されますので、**実行** ボタンを押してください。
- 4.「高機能設定画面」が表示されますので、**ソフトウェア更新** ボタンを押してください。

■ソフトウェア更新画面



① ソフトウェアファイルの選択

「参照」ボタンを押下するとファイルの選択画面が表示されます。

② ソフトウェア更新の実施

更新 ボタンを押下すると、ソフトウェアの更新が始まります。

ソフトウェア更新用のファイルは、あらかじめ準備しておく必要があります。サポートページからダウンロードしてください。詳しくはソフトウェア更新操作方法(次のページ)を参照ください。

重要

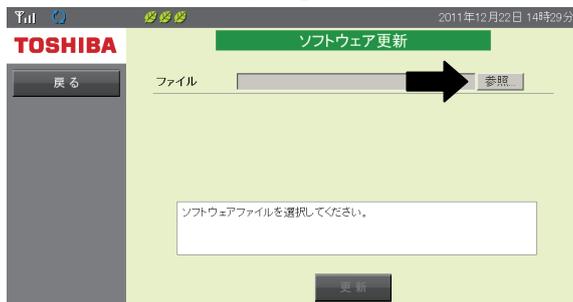
・ソフトウェア更新用のファイルは下記サポートページからダウンロードしてください。

http://www.toshiba.co.jp/sis/h-solar/index_j3.htm

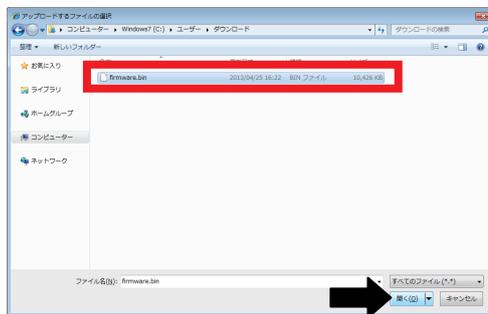
■操作方法(コンピュータのみ)

ここでは、本製品のシステムソフトウェアの更新操作方法を説明します。
本機能は、表示モニタがコンピュータの場合にのみ使用できます。

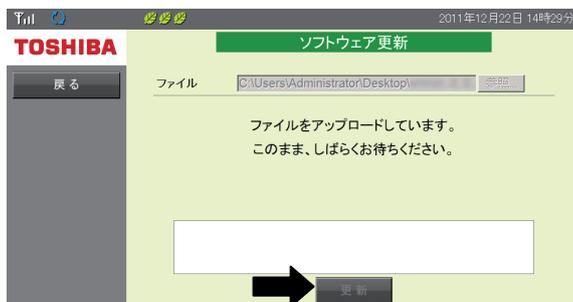
1. ソフトウェア更新画面:「参照」ボタンを押下



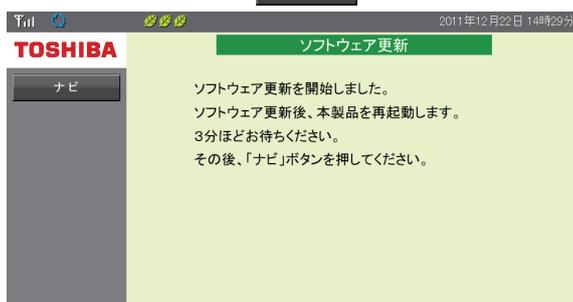
2. [参照]ボタンでファイル選択のダイアログが表示されますので、ソフトウェア更新用のファイルを選択してください(下図はダウンロードフォルダに更新するファイルがある場合の例です)。



3. **更新** ボタンで、選択したソフトウェア更新用のファイルを本製品にアップロードします。
アップロードが完了するまで、操作をせずにしばらくお待ち下さい。
ソフトウェア更新用ファイル以外のファイルを選択した場合は、**更新** ボタンを押下できません。



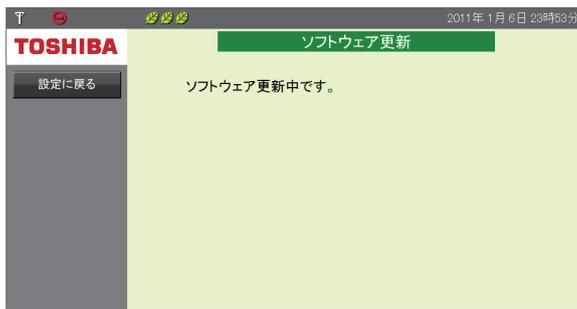
4. アップロード完了後、ソフトウェア更新が開始されると、画面が自動的に切り替わります。
3分ほどお待ちいただき、**ナビ** ボタンを押してください。



3分以内に**ナビ** ボタンを押すと、通信エラーが発生する場合があります。その場合は、Webブラウザで設定したアドレスを入力、またはWLファインダー(41ページ)を使用してください。

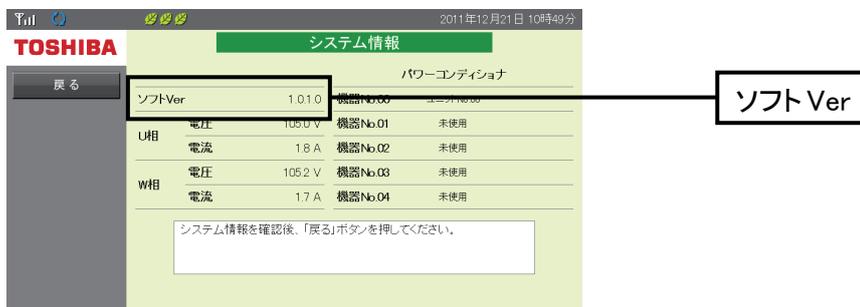
6.高機能設定

更新中に別画面を立ち上げるなどすると以下の画面が表示される場合があります。
更新完了までお待ちください。



5.ナビモード画面から、[設定]→[高機能設定]→[システム情報]と進み、システム情報画面を表示してください。

「ソフト Ver」の項目で、更新したバージョンになっていることを確認してください。



7.おかしいなと思ったら （トラブルシューティング）

この章では、本製品に異常が発生したときの対処方法について説明します。

7.1.エラー表示

本製品では、太陽光発電システムに異常があったとき「エラーアイコン」および「エラーメッセージ」を表示します。

エラーの内容により、お知らせの方法が異なります。

【エラーのお知らせ方法の違い】

本製品では、太陽光発電システムに異常があるときエラーの内容によって3種類の方法でエラーを表示します。

・「エラーアイコン」のみで表示

→自動復旧の可能性がある運転障害、システム障害が発生しています。

・「エラーアイコン」と「エラーメッセージ」で表示

→自動復旧が困難または不可能な機器の故障やシステム障害が発生しています。

・異常履歴のみで表示

→自動復旧が可能な一過性の異常が発生しています。



7.おかしいなと思ったら（トラブルシューティング）

【「エラーアイコン」のみで表示】

「エラーアイコン」のみで表示されている場合は、自動復旧の可能性のある運転障害、システム障害が発生しています。

「4.12.異常履歴」(72 ページ)で、エラー内容を確認し[「エラーアイコン」のみで表示されるエラー一覧]の対応を実施してください。



One Point

- ・異常履歴の表示方法は、「4.12.異常履歴」(72 ページ)を参照してください。
- ・自動復帰しない場合やエラーアイコンが表示される頻度が高い場合は販売店にご相談ください。

【エラーアイコンのみで表示される一覧】

本製品の状態表示ランプは「赤・点滅(高速)」します。

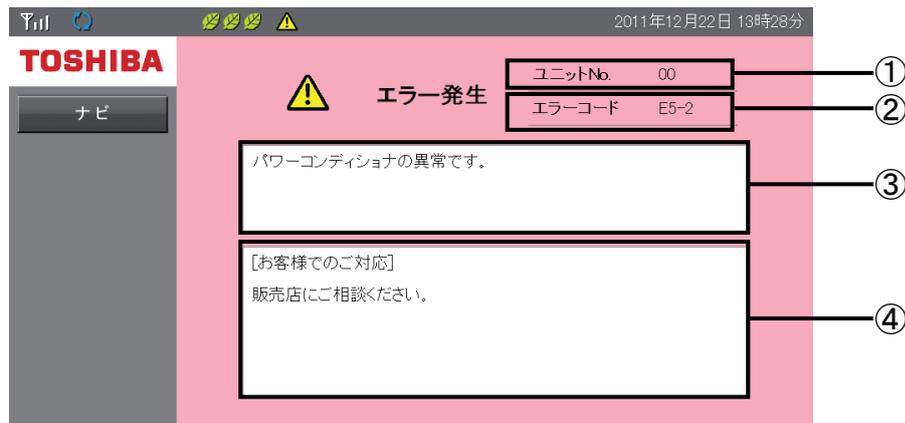
エラーメッセージ	エラーコード	保護機能種類	お客様でのご対応
パワーコンディショナを再起動しています。	E3-1	直流過電流検出	このエラーが1日に3回以上表示される場合は、販売店にご相談ください。
	E3-2	交流過電流検出	
	E3-3	直流分検出	
	E4-2	インバータ入出力特性異常	
	E4-5	制御電源異常	
	E5-3	DC/DC コン過電圧検出	
	E5-4	DC/DC コン不足電圧検出	
太陽電池の出力電圧が高くなっています。	E2-1	直流過電圧検出	復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
パワーコンディショナの内部温度が高くなっています。	E3-4	装置温度異常	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか確認してください。復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
太陽電池の配線に異常が発生しています。	E2-3	直流地絡検出	販売店にご相談ください。
自立コンセントの使用電力が、現在出力可能な量を超過しています。	A1-5	自立運転過負荷状態	自立コンセントに接続している機器を減らすなど、電力の使用量を減らしてください。
本製品の異常です。	E8-1	EEPROM 異常	故障の可能性があります。販売店にご連絡ください。
無線LANの異常です。	E8-3	無線 LAN 異常	無線LANの設定をご確認ください。

本製品の異常です。	E8-4	Web サーバ異常	このエラーが1日に3回以上表示される場合は、販売店にご相談ください。
	E8-8	フラッシュメモリ異常	故障の可能性があります。販売店にご連絡ください。
	E9-1	計測処理無応答	このエラーが1日に3回以上表示される場合は、販売店にご相談ください。
	E9-2	計測処理データ異常	
	E9-7	計測処理起動異常	システムソフトウェアの更新を行ってください。 このエラーが1日に3回以上表示される場合は、販売店にご相談ください。
電力会社からの電気供給状態に異常があります。	A9-1	入力過電圧	このエラーが1日に3回以上表示される場合は、販売店にご相談ください。
	A9-2	入力過電流	
	A9-3	入力不足電圧	

【「エラーアイコン」と「エラーメッセージ」で表示】

メイン画面の表示中に自動で「エラーメッセージ」が表示された場合は、自動復旧が困難または不可能な機器の故障やシステム障害が発生しています。
エラー内容を確認し[「エラーアイコン」と「エラーメッセージ」で表示されるエラー一覧]の対応を実施してください。

■エラーメッセージ画面



- ① **ユニット No.**
異常が発生しているパワーコンディショナのユニット No.を表示します。
本製品のエラーの時は「--」と表示します。
- ② **エラーコード**
発生しているエラーコードを表示します。
- ③ **エラーメッセージ**
エラーメッセージを表示します。
- ④ **お客様ご対応**
お客様でのご対応内容を表示します。

操作方法

- ・ **ナビ** ボタンでナビモード画面を表示します。



One Point

- ・エラーメッセージ画面は、メイン画面表示中にのみ自動的に表示されます。

【「エラーアイコン」と「エラーメッセージ」で表示されるエラー一覧】

本製品の状態表示ランプは「赤・点灯」します。

エラーメッセージ	エラーコード	保護機能種類	お客様でのご対応
パワーコンディショナの異常です。	E4-3	制御状態異常	販売店にご相談ください。
	E4-4	ROM バージョン異常	
	E4-6	EEPROM SUM 値異常	
	E4-7	EEPROM 異常	
	E4-8	装置未校正	
	E5-1	連系リレー動作異常/ 端子台温度異常	
	E5-2	表示ハード異常	
	E5-5	地絡センサ断線	
	A2-7	内部ファン異常	
本製品の異常です。	E8-5	メイン処理プロセス状態異常	停電時にこのエラーが発生することがあります。 このエラーが1日に3回以上発生する場合は、販売店にご相談ください。
本製品は2038年以降はご使用になれません。	E8-6	動作保障期間異常	日付/時刻設定を行ってください。
本製品の異常です。	E8-7	メイン CPU システムコール異常	このエラーが1日に3回以上発生する場合は、販売店にご相談ください。
ソフトウェア更新に失敗しました。	E8-9	ソフトウェア更新異常	再度、ソフトウェアの更新を行ってください。
本製品の異常です。	E9-4	RTC 異常	販売店にご相談ください。

【異常履歴のみで表示】

異常履歴のみで表示されるエラーは、系統異常などの自動復旧が可能な一過性の異常が発生しています。「4.12.異常履歴」(72 ページ)で、エラー内容を確認し[異常履歴のみで表示されるエラー一覧]の対応を実施してください。

【異常履歴のみで表示されるエラー一覧】

本製品の状態表示ランプは「赤・点滅(低速)」します。

エラーメッセージ	エラーコード	保護機能種類	お客様でのご対応
電力会社からの電気供給状態に異常があります。	E1-1	過電圧継電器	このエラーが1日に3回以上表示される場合は、販売店にご相談ください。
	E1-2	不足電圧継電器	
	E1-3	系統周波数上昇継電器	
	E1-4	系統周波数低下継電器	
	E1-5	単独運転検出受動的方式	
	E1-6	単独運転検出能動的方式	
	E1-7	瞬時過電圧検出	
	E1-8	瞬時電圧低下検出	
本製品の異常です。	E8-2	フラッシュメモリ異常(不良 ブロック異常)	販売店にご相談ください。
時計異常が発生しました。	E9-3	時計異常	日付/時刻設定を行ってください。

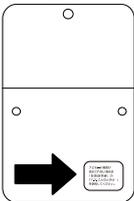
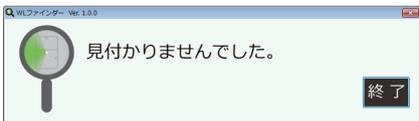


One Point

- ・「エラーアイコン」と「エラーメッセージ」は、表示されません。
- ・異常履歴の表示方法は、「4.12.異常履歴」(72 ページ)を参照してください。
- ・エラーの表示される頻度が高い場合は、販売店にご相談ください。

7.2.こんなときは・・・

次のような現象が発生した場合について対処法を明記します。

現象	確認内容	対策内容
IE が以下のエラーメッセージを出力する。 「この Web ページのエラーにより、正しく機能しない場合があります」	IE の以下の設定を確認してください。 [ツール] → [インターネットオプション] の [詳細設定] タブ	この現象は、本製品の機能には影響ありません。 エラーメッセージの [閉じる] ボタンを押して、メッセージを閉じてください。 表示が気になる方は、左記確認内容に記載の [詳細設定] 項目内の以下の設定項目を初期値に戻してください。 ・スクリプトエラーごとに通知を表示する (初期値: チェックなし) ・スクリプトのデバッグを使用しない (IE) (初期値: チェックあり) ・スクリプトのデバッグを使用しない (その他) (初期値: チェックあり)
	IE の以下の設定を確認してください。	「ツール」 ⇒ 「インターネットオプション」 ⇒ 「接続」 ⇒ 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」 ⇒ 「LAN にプロキシサーバを使用する」のチェックを外してください。
ブラウザ画面が動作しない。	ブラウザの再読み込み (最新の情報に更新) を行ってください。	画面が表示できなかった場合や発生頻度が高い場合は、無線 LAN アクセスポイントとの通信が安定していないことが考えられます。 その場合、下記「ブラウザ画面が表示できない。」を参考に対策してください。
WL ファインダーでブラウザ画面が表示できない。		
ナビモード画面が表示できない。 	本製品の IP アドレスが変わっていませんか？	無線 LAN アクセスポイントの電源が切れたり、リセット等により IP アドレスが変わる場合があります。 WL ファインダーで本製品の IP アドレスを検索してください。 ⇒「2.3.3.WL ファインダー 操作」(44 ページ) 検索できない場合は、次ページの「無線通信ができない。」を参考に対策してください。
WL ファインダーで「見付かりませんでした」が表示される。 	WL ファインダー起動後、セキュリティ警告画面で「キャンセル」ボタンを押下していませんか？	ファイアウォールを許可する必要があります。 「■セキュリティ警告画面で「キャンセル」を押した場合の許可設定方法(45 ページ)」を参照してください。
	無線 LAN アクセスポイントを確認してください。	電源が切れていないことを確認してください。 アンテナの向きを変えていませんか？位置を遠ざけていませんか？季節によって閉めている扉の影響など、電波を遮蔽するものが無いか確認してください。 電子レンジ動作中は表示されないことがあります。停止までお待ちください。 無線 LAN アクセスポイントが不安定で本製品との無線通信ができなくなる場合は、無線 LAN アクセスポイントの電源を入れ直してください。 コンピュータと無線通信ができない場合は表示されません。 「無線通信トラブル対応」を実施してください。 ⇒「7.3.無線 LAN 通信トラブル対応」(110 ページ)

7.おかしいなと思ったら（トラブルシューティング）

現象	確認内容	対策内容
無線通信ができない。	周りに障害物があったり、設置場所が遠かったりしませんか？	無線 LAN アクセスポイントの設置場所を変更してください。 「無線通信トラブル対応」を実施してください。 ⇒「7.3.無線 LAN 通信トラブル対応」(110 ページ)
無線 LAN 設定後にナビモード画面が表示できない。	無線 LAN アクセスポイントとの相性問題の可能性があります。	補足説明書「無線 LAN アクセスポイント接続確認機種一覧」に記載されている無線 LAN アクセスポイントへ交換してください。
	無線 LAN 設定で SSID またはパスワードを間違えていませんか？	本製品とコンピュータを有線 LAN ケーブルで接続し、再度無線 LAN 設定を行ってください。
	IP アドレスを間違えていませんか？	⇒「2.2. 本製品と表示モニタの接続」(21 ページ)を参照してください。
	IP アドレスを変更していませんか？	WL ファインダーで本製品の IP アドレスを検索してください。 ⇒「2.3.3.WL ファインダー 操作」(44 ページ)
	本製品が接続する無線 LAN アクセスポイントを変更していませんか？	変更した無線 LAN アクセスポイントに表示モニタの設定を変更してください。 ⇒「2.2. 本製品と表示モニタの接続」(21 ページ)を参照してください。
設定初期化を実行したら無線接続できなくなった。	無線設定が初期化されています。	本製品とコンピュータを有線 LAN ケーブルで接続し、再度無線 LAN 設定を行ってください。 ⇒「2.2. 本製品と表示モニタの接続」(21 ページ)を参照してください。
ブラウザ画面が表示できない。	セキュリティ設定が「なし」の無線 LAN アクセスポイントと WPS 接続を行っていませんか？	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定を「あり」にして WPS 接続を行ってください。

現象	確認内容	対策内容
電圧上昇抑制履歴が毎日残っている。	抑制履歴の抑制時間が「0分」と表示されていませんか？	電圧上昇抑制履歴は、1日ごとに保存されています。電圧上昇抑制機能が、働いていなくても「0分」の履歴は残ります。電圧上昇抑制履歴が毎日残ることは正常です。 ⇒「4.11.電圧上昇抑制履歴」(70ページ)
パワーコンディショナの総積算電力量と本製品の総積算電力量の値が異なる。	パワーコンディショナの交換等を行っていますか？	パワーコンディショナを交換した場合、本製品に表示される積算電力量の値が異なる場合があります。その場合は正常です。積算電力量は、パワーコンディショナと本製品それぞれで積算しています。 ⇒「4.10.総積算電力量」(68ページ)
電圧上昇抑制、温度上昇抑制が表示される。	発生頻度や発生時間を確認してください。	電圧上昇抑制機能、温度上昇抑制機能は、システムを安全に運用するために発生する機能です。発生頻度が低い場合や短時間の場合は、システムの異常ではありません。発生頻度が高い場合や復帰しない場合は、販売店にご相談ください。 ⇒「4.11.電圧上昇抑制履歴」(70ページ)
時刻を変更したら実績データが消えた。または、実績データの内容が変わった。	日付/時刻設定を変更していませんか？	日付/時刻設定によって内部の実績データに影響します。 ⇒「5.2.日付/時刻設定」(76ページ)
本製品の電力表示値がおかしい。または、発電、消費、売買電力の値関係が、消費電力量＝(発電電力量－売電電力量)＋買電電力量の関係になっていない。(*1)	表示される電力表示値を確認してください。	システム異常の可能性があるので販売店にご相談ください。
本製品の状態表示ランプが点滅したり消灯したりする。	パワーコンディショナの発電状況を確認してください。	次の動作であれば、正常です。本製品の状態表示ランプは、パワーコンディショナとの通信状態によって点滅/消灯します。発電している時やパワーコンディショナが動作している時は、ランプが点滅します。夜間や日射量がない時は、パワーコンディショナが運転停止状態になるためランプは消灯します。 ⇒「1.4.各部の名称と機能」(19ページ)
節電しているのに節電目標達成状況が悪い。	節電目標の値を確認してください。	節電目標の値を確認のうえ、節電目標の値を変更してください。 ⇒「5.6.節電目標値設定」(85ページ)
電気の使用量が一定なのに、メイン画面の消費電力の値が増えたり減ったりする事がある。	発電電力の値が変化していませんか？	日照の変化などで発電電力が変化している最中には、消費電力の値が実際の値よりも大きく(あるいは小さく)表示される事があります。これは、発電電力と売買電力のデータ収集タイミングの差により生じるものであり、製品の異常ではありません。また、ナビ画面で表示される数値は、小数点第二位の値を四捨五入した値です。そのため、小数点以下の値は、まるめ誤差が発生する場合があります。本現象は、ナビ画面の表示にのみ発生するものであり、実績データ等には影響ありません。

*1. 多少の計測誤差があります。

7.3.無線 LAN 通信トラブル対応

ここでは、以下の場合の対応について説明します。

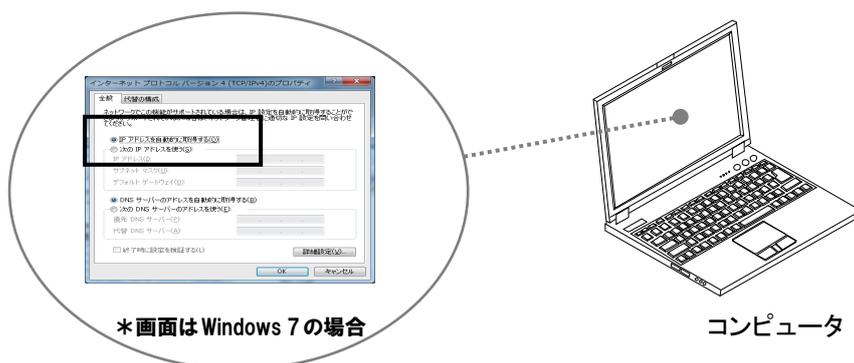
- ・ ナビモード画面に表示されるアンテナマーク本数が少ない、もしくは通信が行えない場合
- ・ 「高機能設定」機能で誤った無線 LAN 設定を行い、通信が行えなくなった場合

■ トラブル対応の準備

本製品と有線接続できる無線 LAN 付きコンピュータを用意します。

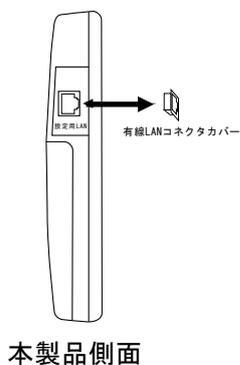
表示モニタのIPアドレスを自動的に取得する設定とします。

(IP アドレス設定方法は、23 ページを参照ください)

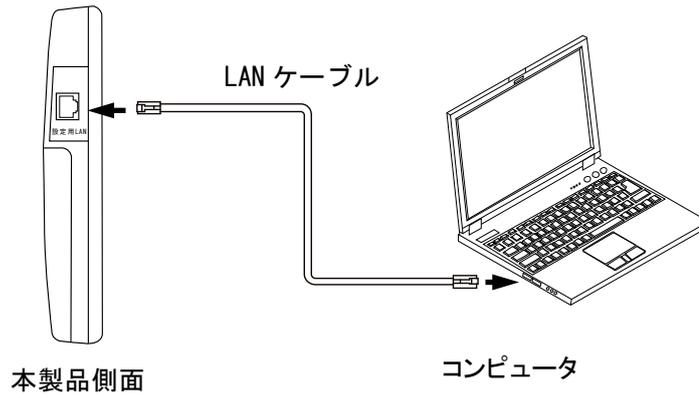


本製品と有線接続できるコンピュータを有線 LAN ケーブルで接続します。

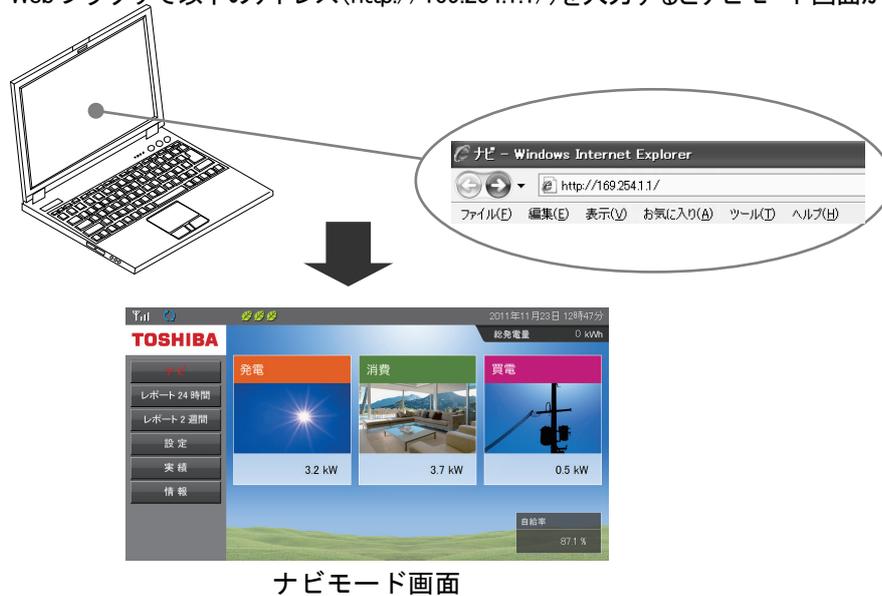
本製品側面の「有線 LAN コネクタカバー」を取り外します。



「設定用 LAN」と書かれたコネクタと表示モニタの LAN コネクタを LAN ケーブルで接続します。



表示モニタの Web ブラウザで以下のアドレス (<http://169.254.1.1/>) を入力するとナビモード画面が表示されます。



■ ナビモード画面に表示されるアンテナマーク本数が少ない、もしくは通信が行えない場合

無線通信の受信状況が悪くなっていますので、電波を届かせるために無線 LAN アクセスポイントの設置場所を本製品へ近づけてください。

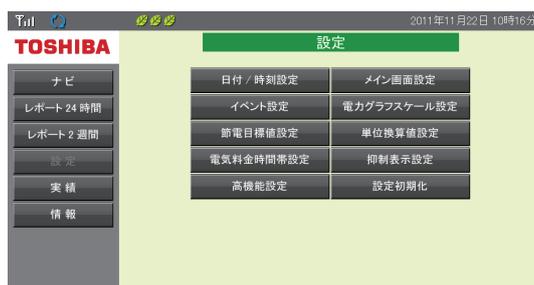
ナビモード画面に表示されるアンテナマークが 2 本以上になれば対応完了です。



無線 LAN アクセスポイントの設置場所を本製品へ近づけても、状況が改善されない場合は、システムの故障か、電波の条件が悪くなっている可能性があります。販売店にご相談ください。

■ 「高機能設定」機能で誤った無線 LAN 設定を行い、通信が行えなくなった場合

ナビモード画面表示状態で **設定** ボタンを押すと、「設定画面」が表示されます。



設定画面の **高機能設定** を押すと、「実行確認画面」が表示されますので、**実行** ボタンを押すと、「高機能設定画面」が表示されます。

「6.2.無線 LAN 設定」(93 ページ)で以下の無線 LAN に関する項目を設定し直してください。

① 「IP アドレス設定画面」で設定項目

「IP アドレス設定画面」(93 ページ)で以下の値を設定してください。

設定項目	設定値
アドレス取得	お客様の環境にあった値
IP アドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS サーバ	

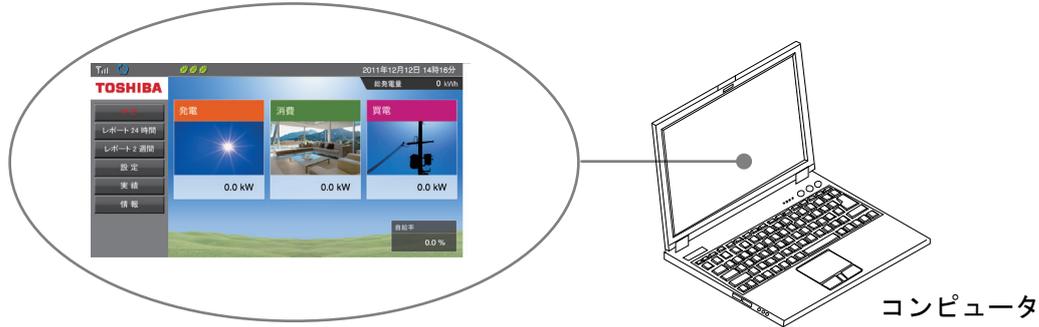
② 無線 LAN 接続設定画面」での設定項目

「無線 LAN 接続設定画面」(96 ページ)で以下の値を設定してください。

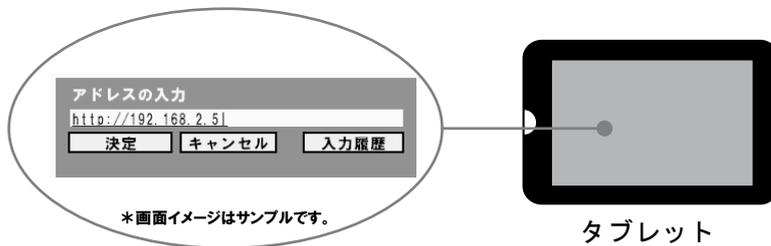
設定項目	設定値
モード	お客様の環境にあった値
SSID	
認証	
暗号化	
チャンネル	
パスワード	

設定後、「2.3.3WL ファインダー 操作」(44 ページ)で本製品の IP アドレスを検索し、値を表示モニターに入力してください。

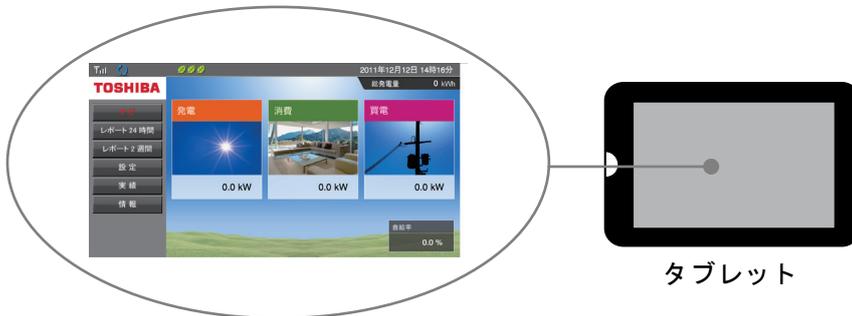
「ナビモード画面」が表示されたら、接続作業は完了です。



(下図はタブレットの場合)

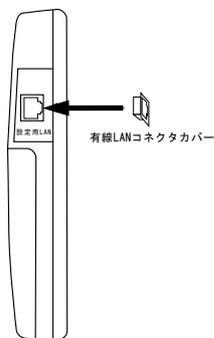


「ナビモード画面」が表示されたら、接続作業は完了です。



■ トラブル対応完了後

本製品から LAN ケーブルを取り外し、「有線 LAN コネクタカバー」を取りつけます。



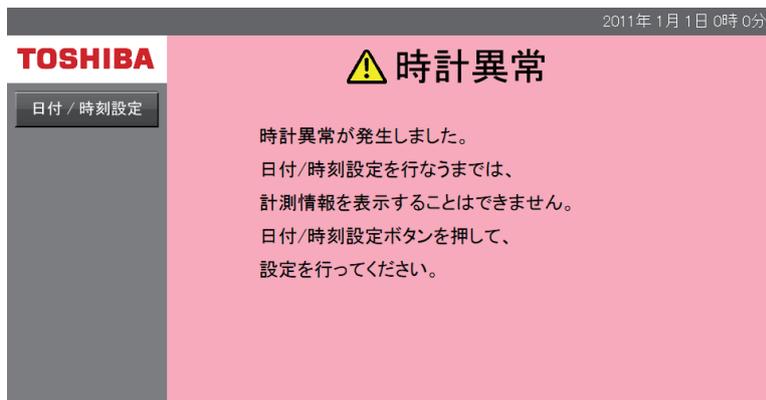
7.4.時計異常

ここでは、時計異常が発生したときの対応について説明します。

本製品は電源が4時間以上OFFになり、時刻データが消えた場合、データが保存できなくなります。

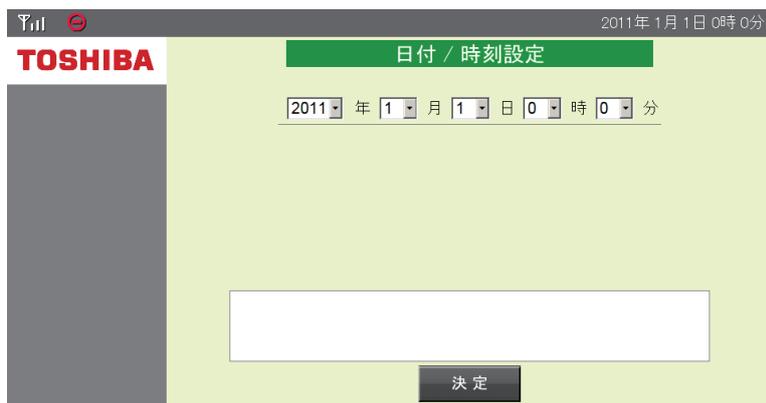
その状態で、ナビモード画面を表示しようとすると、「時計異常」画面が表示されます。

時刻設定が完了するまで、計測情報を表示することができませんので、日付／時刻設定画面で設定を行ってください。



■操作方法

- ・ **日付 / 時刻設定** ボタンで、「日付/時刻設定画面」が表示されます。

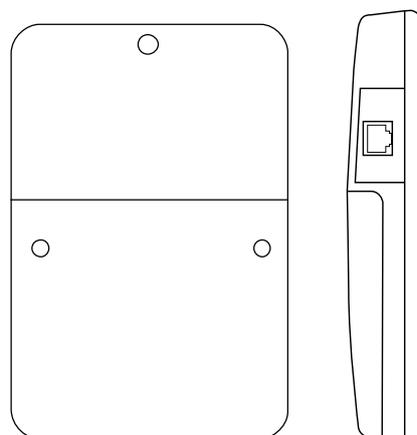


- ・ ドロップダウンリストボックス(**1**)で合わせたい日付と時刻を選択します。
- ・ **決定** ボタンで変更した日付／時刻に設定します。(実行確認画面が表示されます。)

仕様一覧

コミュニケーションユニット

品名	コミュニケーションユニット
形式	TPV-WL1A
データ通信方式	無線(IEEE802.11 b/g 準拠)
設置方法	壁面設置
保存可能データ	日間データ: 24 時間 × 32 日(当日含)
	月間データ: 31 日 × 13 ヶ月(当月含)
	年間データ: 12 ヶ月 × 16 年間(当年含)
電力量換算	CO ₂ 、石油
定格入力電圧	単相 3 線 100V/200V
定格周波数	50Hz/60Hz
最大消費電力	5W 以下
定格入力電流	AC100A 電流センサー次側
許容入力範囲	電圧 AC85~110V
	電流 AC110A 電流センサー次側
定格計測電力(FS)	20kW(U 相、W 相で各 10kW)
使用温度範囲	-10~+40°C(ただし氷結なきこと)
使用湿度範囲	25~85%RH(ただし結露なきこと)
質量	約 450g



商品のお問い合わせは

商品・修理・トラブル・メンテナンス・別売品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店に相談してください。販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口にご相談してください。

TOSHIBA

株式会社 **東芝** 社会インフラシステム社

太陽光発電システム推進部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

東芝住宅用太陽光発電システム ご相談センター <受付時間>9:00~17:00 (祝日、年末年始を除く)

個人の お客様窓口	[固定電話の場合]	シー オー ツ コー ポ ラ シ ス	[携帯電話・PHS・IP 電話の場合]	法人の お客様窓口	販売店、施工店、報道関係などのお客様はこちらまで
		0120-402743	03-5352-7657	03-5352-7623	
		(通話料：有料)		(通話料：有料)	

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.